

2019 年度 神奈川県臨床研修病院合同説明会 病院ガイド



説明会開催日 令和 2 年 3 月 8 日(日)

主 催 神奈川県医師会

共 催 神 奈 川 県

は じ め に

本日は、神奈川県臨床研修病院合同説明会にご参加いただき御礼申し上げます。

神奈川県は人口 912 万人（全国第 2 位 平成 27 年国勢調査）を超える大都市でありながら、人口 10 万人あたりの医師数は全国第 39 番目（平成 28 年末の厚労省調査では全国平均 240.1 人に対し本県は約 205.4 人）で医師が不足している大都市です。

このような状況の中、神奈川県医師会では、医師を目指している医学生の皆様と地域医療を支えながら研修医の育成にご尽力されている臨床研修病院を支援すると共に、県内外の医学生に県下の臨床研修病院を一同に紹介させていただく機会を設けるため、平成 26 年度から「臨床研修病院合同説明会」を開催しており、平成 27 年度からは神奈川県も共催としてこの説明会をご支援いただいております。

今回、県下 59 の臨床研修病院のうち、説明ブースの出展や病院情報をご提供いただいた病院をあわせますと 55 病院にご協力をいただいております。

医学生の皆様におかれましては、この説明会を通じて神奈川県内の魅力ある臨床研修病院の情報を収集する場としてご活用いただき、ご参加された全国の医学生の皆様が、「神奈川県」で充実した研修医生活をお送りになり、研修終了後には引き続き県内に勤務され医師としての研鑽を積まれるよう期待しております。

神奈川県医師会並びに神奈川県と県下の臨床研修病院は、初期臨床研修から後期研修を含めて良い医療人を育成するために皆様を支援いたします。

令和 2 年 3 月 吉日

神奈川県医師会会長 菊 岡 正 和

本日出展の臨床研修病院（３８病院）

横 浜 市

昭和大学藤が丘病院（青葉区）	09 頁
横浜旭中央総合病院（旭区）	13 頁
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院（旭区）	15 頁
国際親善総合病院（泉区）	17 頁
横浜市立大学附属病院（金沢区）	19 頁
菊名記念病院（港北区）	21 頁
横浜栄共済病院（栄区）	23 頁
昭和大学横浜市北部病院（都筑区）	25 頁
汐田総合病院（鶴見区）	29 頁
国立病院機構横浜医療センター（戸塚区）	31 頁
戸塚共立第１病院（戸塚区）	33 頁
横浜中央病院（中区）	35 頁
聖隷横浜病院（保土ヶ谷区）	37 頁
横浜市立大学附属市民総合医療センター（南区）	41 頁

川 崎 市

日本鋼管病院（川崎区）	44 頁
川崎協同病院（川崎区）	47 頁
日本医科大学武蔵小杉病院（中原区）	50 頁
川崎市立多摩病院（多摩区）	54 頁
新百合ヶ丘総合病院（麻生区）	56 頁
聖マリアンナ医科大学病院（宮前区）	59 頁

横 須 賀 市

横須賀市立うわまち病院	62 頁
横須賀共済病院	64 頁
横須賀市立市民病院	66 頁

鎌倉市

大船中央病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68 頁

湘南鎌倉総合病院・・・・・・・・・・・・・・・・ 70 頁

平塚市

平塚共済病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73 頁

平塚市民病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76 頁

小田原市

小田原市立病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79 頁

茅ヶ崎市

茅ヶ崎市立病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81 頁

藤沢市

藤沢湘南台病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83 頁

湘南藤沢徳洲会病院・・・・・・・・・・・・・・・・ 85 頁

伊勢原市

伊勢原協同病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87 頁

松田町

神奈川県立足柄上病院・・・・・・・・・・・・ 89 頁

厚木市

東名厚木病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92 頁

湘南厚木病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95 頁

相模原市

相模原協同病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97 頁

国立病院機構相模原病院・・・・・・・・・・・・ 99 頁

北里大学病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 102 頁

病院情報のみの臨床研修病院（17 病院）

横 浜 市

横浜南共済病院（金沢区）	107頁
済生会横浜市南部病院（港南区）	109頁
横浜労災病院（港北区）	112頁
済生会横浜市東部病院（鶴見区）	114頁
けいゆう病院（中区）	116頁
横浜市立みなと赤十字病院（中区）	119頁
横浜市立市民病院（保土ヶ谷区）	122頁

川 崎 市

川崎市立川崎病院（川崎区）	124頁
川崎幸病院（川崎区）	126頁
帝京大学医学部附属溝口病院（高津区）	128頁
川崎市立井田病院（中原区）	130頁
関東労災病院（中原区）	133頁

茅ヶ崎市

湘南東部総合病院	135頁
----------	------

秦 野 市

秦野赤十字病院	137頁
---------	------

伊勢原市

東海大学医学部付属病院	139頁
-------------	------

厚 木 市

厚木市立病院	142頁
--------	------

海老名市

海老名総合病院	144頁
---------	------

合同説明会参加臨床研修病院ガイド

38施設

病院名：昭和大学藤が丘病院

【病院の概要・特色】

当院の特徴としてまず挙げられるのは、大学附属病院としての高度な医療の水準を保ちつつ、急性期医療から希少な疾患、リハビリテーションまで、様々な患者さんを多数診療していることです。また、臨床研修医教育では開院直後からレジデント制を取り入れ、偏りのない研修プログラムを実施してきました。この方式により昭和大学、他大学を卒業した多くの臨床研修医が当院での研修を終え、さらに専門研修に進んだ者は general に強い専門医となり、各方面からの信頼も厚く、当病院幹部をはじめ様々なところで活躍しています。

当院のもう一つの特徴として救急医療に力を入れていることが挙げられます。救命救急センターでは高度な三次救急を行っており、地域の救命救急の中心的存在となっていますが、さらに近隣の医療需要に応えると同時に初期臨床研修を充実させるため、一次・二次救急を担当するERを平成15年より開設しました。そして、平成29年より一次救急・二次救急・三次救急を一体化して運用する体制に変更し、その結果、以前にも増して救急・初期診療に強い医師を育てる環境となっています。

臨床研修にあたって最も大切なことは、指導医の指導のもと患者さんをしっかりと自分で診て自ら学ぶということです。そして独り立ちするには十分な症例を診ることが必要です。もちろん独善的にならないよう指導体制もしっかりしたものでなければなりません。様々な患者さんを診ることができ、伝統に裏打ちされた指導体制の整った当院は初期臨床研修には最適の環境だと自負しています。是非とも意欲ある医師の参加を募ります。

【病院データ】

- 病 院 長：高橋 寛
- 病院所在地：〒227-8501 神奈川県横浜市青葉区藤が丘1丁目30番地
- 電 話 番 号：045-971-1151（代表）
- 病院URL：<http://www.showa-u.ac.jp/SUHF/>
- ア ク セ ス：東急田園都市線 藤が丘駅下車（徒歩約3分）
- 病 床 数：584床
- 診 療 科 目：呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、小児科、糖尿病・代謝・内分泌内科、血液内科、腎臓内科、腫瘍内科・緩和医療科、精神神経科、皮膚科、放射線科、放射線治療科、臨床病理診断科、呼吸器外科、消化器・一般外科、乳腺外科、心臓血管外科、脳神経外科、小児外科、救命救急科、形成外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、整形外科、眼科、泌尿器科、リハビリテーション科、麻酔科、歯科・歯科口腔外科
- 平均外来患者数：1163.4人／1日
- 平均入院患者数：531.4人／1日

●保育施設の有無：なし

【研修データ】

●プログラムの特徴：

①基本プログラム

基本研修科を十分な期間を充てて研修することにより、しっかりした基礎的臨床能力とGP (General Physician)に求められるプライマリ・ケアの実力を身につけることができます。また、研修医の自主性を尊重し、選択の自由度も配慮しています。

②産婦人科・小児科キャリアパス支援型プログラム

将来産婦人科医または小児科医になることを希望している研修医を対象にしたプログラムです。十分な期間を産婦人科と小児科に充て、将来の専門医を目指した研修が可能です。

※①、②ともに2020年度プログラム

●医師数（病院全体）：264人 常勤のみ

●指導医数：100人

●研修医数：50人（1年目25人、2年目25人）

●研修医の主な出身大学：昭和大学、北里大学、産業医科大学、聖マリアンナ医科大学、横浜市立大学、東京医科大学、藤田医科大学、金沢医科大学など

●専攻医の研修プログラム：有り

内科・小児科・皮膚科・精神神経科・外科・整形外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・泌尿器科・脳神経外科・放射線科・麻酔科・病理・臨床検査・救急医学科・形成外科・リハビリテーション科・総合診療科

（昭和大学附属4病院）

※専攻医研修プログラムがある場合は、診療科も記載してください。

●初期研修終了後の進路：当院へ入局、専攻医として専門分野の研修、社会人大学院へ進学、他院へ入局 等

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格：医師免許取得予定者（2020 年第 115 回医師国家試験を受験する者）又は平成 17 年 4 月以降に医師免許取得した者で、日本医師臨床研修マッチング協議会が行うマッチングに参加登録する者。出身大学・新卒既卒を問わない。
- 病院見学：随時 病院ホームページ「病院からみなさまへ」→「研修希望の方へ」→「昭和大学臨床研修センター」より
- 試験日程：2020 年 8 月 11 日（火）、2020 年 8 月 29 日（土）（予定）
応募締切：2020 年 7 月中旬（予定） ※昨年度：2019 年 7 月 16 日（火）
- 採用人数：25 人
- 採用後の身分：臨床研修医（常勤）
- 給 与：月額 300,000 円 固定給（時間外手当 40 時間を含む） 賞与：なし
（初期 1 年目、2 年目）
- 定期昇給：なし
- 諸 手 当：住宅、当直、時間外 ほか

- 当直回数：月 5 回以内
- 当 直 料：固定給を含む
- 休日・休暇：
休 日：4 週 8 休制、年末年始、本学の創立記念日、その他指定された日
休 暇：1. 年次有給休暇：1 年次 12 日、2 年次 12 日
※適切な研修期間が確保できるよう、1 ローテーションあたり（ひと月ごと）、原則 3 日を限度とする。
※但し、地域医療研修時は、原則、地域医療研修施設の定める休暇以外は取得できないこととする。
2. その他の休暇：本学の就業規則による。
- 社会保険：
1. 健康保険・年金：日本私立学校振興・共済事業団に加入する。
2. 雇用保険・労災保険：加入する。
3. 医師賠償責任保険：個人加入する。
4. 健康診断：定期健康診断を毎年実施する。
- 寮・宿舍：有り ※2 年間入寮可（要相談）
- 応 募 先：〒142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8

昭和大学医学部卒後臨床研修センター 臨床研修医募集係

Tel.03-3784-8299（直通） FAX03-3784-8276 mail m-kenshui@ofc.showa-u.ac.jp

【病院から皆さんへ：研修医の声】

指導医がとても教育熱心で、アットホームで明るい雰囲気です。診療科の垣根が低く、医師同士はもちろん、多職種間ともコミュニケーション・情報共有がスムーズに行われており、“チーム医療”を実践的に学ぶことができます。

また、研修医向けのセミナーも年間を通じて数多く開催されており、外科手技のベーシックコース、アドバンスコースを学ぶことができるスキルアップセミナー、講習会、朝の勉強などが実施され、充実した研修を行うことができます。やる気にあふれる方をお待ちしています。

【病院の概要・特色】

昭和 56 年に開院し、地域中核の総合病院として救急症例を多く受け入れるほか、一般的な疾患から高度な専門的治療を要する症例までさまざまなニーズに応えられる体制を整えております。一般病棟以外に、ICU、回復期リハビリ病棟、難病支援病棟、療養病棟や人工透析、在宅医療、人間ドック、特定健診とそれぞれ連携を図りながら、地域に密着した医療を行っております。

【病院データ】

- 病 院 長：山中 太郎（山梨大学卒）
- 病院所在地：〒241-0801 横浜市旭区若葉台 4-20-1
- 電 話 番 号：045-921-6161
- 病院URL：<https://www.ims-yokohama-asahi.jp/>
- ア ク セ ス：東急田園都市線「青葉台駅」下車 バス約 20 分
横浜線「十日市場駅」下車 バス約 15 分
相鉄線「三ツ境駅」下車 バス約 20 分
- 病 床 数：515 床（一般急性期 397 床、回復 58 床、療養 60 床）
- 診 療 科 目：内科・神経内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科・アレルギー科・リウマチ科・糖尿病内科・小児科・外科・乳腺外科・消化器外科・呼吸器外科・整形外科・形成外科・美容外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・肛門外科・婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・心臓血管外科・血管外科
- 平均外来患者数：832 人／1 日
- 平均入院患者数：415 人／1 日
- 保育施設の有無：院外にあり

【研修データ】

- プログラムの特徴：臨床医に求められる基本的な知識・技術・態度を習得するとともにプライマリ・ケア全般の初期診療に関する能力を身に付け、病人のもつ悩み・苦しみなど、心理的・社会的側面を認識でき得る愛情豊かな医師の育成を行います。また、同時に臨床の場を通じて、生命の尊厳を実経験として認識するとともに、医の倫理の涵養をはかり、全人的医学を学び、医師としての基礎固めを行います。研修終了後、医師としての更なる研鑽を積むための基礎を構築します。
- 医師数（病院全体）： 92 人（男性 73 人、女性 19 人）常勤非常勤含め
- 指導医数： 12 人
- 研修医数： 11 人（1 年目 5 人、2 年目 6 人）
- 研修医の主な出身大学：東京医科大学、北里大学、順天堂大学、昭和大学、広島大学、聖マリ

アノナ医科大学、杏林大学、大阪医科大学、福岡大学、東海大学、藤田医科大学

●専攻医の研修プログラム：有り（内科、麻酔科）

●初期研修終了後の進路：当院または IMS グループ病院、大学病院

【採用試験要綱及び処遇】

●応募資格：医師国家試験受験予定者、合格者

●病院見学：随時

●試験日程：2020 年 8 月 8 日、15 日、22 日、29 日、9 月 5 日、12 日、19 日

●採用人数：6 人

●採用後の身分：常勤嘱託

●給 与：基本給 1 年目 350,000 円/月 2 年目 380,000 円/月（その他休日手当別途支給）

●定期昇給：年 1 回

●諸 手 当：通勤・当直・時間外

●当直回数：週 1 回、月平均 4 回

●当 直 料：1 回 10,000 円（平日）

●休日・休暇：土日祝日

●社会保険：厚生年金 他

●寮・宿舎：有り（独身寮）

●応 募 先：〒241-0801 横浜市旭区若葉台 4-20-1 横浜旭中央総合病院 総務課 加茂川 宛

TEL 045-921-6161 FAX 045-922-2720 mail kamogawa@asahi-hp.jp

【病院から皆さんへ：研修医の声】

研修医人数が 6 名と少数のため、手技や経験を重視する人には大きく成長できる環境となっています。そのため積極的にさまざまなことを経験したい方、明るく前向きな性格の方を求めています。指導医から命じられる指導ではなく、研修医が学んだことから積極的に検査治療といった、主治医として治療できるように指導して下さります。実診療もさることながら、実症例を元にした勉強会等も同時に行うことで、考える力が身に付きます。

見学の際は、ぜひ内科系を希望してみてください。専門科もちろん見る事ができますが、科の垣根を越えて臓器横断的に学ぶことができます。そして研修医とたくさん話ししていま疑問や不安に思っていることなど相談してみてください。きっと親身になって相談に乗ってくれるはずです。

病院名：聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

【病院の概要・特色】 当院は、「よこはま 21 世紀プラン」の一環として聖マリアンナ医科大学が建設した大学附属病院です。横浜市西部地区の地域中核病院として、地域住民の健康保持と疫病予防に貢献するとともに、大学病院のもつ高度な専門的治療を提供する総合的な医療機関としての役割を果たすことを目的としています。
【病院データ】 ●病 院 長：田口 芳雄 ●病院所在地：〒241-0811 横浜市旭区矢指町 1197-1 ●電 話 番 号：045-366-1111 ●病院URL：http://marianna-yokohama.jp/ ●ア ク セ ス： 【相鉄線三ツ境駅下車】 三ツ境駅から野境道路沿い徒歩約 12 分(約 1km)水道企業団隣り バス利用：三ツ境駅北口バス発着所 1 番(116 系統)より、若葉台中央行または若葉台中央経由十日市場行に乗車、西部病院前下車。(三ツ境駅より 3 つ目) ●病 床 数： 518 床 (一般急性期 518 床) ●診 療 科 目：血液内科、リウマチ・膠原病内科、腎臓・高血圧内科、呼吸器内科、消化器・肝臓内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、脳神経内科、神経精神科、小児科、消化器・一般外科(乳腺外科含む)、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科 ●平均外来患者数：約 1000 人／1 日(平成 30 年度実績) ●平均入院患者数：約 340 人／1 日 ●保育施設の有無：院内に有り
【研修データ】 ●プログラムの特徴：1 年目は、内科を中心とした総合診療を目指した研修プログラムに加えて、手技・処置を体得するため救命救急センターと麻酔科を必須研修としています。また幅広い疾患を経験できるよう外科系・小児科・産婦人科・神経精神科も必修としています。 2 年目は、自由選択のプログラムであり、聖マリアンナ医科大学病院臨床研修病院群も含めた研修も選択でき、いわゆるマイナー診療科などをキャリアデザインに合わせて選択することも可能です。また、聖マリアンナ医科大学のみではなく、同県内の協力型病院と相互に研修医が行き来する関係性が構築されております。

- 医師数（病院全体）：156 人（男性 126 人、女性 30 人）常勤のみ
- 指導医数：74 人
- 研修医数：11 人（1 年目 6 人、2 年目 5 人、初期終了後研修 3 人）
- 研修医の主な出身大学：聖マリアンナ医科大学、近畿大学、昭和大学、福岡大学
- 専攻医の研修プログラム：内科専門医研修プログラム
- 初期研修終了後の進路：医局へ入局、後期研修プログラムへ参加、大学院へ進学

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格：第 114 回(2020 年/令和 2 年)医師国家試験を受験する者、又は第 98 回(2004 年/平成 16 年)、4 月以降に医師免許を取得した者で、かつ医師臨床研修マッチングに参加する者
- 病院見学：随時見学募集（電話またはホームページより予約してください）
- 試験日程：7 月～8 月頃実施予定（詳細はホームページにて更新いたします）
- 採用人数：7 人
- 採用後の身分：研修医（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院の常勤職員）
- 給 与：基本給 20 万円
- 諸 手 当：研修医手当 3 万円

- 当直回数：週 1 回、月平均 4 回
- 当 直 料：平日 11,000 円/17,500 円(土曜日)
- 休日・休暇：土曜日(第 1 週・第 3 週)、日曜、祝日、開学記念の日、年末年始休暇
- 社会保険：日本私立学校振興・共済事業団(健康保険・年金・社会保険制度)等
- 寮・宿舍：有り(月額 20,000 円、別途水道・ガス代)
- 応 募 先：URL：<http://seibu-resident.jp/>よりお問い合わせください。

【病院から皆さんへ：研修医の声】

開院時から開設された救命救急センターでは、救命のための first aid measures から集中治療も含めた 3 次救急医療までを経験でき、瞬時の臨床判断を養うことができます。

隔週で行われる各診療科による持ち回りのセミナーでは、手技訓練の実施や活発な議論を行う場所として先輩医師や同僚とのコミュニケーションの重要性を学べます。

また、少人数での研修体制のため、研修医間での手技の取り合いがなく、手厚い指導の下豊富な手技を経験することができます。

また、技師による超音波検査の技術指導や CV 研修、縫合実習等多くの実技指導を受講する機会を設けられています。

医師だけではなく、全職員が臨床研修医を支援する体制が整っており、充実した研修生活へつながっております。

病院名：国際親善総合病院

【病院の概要や特色】

- 横浜市泉区トップの急性期病院（横浜市二次救急拠点病院[A]）。
- 2015年9月に緩和ケア病棟オープン。2017年春、分娩病棟再開。
- 創立から150年以上の歴史が有る、非常に安定した地域密着型の総合病院です。
- 横浜駅から30分、閑静な住宅街に囲まれた抜群の環境。
- 職員用無料駐車場、院内保育園有り。職員寮も有ります。

【病院のデータ】

- 病院長名： 安藤 暢敏
- 病院の郵便番号・所在地：〒245-0006 神奈川県横浜市泉区西が岡1-28-1
- 病院の電話番号：045-813-0221
- 病院のURL：<https://shinzen.jp/>
- 病院への交通手段：相鉄いずみ野線・弥生台駅から徒歩7分、または車通勤
- 病床数：287床
- 診療科目： 救急科、総合内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内分泌内科、腎臓高血圧内科、神経内科、精神科、呼吸器内科、呼吸器外科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、泌尿器科、麻酔科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、画像診断・IVR科、形成外科、緩和ケア内科
- 1日平均在院患者数（2018年度）：241.9
- 1日平均外来患者数（2018年度）：650.5
- 保育施設の有無：有り

【研修データ】

- プログラムの特徴：当院は大病院ではありませんが、地域の基幹病院として common disease を多く経験することができるのが特徴です。初期研修のうちから、一般的な愁訴・疾患に対しそれぞれの初期診断・初期対応を行う機会に恵まれていると思われます。
- 医師数（病院全体） 144名
- 指導医数 45名
- 研修医数（2019年度6名 1年次 男性2名、女性1名／2年次 男性1名、女性1名）
- 研修医の主な出身大学 横浜市立大学、慶應義塾大学、順天堂大学、東邦大学、東京女子医科大学、旭川医科大学、秋田大学、三重大学、岐阜大学、熊本大学、琉球大学等。
- 初期研修修了後の進（後期研修医として専門分野の研修または大学院、他の病院へ等）
横浜市大関連病院、昭和大学附属の病院、慶應義塾大学病院、東邦大学医療センター大森病院など。

【研修医採用試験要綱並びに処遇】

- 応募資格：2020 年度医師国家試験合格者（見込み）
- 病院見学について：随時実施中
- 採用試験日程：8、9 月予定（詳しくは当院 HP をご参照ください）
- 採用予定人数：3 名
- 身分：常勤
- 給与（1 年次：基本給 309,000 円、2 年次：基本給 319,000 円）賞与有り。
- 当直回数 3～4 回／月
- 当直料 選択による
- 社会保険の有無：有り
- 宿舎・住宅について：職員寮有り
- 採用試験応募の連絡先：総務課 伊藤宛て

【その他 貴病院のPRなど内容は自由に記載】

初期研修を前にして、既に将来の専攻科を決めている方、おおよその目標（内科系 / 外科系）をお持ちの方、初期研修中に広く見渡しながらかえようとの想いの方など、それぞれいらっしゃると思います。いずれにしろこの2年間に何を求めるのか、初期研修の明確な目標を持ちましょう。

国際親善総合病院は横浜市中でも高齢化が顕著な泉区唯一の総合病院で、地域医療の中核病院です。したがって専門性に特化するのではなく、地域に根ざした病診連携がその根幹です。どの領域でも多くの併存疾患をもった高齢患者さんの医療を、いかに地域完結させるのか等々、幅広く一緒に学習して下さい。

「初期研修をどの病院で受けたらよいか」という悩みは医学部生の皆さんにとって大きな関心事かもしれません。大学病院・市中病院から始まり、研修医が多い病院・少ない病院、出身大学の近隣・地元近くなど、様々な選択肢があります。

それぞれ少しずつ特徴が異なると思われますので、自分のスタイルに合った病院で初期研修を受けられるのが一番だと思います。でも本当は「どこで研修を受けたか」ではなく「自分がどのような研修を行ったか」そして「自分が患者さんとどう向き合ったか」という事の方が大切だと思います。

当院は大病院ではありませんが、地域の基幹病院として common disease を多く経験することができるのが特徴です。初期研修のうちから、一般的な愁訴・疾患に対しそれぞれの初期診断・初期対応を行う機会に恵まれております。皆さんの貴重な研修期間を少しでも実りあるものになるようサポートさせて頂くのが、私たち指導医の役割です。ぜひ一度見学にして当院の雰囲気を感じとって頂けたら幸いです。

病院名：横浜市立大学附属病院

【病院の概要・特色】 当院は、「市民が心から頼れる病院」を目指した横浜市唯一の特定機能病院です。神奈川県にある唯一の公的医育機関附属病院として、高度かつ先進的な医療と安全な医療を市民に提供し、質の高い医療人を育成するため、横浜市立大学附属市民総合医療センターや地域の医療機関と連携し、診療・教育・研究を行っています。
【病院データ】 ●病 院 長：相原 道子（横浜市立大学 昭和 55 年卒）、出身神奈川県 ●病院所在地：〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 ●電 話 番 号：045-787-2800 ●病院URL：http://www.yokohama-cu.ac.jp/fukuhp/ ●ア ク セ ス：シーサイドライン「市大医学部」駅下車徒歩 1 分 ●病 床 数：674 床 ●診 療 科 目：血液・リウマチ・感染症内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓・高血圧内科、内分泌・糖尿病内科、脳神経内科、脳卒中科、消化器内科、臨床腫瘍科、総合診療科、精神科、児童精神科、小児科、心臓血管外科・小児循環器、消化器・一般外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・甲状腺外科、乳腺外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、歯科・口腔外科・矯正歯科、麻酔科、脳神経外科、形成外科、リハビリテーション科、病理診断科、救急科、がんゲノム診断科、遺伝子診療科 ●平均外来患者数（2018 年度）：1,930 人／1 日 ※歯科含む ●平均入院患者数（2018 年度）：559 人／1 日 ※歯科含む ●保育施設の有無：あり（院内、病児、病後児）
【研修データ】 ●プログラムの特徴： すべての診療科に必要な基本的診療能力を身につけるとともに、自分の適性を確かめ、3 年目以降の専門研修に円滑に移行できる、自由度の高いプログラムです。 ①基本プログラムにおける、横浜市立大学附属市民総合医療センター及び神奈川県内外の協力病院との「たすきがけ」研修（協力病院数：19 施設） ②2 年次における最大 11 か月の自由選択期間 ③神奈川県内外の協力施設で最大 3 か月の地域医療研修 ●医師数（病院全体）：531.8 人（男性 393.3 人、女性 138.5 人）常勤非常勤含め ※非常勤は常勤換算、研修医を含む ●指導医数：110 人（平成 31 年 4 月 1 日現在）

●研修医数：184 人（1 年目 50 人、2 年目 49 人、初期終了後研修 85 人）

●研修医の主な出身大学：横浜市立大学等、全国の国公立 24 大学（令和元年度実績）

●専攻医の研修プログラム：有り

診療科：内科、外科、小児科、産婦人科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション、総合診療

●初期研修終了後の進路：本学専門医研修プログラムでの研修、大学院進学等

【採用試験要綱及び処遇】

●応募資格：原則として 2021 年に医師免許証取得見込の者で、医師臨床研修マッチングに参加する者

●病院見学：平日日中に随時受け入れ（詳細は当院ウェブページから）

●試験日程：調整中（今夏はオリンピック開催のため。例年は 7 月下旬から 9 月上旬に実施。詳細は当院ウェブページから）

●採用人数：基本プログラム 50 名、産科・小児科プログラム 4 名（予定）

●採用後の身分：公立大学法人横浜市立大学非常勤職員（臨床研修医）

●給 与：約 370 万円（1 年目）、約 400 万円（2 年目） 賞与 年 2 回

●定期昇給：なし

●諸 手 当：家賃補助・通勤手当・宿日直手当

●当直回数：週 1 回、月平均 4～5 回

●当 直 料：1 回 15,400 円

●休日・休暇：土日祝日、年末年始

●社会保険：厚生年金 他

●寮・宿舎：なし（住宅補助あり／月額上限 3 万円）

●応 募 先：〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学 医学・病院統括部 職員課人事担当 山形、山本 宛

Tel 045-787-2729 FAX 045-787-2930 mail resident@yokohama-cu.ac.jp

【病院から皆さんへ：研修医の声】

大学病院では、市中では見られない貴重な症例を、多くの先生方の意見を聞きながら勉強することができます。学会で発表できるチャンスも多く、自信がつきます。また、同期もたくさんいるので毎日切磋琢磨しながら研修に励むことが出来ます。他大学出身でも全く疎外感を感じることはなく、毎日楽しく充実した研修生活を過ごせています。



病院名：菊名記念病院

【病院の概要・特色】

当院は年間 8,000 台前後の救急車を受け入れている横浜市内でも有数の救急病院です。
横浜市北部地域の基幹病院として ER、循環器センター、内視鏡センターを備え、
24 時間体制で患者を受け入れ、緊急手術にも対応しております。
また、平成 28 年 12 月には SCU（ストロークケアユニット）の開設、平成 29 年 12 月
には内視鏡センター改築（2 室→4 室）、リハビリテーション室改築（面積拡大）を
行い、更なる体制の強化を行っております。

【病院データ】

- 病 院 長：村田 升
- 病院所在地：〒222-0011 神奈川県横浜市港北区菊名 4-4-27
- 電 話 番 号：045-402-7111
- 病院URL：<https://www.kmh.or.jp>
- ア ク セ ス：東急東横線・JR 横浜線 菊名駅 徒歩 4 分
- 病 床 数：218 床（内 特定集中治療室 10 床 脳卒中ケアユニット 5 床）
- 診 療 科 目：内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、アレルギー科、外科、
整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、
麻酔科、精神科、婦人科、乳腺外科、救急科、臨床検査科、腎臓内科、
内視鏡内科、肝臓内科、神経内科、糖尿病内科、美容皮膚科、病理診断科、
リハビリテーション科
- 平均外来患者数： 335.8 人／1 日
- 平均入院患者数： 193.2 人／1 日
- 保育施設の有無：有（病院敷地に隣接）

【研修データ】

- プログラムの特徴：①救急研修は当番制・・・当院では救急研修を週 1 回の当番制という
方法を取っています。長期にわたり、継続して救急外来を経験することで様々な症例を経験
することができます。
- ②研修医は少人数・・・当院の研修医受入人数は 4 名です。研修医の人数を少人数にすること
で、ひとつひとつの症例を掘り下げて経験することができ、1 人あたりが経験できる症例数を
多くしています。
- ③急性期病院で学ぶ救急医療・・・当院では毎年救急車搬入件数が 7,000 台前後です。急病と
外傷の比率は 7：3 程度となっており、その症状は軽症から重症まで様々です。病棟よりも迅速
な対応と鑑別診断能力が求められるため、自分で考えて進めていく力が身に付きます。

- 医師数（病院全体）： 54 人（男性 44 人、女性 10 人）
- 指導医数： 16 人
- 研修医数： 6 人（1 年目 3 人、2 年目 3 人）
- 研修医の主な出身大学：三重大学、北海道大学、札幌医科大学、東京大学、
順天堂大学、東京女子医科大学、産業医科大学
- 初期研修終了後の研修プログラム：有り（基幹病院との連携による）
- 初期研修終了後の進路：当院及び他の病院にて後期研修医として専門分野の研修

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格：医師国家試験合格者
- 病院見学：随時
- 試験日程：毎年 7 月～9 月（日程は応相談）
- 採用人数：4 人
- 採用後の身分：常勤
- 給 与：月額 350,000 円（1 年目）、月額 380,000 円（2 年目）
- 定期昇給：年 1 回
- 諸 手 当：通勤手当（実費支給）、家族手当（規定による）、住宅手当（規定による）、
時間外手当（時間計算 1 日上限 15,000 円）

- 当直回数：規定なし 本人の希望に応じて決定
- 当 直 料：1 回 10,000 円
- 休日・休暇：日曜日・祝日・年末年始（12/30 午後～1/3）
土曜日の医局朝会（8：00～）終了後は原則研究日としております。
但しローテ診療科による。
- 社会保険：社会保険、厚生年金、雇用保険加入
- 寮・宿舍：単身寮有（37,500 円／月）
- 応 募 先：【TEL】045-402-7117 担当者：臨床研修事務担当

【病院から皆さんへ】

当院は 218 床の規模の小さな病院で、年間 8,000 台前後の救急車を受け入れております。循環器内科、消化器救急疾患、脳神経外科、心臓血管外科の重症救急患者にも対応可能であります。また、当院では総合診療科を設けており、守備範囲の広い診療を行っております。初期研修教育では、まず患者の初期診療に携わり、幅広い臨床経験を積んで頂いております。臨床経験を多数積みたいと考える研修医希望者には、規模の小さいアットホームな環境で、濃い中身を持った当院で研修して頂きたいと思っております。

病院名：横浜栄共済病院

【病院の概要・特色】

横浜栄共済病院は人口 12 万人余の横浜市栄区唯一の急性期型病院で、診療圏は港南区、戸塚区、鎌倉市に広がります。1980 年代に都市化が進んだこの地域は横浜市全体と比較して、現在高齢化が進んでいます。しかし、健康寿命を意味する高齢者平均自立期間は市内でトップクラスです。今後も 4 疾病（がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病）および 1 事業（救急医療）においては診療が地域で完結することを目指し、診療精度を向上させるとともに連携体制を構築し、円滑な推進を目指します。また 2019 年 11 月にグランドオープンした新病棟により、地域医療のステージを変えることを目指しています。

【病院データ】

- 病 院 長：細川 治（金沢大学卒）
- 病院所在地：〒247-8581 横浜市栄区桂町 132 番地
- 電 話 番 号：045（891）2171
- 病院URL：<http://yokohamasakae.jp/>
- ア ク セ ス：京浜東北根岸線 本郷台駅より 徒歩 7 分
- 病 床 数：430 床
- 診 療 科 目：内科（消化器、循環器、代謝内分泌、腎膠原病、呼吸器、一般内科）、外科（消化器・甲状腺、乳腺）、脳卒中診療科・脳神経外科、脳卒中診療科・神経内科、胸部心臓血管外科（心臓血管、呼吸器）、整形外科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、産婦人科、眼科、精神神経科、形成外科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線科、救急科、小児科、健康医学センター（人間ドック）
- 平均外来患者数：1,028 人／1 日（2018 年度）
- 平均入院患者数：356 人／1 日（2018 年度）
- 保育施設の有無：院内、院外、病児、病後児

【研修データ】

- プログラムの特徴：研修が義務付けられている科の研修 60 週を除いた残りの 44 週に関しては、ローテート科を自由に選択できるなど、研修医 1 人 1 人の多様な希望にフレキシブルに対応することができます。
- 医師数（病院全体）：114 人（男性 87 人、女性 27 人）
- 指導医数：73 人（7 年以上の臨床経験を有する常勤の医師）
- 研修医数：17 人（1 年目 9 人、2 年目 8 人、初期終了後研修 2 人）
- 研修医の主な出身大学：東北大学、富山大学、群馬大学、弘前大学、大分大学、産業医科大学、横浜市立大学、金沢大学、新潟大学、東邦大学、聖マリアンナ

医科大学、信州大学など

●専攻医の研修プログラム：有り（内科）

●初期研修終了後の進路：当院にて専門プログラムの研修、関連大学医局へ入局など

【採用試験要綱及び処遇】

●応募資格：マッチングプログラム参加者（原則として 2021 年 3 月に卒業見込の者）

●病院見学：随時受付（土日祝日、GW、年始年末、年度末を除く）

当院 HP の病院見学フォーマットよりお申込みください。

●試験日程：7 月～9 月中に 3 回実施予定です。

詳細に関しましては当院 HP をご参照ください。

●採用人数：6 人

●採用後の身分：病院採用職員

●給 与：4,050,000 円/年（1 年目）、6,050,000 円/年（2 年目）

年 2 回の賞与と時間外等の手当を含む。

●定期昇給：年 1 回

●諸 手 当：住宅、通勤、当直手当、学会参加補助など

●当直回数：週 1 回、月平均 3～4 回

●当 直 料：1 回 21,000 円

●休日・休暇：土日祝日、年始年末、夏季休暇（4 日）、有給休暇、特別休暇

●社会保険：あり

●寮・宿舎：宿舎有り

●応 募 先：郵送にてご応募ください。

（必要書類などの詳細に関しましては、当院 HP をご確認ください）

〒247-8581 横浜市栄区桂町 132 番地

国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院 総務課宛て

TEL：045-891-2171 FAX：045-895-8352

E-mail：soumu@yokohamasakae.jp

【病院から皆さんへ】

【研修医の先生より、おすすめポイント☺】

救急の日当直をはじめ、自分で考えて責任を持ち行う範囲と、指導を受けながら行う範囲のバランスが良いことです。自分で考えて問診や診察、検査オーダー、コンサルトまででき、さまざまな手技を経験することができます。また、当院は医師間やコメディカルの方たちとの距離も近く、院内の雰囲気もとても良いです。ぜひ一度、当院へ見学にいらしていただき、この雰囲気を感じていただきたいと思います！お待ちしております♪

病院名：昭和大学横浜市北部病院

【病院の概要・特色】 本病院は横浜市医療政策の一環として配置された地域中核病院の1つであり、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院に認定されています。内科と外科が1つのチームになって専門診療を行うセンター方式による診療体制をコアとし、緩和ケア病棟や精神科病棟といった特殊病床も併設されています。また助産師を中心とし軽症出産への対応を目的としたマタニティ病棟の設置といった先駆的な取り組みをしており、医療の安全管理を徹底しながら、人間教育にも力を入れ、医療の質とサービスの向上を目指しています。
【病院データ】 ●病 院 長：門倉 光隆 ●病院所在地：〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 ●電 話 番 号：045-949-7000（代） ●病院URL：http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/ ●ア ク セ ス：横浜市営地下鉄センター南駅より徒歩7分 ●病 床 数：689 床 ●診 療 科 目：呼吸器センター(呼吸器内科、呼吸器外科)・消化器センター(消化器内科、消化器外科)・循環器センター(循環器内科、心臓血管外科)・こどもセンター(小児内科、小児外科)・メンタルケアセンター・緩和ケアセンター(緩和医療科)・救急センター(ER) ◇内科系診療センター：内科(一般内科、内分泌・代謝、神経、腎臓、膠原病、腫瘍、血液 2020 年 4 月からの体制)・皮膚科・放射線科(放射線科、放射線治療科)・リハビリテーション科・臨床病理診断科 ◇外科系診療センター：外科(一般外科、乳腺外来、形成外科、美容外科)・脳神経外科・整形外科・産婦人科(マタニティハウス)・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・麻酔科 ◇その他の診療部門：甲状腺センター・女性骨盤底センター・歯科、歯科口腔外科・健康増進室(人間ドック、歯科ドック)・臨床遺伝医療室 ●平均外来患者数：1,097.6 人／1 日 ●平均入院患者数：602.1 人／1 日 ●保育施設の有無：なし

【研修データ】

- プログラムの特徴：北部病院の臨床研修プログラムには、GPとして求められるプライマリ・ケアの実力を幅広く習得することを目的とした「基本プログラム」と、産婦人科・小児科研修に配慮した「産婦人科／小児科プログラム」の2つが用意されています。※2020年度プログラム
- 医師数（病院全体）：272人 常勤のみ
- 指導医数：100人
- 研修医数：49人（1年目24人、2年目25人）
- 研修医の主な出身大学：昭和大学、北里大学、東海大学、東邦大学、東京医科大学、愛知医科大学、帝京大学、札幌医科大学、高知大学、島根大学など
- 専攻医の研修プログラム：有り
内科・小児科・皮膚科・精神神経科・外科・整形外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・泌尿器科・脳神経外科・放射線科・麻酔科・病理・臨床検査・救急医学科・形成外科・リハビリテーション科・総合診療科
（昭和大学附属4病院）
- 初期研修終了後の進路：昨年度は、9割が昭和大学の8つの附属病院を選択し、その中のおおよそ半数が当院の診療科を進路先に決めています。

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格：医師免許取得予定者（2020年第115回医師国家試験を受験する者）又は平成17年4月以降に医師免許取得した者で、日本医師臨床研修マッチング協議会が行うマッチングに参加登録する者。出身大学・新卒既卒を問わない。
- 病院見学：随時 病院ホームページ「研修医募集」→「病院見学のご案内」より
- 試験日程：2020年8月11日（火）、2020年8月29日（土）（予定）
応募締切：2020年7月中旬（予定） ※昨年度：2019年7月16日（火）
- 採用人数：25人（基本：21名、産婦人科/小児科：4名）
- 採用後の身分：臨床研修医（常勤）
- 給与：月額300,000円 固定給（時間外手当40時間を含む） 賞与：なし
（初期1年目、2年目）
- 定期昇給：なし
- 諸手当：住宅、当直、時間外 ほか

●当直回数：月 5 回以内

●当 直 料：固定給に含む

●休日・休暇：

休 日：4 週 8 休制、年末年始、本学の創立記念日、その他指定された日

休 暇：1. 年次有給休暇：1 年次 12 日、2 年次 12 日

※適切な研修期間が確保できるよう、1 ローテーションあたり（ひと月ごと）、原則 3 日を限度とする。

※但し、地域医療研修時は、原則、地域医療研修施設の定める休暇以外は取得できないこととする。

2. その他の休暇：本学の就業規則による。

●社会保険：

1. 健康保険・年金：日本私立学校振興・共済事業団に加入する。

2. 雇用保険・労災保険：加入する。

3. 医師賠償責任保険：個人加入する。

4. 健康診断：定期健康診断を毎年実施する。

●寮・宿舎：有り ※2 年間入寮可（要相談）

●応 募 先：〒142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8

昭和大学医学部卒後臨床研修センター 臨床研修医募集係

TEL03-3784-8299（直通） FAX03-3784-8276 mail m-kenshui@ofc.showa-u.ac.jp

【病院から皆さんへ：研修医の声】

横浜市北部に立地する当院は、東京や横浜（みなとみらい等）へのアクセスがよく、また港北ニュータウン内にあるため、小児から高齢者まで幅広い年齢層の患者診療に携わることができます。また消化器センターや循環器センターなど、国内外でも有名な医療スタッフを多数抱え、初期研修のみならず専門医研修まで医師としてのキャリア形成に望ましい陣容を誇っています。大学病院としての特性から主に急性期病院としての機能を果たしていますが、さらに当院併設の緩和ケア病棟を通しての在宅への一連の流れについての経験をすることもできます。また院内で行うランチョンセミナー、CVC 講習会などの勉強会や、院外で実施する外科手技スキルアップセミナー等、知識や技能の獲得のための講習会が多数企画されています。また、研修状況評価・改善を目的として、指導医や研修医代表が集まっての臨床研修コーディネート委員会が毎月開催されていますが、さらに病院長自らが研修の状況や研修医の要望などを聞く「病院長ランチョンミーティング」も適宜実施しており、研修医達は数か月に 1 度、病院長と直接話をする機会を持つことができます。このように日々の振り返りを大事にし、研修医達は豊富な症例の中で、日々切磋琢磨し研修に臨んでいます。院内にある研修医寮に居住することで、

通勤の煩わしさもなく、研修に、またプライベートに時間を有効に使うことができます。このような研修環境に恵まれた当院で、あなたも私たちと一緒に臨床研修に臨みませんか。「鉄は熱いうちに打て」です。あなたの「良き医師となろう」という熱い思いに期待しています。

【病院の概要・特色】

当院は JR 川崎駅から南武線で 1 駅目の「尻手駅」^{しって} 近くに 있습니다。横浜駅へは電車で約 20 分、東京駅と羽田空港へは約 30 分と交通アクセスは快適です。また、当院は 2001 年に開院した基幹型臨床研修病院で、特色としては Common disease に対する幅広い知識を獲得出来ることにあります。地域の医療機関であるため、日常の診療で頻繁に遭遇する疾患に加え、内科系・外科系の救急疾患の初期対応も経験することが出来ます。その中で、症例に基づく勉強のやり方、検査や治療方針、外来・救急における疾患のマネジメントを習得していきます。さらに、医師としての人格の涵養を育むため、協調性、倫理性を持ちチーム医療の中でリーダーシップを果たしていく点を重視し、医師以外にもコメディカルを含め病院全体で研修医を育てる風土の確立に努めています。患者さんの立場に視点を置き、患者さんが求める医療をチームで探求し、医療スタンスを構築することは大切なことです。そして、専門性と総合性を兼ね備え、予防からリハビリテーションまで一貫した医療を実践すると共に、需要が増加している高齢者医療や在宅医療にも力を入れています。横浜市二次救急拠点病院・横浜市脳血管疾患医療機関・神奈川県災害医療協力病院として、市内の救急医療の一端を担っています。更に、特筆すべきは 266 床と小規模ながら市内トップ 3 の脳卒中専門医と神経内科医が多く在籍しており、脳卒中関連はもちろんプライマリケア、急性期から在宅診療まで幅広い領域の基礎的知識を学び、経験を積むことが出来ます。横浜での地域医療に関心のある方は是非一度、私たちの医療を体験しに来て下さい。お待ちしております。実習希望の方はこちらの QR コードよりお申込み下さい→ → → → →



【病院データ】

- 病 院 長：小澤 仁（横浜市立大学卒）
- 病院所在地：〒230-0001 神奈川県横浜市鶴見区矢向 1-6-20
- 電 話 番 号：045-574-1485（医局直通）
- 病院 URL：www.ushioda.or.jp
- ア ク セ ス：JR 南武線 尻手駅^{しって} 徒歩 7 分
- 病 床 数：266 床（一般病床 104 床、回復期リハ病床 58 床、地域包括ケア病床 104 床）
- 診 療 科 目：内科（一般・呼吸器・循環器・消化器・糖尿病）／神経内科／小児科／精神科
外科／整形外科／脳神経外科／婦人科／皮膚科／耳鼻咽喉科／眼科／歯科・口腔外科／泌尿器科
リハビリテーション科／麻酔科
- 平均外来患者数：431 人／1 日
- 平均入院患者数：274 人／1 日
- 保育施設の有無：有（院外）

【研修データ】

- プログラムの特徴：産婦人科、小児科、精神科は済生会横浜市東部病院で外部研修ができます。
- 医師数（病院全体）：45 人（男性 28 人、女性 17 人） 常勤非常勤含め 106 人
- 指導医数：10 人
- 研修医数：5 人（1 年目 1 人、2 年目 2 人、初期終了後研修 2 人）
- 研修医の主な出身大学：聖マリアンナ医科、横浜市立、北海道、東北、旭川医科、新潟等
- 専攻医の研修プログラム：有り（総合診療科等）
- 初期研修終了後の進路：東邦大学医療センター大森病院、横浜市立大学病院等

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格：医師国家試験合格予定者
- 病院見学：随時（土日、祝日は不可）
- 試験日程：2020 年 7 月～9 月（予定）
- 採用人数：3 人
- 採用後の身分：常勤
- 給 与：4,875,000 円（1 年目）、5,524,000 円（2 年目） 賞与 年 2 回
- 定期昇給：年 1 回
- 諸 手 当：住宅・家族・通勤・当直・時間外

- 当直回数：原則月 4 回
- 当 直 料：1 回 30,000 円（独り立ち・2 年目秋以降）／15,000 円（副当直・独り立ち前・2 年目 4 月頃）／10,000 円（副当直・1 年目 12 月頃）／2,500 円（見習い当直・9～11 月頃：17～23 時）
- 休日・休暇：4 週 8 休（祝日を含む）
- 社会保険：厚生年金 他
- 寮・宿舍：無
- 応 募 先：〒230-0001 横浜市鶴見区矢向 1-6-20 汐田総合病院 医局 担当 朝見宛て
Tel：045-574-1485（医局直通） FAX：045-574-1075 mail:ikyoku@ushioda.or.jp

【病院から皆さんへ：研修医の声】

地域密着型の病院です。地域の患者さんが抱えている問題に多職種連携で取り組む姿を見てください。また、神経内科研修には外部の病院からも研修医が来ています。ジェネラルな研修はもちろんのこと、大学病院に負けないぐらい珍しい症例を含めたアカデミックな研修が行えるなど魅力たっぷりで、良い意味で“穴場”の病院です。また、研修医が少人数という強みとして直接、指導医から教わることができ手技はもちろん、任せてもらえる“業務”の幅が広いのもアピールポイントです。

病院名：横浜医療センター

【病院の概要・特色】

横浜市郊外にあり、地域の基幹病院として 70 年以上の歴史があります。2010 年 4 月に新築された 510 床の病院で、三次救急をカバーする救命救急センターを持ち、年間 4500 台以上の救急車に応需しています。また、県内では数少ない精神科病棟を持った総合病院でもあります。

地域の拠点病院として住民の信頼も厚く、内科・外科ともバランス良く症例があり、common diseases から稀な疾患まで診療に携わることができますが、残念ながら血液内科は標榜していません。

初期臨床研修が開始されて以来、研修医の育成に取り組んでおり、当院で研修した医師が指導医師として活躍するまでになっています。

【病院データ】

●病 院 長：鈴木 宏昌

●病院所在地：〒245-8575 横浜市戸塚区原宿 3-60-2

●電 話 番 号：045-851-2621

●病院URL：<http://www.yokohama-mc.jp/>

●ア ク セ ス：JR 戸塚駅、大船駅、藤沢駅からバスで 20 分ほど

●病 床 数：510 床（一般急性期 470 床、精神 40 床）

●診 療 科 目（32 科）：内科、糖尿病内分泌内科、腎臓内科、心療内科、精神科、神経内科
呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、アレルギー科、膠原病・リウマチ内科
小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科
呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科
リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科
緩和ケア内科

●平均外来患者数：835 人／1 日

●平均入院患者数：425 人／1 日

●保育施設の有無：院内保育施設 有

【研修データ】

●プログラムの特徴：研修医数は多くもなく少なくもなく、1 学年 8 名ですが、横浜市立大学（6 名/2 学年合わせて）、山梨大学（1～4 名/1 年目のみ）からの研修医が合わさり、20 名を超える研修医が在籍しています。

厚生労働省の指針に基づきながらも、自身の興味ある診療科を選択できる余地を多くっており、救命救急センターでは外来だけでなく ICU 管理も学ぶことができます。さらに、退院後の生活を見据えての家族との調整など、入口から出口までを経験することができます。

血液内科以外の大半の診療科があり、精神科でも病棟管理を学ぶことができます。外科系でも多くの症例を経験できるはずです。

●医師数（病院全体）：160 人（男性 88 人、女性 72 人）常勤非常勤含め

●指導医数： 35 人

●研修医数： 22 人（1 年目 13 人、2 年目 9 人）

●研修医の主な出身大学：横浜市立大学 他

●初期研修終了後の研修プログラム：有り 内科・外科・脳神経外科・総合診療

●初期研修終了後の進路：当院の専門医制度基幹プログラムへ応募するものや、連携施設の横浜市立大学の専門医制度基幹プログラムを選択される方もおり、その後の進路も多種多様です。

【採用試験要綱及び処遇】

●応募資格：医学部卒業見込若しくは医師国家試験合格者

●病院見学：随時、メールにて受付

●試験日程：8 月に実施予定（全 3 回）

●採用人数：8 人

●採用後の身分：期間職員

●給 与：月額 400,000 円程度（1 年目・2 年目）

●定期昇給：なし

●諸 手 当：通勤、当直、時間外

●当直回数：月平均 5 回

●当 直 料：1 回 20,000 円

●休日、休暇：土日祝日

●社会保険：健康保険・厚生年金・雇用保険

●寮、宿舎：有り（病院敷地内 1 ルームタイプ）

●応 募 先：〒245-8575 横浜市戸塚区原宿 3-60-2 横浜医療センター 庶務係長

Tel 045-851-2621 FAX 045-851-3902 mail 219sy01@hosp.go.jp

【病院から皆さんへ】

新当院は、研修医数も 20 数名となっており、多すぎず、少なすぎずの人数ですので、個人の状況に応じた研修プログラムや面談等も行っております。

また、専門医制度について、当院では 4 基幹プログラムと 16 科で連携プログラムを開始しますので、初期研修から専門研修への対応を切れ目なく行える体制を作っています。

病院名：戸塚共立第1病院

【病院の概要・特色】

横浜市戸塚区に拠点を置く医療法人横浜柏堤会の基幹病院。JR 戸塚駅西口徒歩 5 分に位置し、地域密着型の医療を目標に掲げ、急性期医療から在宅医療までトータルヘルスケアを展開している。研修医は少人数であり、病床稼働率 94.8%、救急搬送：約 200 件/月、内視鏡：約 400 件/月、手術件数：約 100 件/月（2018 年度実績）の環境の中で、多数の症例を学ぶことが可能である。また、当院のみならず多数の研修協力病院・協力施設にて研修することが可能であり、様々な環境で経験を積むことができる。

【病院データ】

- 病院長
- 福島 元彦 （昭和大学卒）
- 病院所在地：
- 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 116 番地
- 電話番号：
- 045-864-2501
- 病院URL：
- <http://www.tkl-hospital.com>
- アクセス：
- JR 東海道線・横須賀線・湘南新宿ライン、横浜市営地下鉄
戸塚駅 西口徒歩 5 分
- 病床数：
- 148 床
- 診療科目：
- 内科・外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・
病理診断科・神経内科・消化器外科・形成外科・
リハビリテーション科・麻酔科・放射線科
- 1 日平均入院患者数：
- 132 名/日（2018 年度）
- 1 日平均外来患者数：
- 286 名/日（2018 年度）
- 保育施設の有無：
- 有り（院内、病児）

【研修データ】

●プログラムの特徴：（2020 年度臨床研修プログラム）※変更の可能性あり

1 年次は必修分野である内科、外科、救急科、小児科、産婦人科、精神科を研修する。また、麻酔科の研修を当院必修の科目とする。2 年次は必修分野である地域医療研修のほか、研修医の希望をもとに、プログラム責任者および指導医と共に検討の上、選択科目を研修する。選択科目は、上記必修分野のほか、神経内科・整形外科・泌尿器科・病理診断科・眼科・皮膚科・形成外科・耳鼻咽喉科より選択する。

1年次												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
研修医	オリエンテーション	一般内科	外科	麻酔科	救急科	消化器内科		小児科	精神科	産婦人科	泌尿器内科	
外来研修		1コマ/週				2コマ/週		1コマ/週			1コマ/週	

2年次												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
研修医	選択科目	地域医療	選択科目									
外来研修												

- 医師数（病院全体）： 23 人（男性 15 人、女性 8 人）常勤
- 指導医数： 17 人（プログラム全体）
- 研修医数： 2 人（1 年目：1 人、2 年目：1 人、初期終了後研修：0 人）
- 研修医の主な出身大学：東海大学、横浜市立大学、香川大学 他
- 専攻医の研修プログラム：無し
- 初期研修終了後の進路：東京女子医科大学、昭和大学、東京医科大学 他

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格： 2020 年度医師国家試験受験予定者、および医師国家試験合格者
- 病院見学： 随時
- 試験日程： 2020 年度未定
- 採用人数： 2 人
- 採用後の身分： 常勤
- 給 与： 400,000 円（1 年目）
450,000 円（2 年目）
※賞与：なし
- 諸 手 当： 通勤・当直・時間外



- 当 直 回 数： 週 1 回（月平均 4 回）※主に救急科研修期間中
- 当 直 料： 1 回 15,000 円
- 休日・休暇： 4 週 8 週 （特別休暇、夏期休暇あり）
- 社 会 保 険： 健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険
- 寮・宿 舎： 有り（独身者のみ）
- 応 募 先： 総務課 臨床研修担当 宛 mail: totsuka_hp@tmg.or.jp

【病院から皆さんへ】（2 年目研修医よりメッセージ）

当院は急性期病院であり多くの患者様が来院されます。特徴として、他科への相談のしやすさが挙げられます。自分の受け持ち患者の病態で分からないことがあれば直ぐに質問でき解決に至り大変勉強になりました。当院の研修医は多くても年に 2 名です。そのため、上級医に医療や今後の進路について相談する時間も十分にあり、自分が真に学びたいものを得やすい環境です。何よりも役立ったのは、多くの手技を体験し身につけられる環境が備わっているという点です。採血や点滴のルート、CV などを実践するチャンスは豊富です。このように、患者様を初診から診ていき、入院、退院、退院後のご本人やご家族のケアなども含め、これらを短い研修期間で勉強されたい方々には、当院の様な実践的な病院が最適であると思っています。

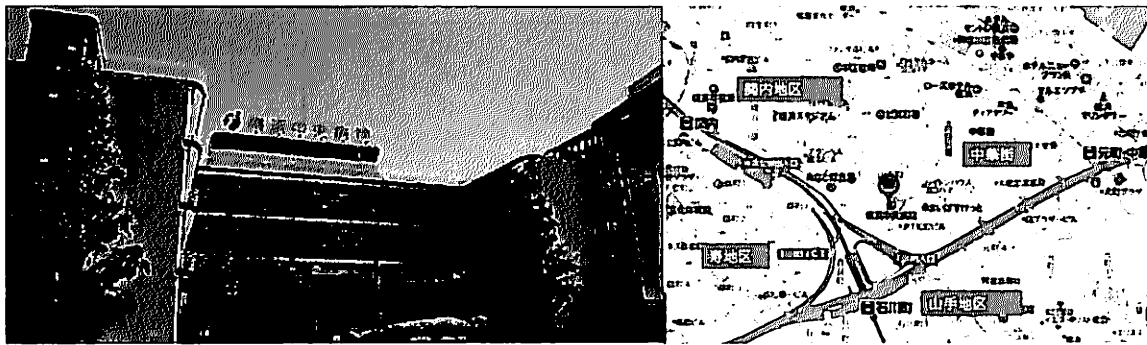
病院名：JCHO 横浜中央病院

【病院の概要・特色】

当院は JCHO グループ（全国に 57 の病院をもつ独立行政法人）の病院で、地域医療・地域包括ケアの要となる理念のもと、総病床数 250 床、正規職員 341 人、開設は昭和 23 年 3 月（JCHO 傘下としては平成 26 年より）と長く地域医療を行ってきた歴史ある病院です。

併設施設 健康管理センター、付属看護専門学校、訪問看護ステーション

立地条件は都市部人口密集地区にあり、電車、バス、地下鉄、首都高速道路が隣接する非常にアクセスが良い病院で、多種多様な患者が来院する急性期都市型中規模病院です。



【病院データ】

- 病 院 長：藤田宜是（日本大学卒業）
- 病院所在地：〒231-8553 横浜市中区山下町 268 番地
- 電 話 番 号：045-641-1921（代表）
- 病院URL：<https://yokohama.jcho.go.jp>
- ア ク セ ス：JR 石川町駅徒歩 3 分 みなとみらい線元町中華街駅徒歩 8 分 横浜市営地下鉄関内駅徒歩 8 分 市バス吉浜橋停留所下車 0 分 首都高速インター 2 分
- 病 床 数：250 床（高度急性期 6 床、一般急性期 194 床、地域包括ケア病棟：回復期 50 床）
- 診 療 科 目：内科・腎臓内科・人工透析内科・呼吸器内科・消化器内科・肝臓内科・循環器内科・血管内科・外科・消化器外科・乳腺外科・大腸外科・肛門外科・呼吸器外科・化学療法外科・血管外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・婦人科・皮膚科・眼科・放射線科・麻酔科・ペインクリニック内科・リハビリテーション科・歯科口腔外科・病理診断科・救急科
- 平均外来患者数： 561.9 人／1 日
- 平均入院患者数： 200.7 人／1 日
- 保育施設の有無：無

【研修データ】

●プログラムの特徴：院内と院外（地域施設や大学病医院）と連携して研修を行います。内科 32 週、救急 12 週（4 週は麻酔科）、外科 12 週（泌尿器科、脳外科含む）、地域医療は 8 週（総合診療科 4 週）、小児科、産婦人科、精神科をそれぞれ 4 週の研修を行います。地域医療と救急医

療に重点を置いています。横浜市2次救急拠点病院として、年間約3500台の救急車を受け入れ、豊富な症例を経験できます。地域包括ケア病棟や地元医師会9施設と連携して地域診療を実践できます。親身できめの細かい指導でプライマリケア、専門診療科の研修を行います。

- 医師数（病院全体）：94人 常勤非常勤含め
- 指導医数：30人
- 研修医数：6人（1年目4人、2年目2人、初期終了後研修2人）
- 研修医の主な出身大学：日本大学、弘前大学、杏林大学、産業医大、東邦大学
- 専攻医の研修プログラム：有り（内科、外科、麻酔科、整形外科 2大学とプログラム連携）

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格：医師国家試験合格者 ●病院見学：随時
- 採用人数：4人 ●試験日程：2020年9月予定（HP上発表予定）
- 採用後の身分：常勤
- 給与：357,000円（1年目）、378,000円（2年目）
賞与年2回 計500,000円（1年目）、計600,000円（2年目）
- 定期昇給：年1回
- 諸手当：住宅・家族・通勤・当直・時間外

- 当直回数：月4回
- 当直料：1回10,000円
- 休日・休暇：土日祝日
- 社会保険：厚生年金 他
- 寮・宿舎：有り
- 応募先：〒231-0023 横浜市中区山下町268番地 JCHO 横浜中央病院 総務企画 担当
門脇宛て Tel045-641-1921 mail : saiyo-kensyu@yokohama.jcho.go.jp

【病院から皆さんへ：指導医・研修医の声】

※研修医から一言：JCHO 横浜中央病院は、急性期病棟で common disease を中心に様々な疾患を学ぶことができるだけでなく、地域包括ケア病棟も有しており、地域医療もしっかりと勉強することができます。高齢化が進む日本で今後真に必要なとされる医療を当院に入って是非肌で感じてみてください。研修医として、中心静脈カテーテル挿入、気管内挿管、麻酔、小切開、縫合、胸腹腔穿刺などを行えます。 ※指導医から一言：やる気と熱意のある研修医を求めています。真に実践する地域医療を私たちと研修してみませんか？

病院名：聖隷横浜病院

【病院の概要・特色】

当院は 2003 年に国立横浜東病院より経営移譲し、地域の医療ニーズに応えるべく組織強化を続けて今に至ります。特に救急医療では横浜市二次救急拠点病院として受け入れ体制を拡充し、昨年度は **5,326 台** の救急車受け入れをし、内科系、外科系、脳神経外科、循環器の医師がローテーションに加わり地域を支える基幹病院の役割を果たしています。また、高齢者医療のさらなる充実化に向け、地域包括ケア病棟にて急性期治療を終えた高齢患者の生活支援、近隣の病院や開業医、高齢者施設との連携も図りながら地域に求められる医療を実践しています。

2019 年 7 月に新外来棟が完成し、新しい外来棟に外来をはじめ、手術室、検査、放射、カテーテル室、内視鏡、透析センター、医局、研修医室があります。非常にきれいな環境で研修ができます。

2020 年度には、回復期リハビリテーションと緩和ケア病棟がオープンする予定です。

【病院データ】

●病 院 長：林 泰広（群馬大学 1985 年卒）、出身 静岡県

●病院所在地：〒240-8521 横浜市保土ヶ谷区岩井町 215

●電 話 番 号：045-715-3111

●病院URL：<http://www.seirei.or.jp/yokohama/>

●ア ク セ ス：JR 横須賀線保土ヶ谷駅

徒歩 10 分または東口バスロータリー8 番乗り場よりバス 3 分

●病 床 数：300 床（一般急性期 床、療養病床 床）

●診 療 科 目：計 29 科

腎臓・高血圧内科、呼吸器内科、消化器内科、内分泌・糖尿病内科、
リウマチ・膠原病内科、心臓血管センター内科、肝胆膵内科、脳神経外科
脳血管内治療科、外科、消化器外科、呼吸器外科、整形外科、関節外科
泌尿器科、乳腺科、耳鼻咽喉科、麻酔科（ペインクリニック）、小児科
眼科、形成外科、皮膚科、放射線診断科、救急科、リハビリテーション科
臨床検査科、病理診断科、総合診療科、ドック・健診室

●平均外来患者数：575.5 人／1 日

●平均入院患者数：280.7 人／1 日

●保育施設の有無：院内、院外、病児、病後児

【研修データ】

●プログラムの特徴：

- ・救急 12 週、内科 32 週、産婦人科 4 週、小児科 4 週、精神科 4 週、外科 8 週（2 年目）、地域医療 4 週（2 年目）、選択科 32 週（うちオリエンテーション 10 日含む）を 2 年間でローテイトします。
- ・産婦人科、小児科、精神科、地域医療については協力病院にて研修を行います。
協力病院は、県内の 2 次急病院（横浜医療センター、横浜みなと赤十字病院、済生会横浜市南部病院等）と大学病院（東海大学医学部附属病院、聖マリアンナ医科大学病院、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院）の選択が出来ます。

●医師数（病院全体）：75 人（男性 55 人、女性 20 人）常勤のみ

●指導医数：26 人

●研修医数：初期研修医 10 人（1 年目 5 人、2 年目 5 人）、後期専攻医（5 人）

●研修医の主な出身大学：特になし。2020 年度在籍する研修医の出身大学は以下の通りです。

千葉大学、鳥取大学、浜松医科大学、獨協医科大学、弘前大学、
東海大学、佐賀大学、日本大学、聖マリアンナ医科大学

●専攻医の研修プログラム：有り 無し

●初期研修終了後の進路：

2018 年度採用研修医

横浜市大病院（内科、脳神経外科、麻酔科）、
千葉大学医学部附属病院（泌尿器科）、東京医科大学附属病院（精神科）

2017 年～2016 年採用研修医

横浜市大病院（内科）、東京医科大学病院（外科）、埼玉こども医療センター（小児科）、埼玉赤十字病院（救急科）、昭和大学病院（精神科、整形外科）、帝京大学医学部附属病院（形成外科）、東京女子医科大学病院（耳鼻咽喉科、精神科）、墨東病院（精神科）、東京慈恵会医科大学附属第三病院（リハビリテーション科）

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格：2021 年 3 月医師免許取得予定者または取得者
- 病院見学：随時（外来がある日は土曜日または祝日（月）は応相談）
- 試験日程：2020 年 7 月下旬～9 月上旬
- 採用人数：5 人
- 採用後の身分：常勤
- モデル年収（※諸手当含む）：1 年目 420 万円、2 年目 520 万円
※諸 手 当：住宅補助・通勤・日当直手当・時間外、引越し手当、退職金あり

- 当直回数：月平均 3～4 回（GW と年末年始以外 日直なし）
- 当 直 料：1 回 8,000 円～15,000 円 休日勤務、年末年始など別手当有り
- 休日・休暇：土日祝日
- 社会保険：厚生年金 他 慶弔休暇
- 寮・宿舎：有り 個人で借りる場合 27,000 円の補助有り
- 応 募 先：〒240-8521 横浜市保土ヶ谷区岩井町 215 聖隷横浜病院 臨床研修室
担当 逸見宛て
Tel 045-715-3111 FAX 045-715-3387 mail yh-kensyu@sis.seirei.or.jp

【病院から皆さんへ：研修医の声】

●研修医より皆さんへ

- ・この病院に来て良かったところは、研修医 1 年目と 2 年目の関係がよいところ。研修として、わからないことがあっても上級医や 2 年目研修医に相談しやすく、自分で考えて治療方針なども考える機会があって、主体的に研修ができるところ。
- ・どんな研修・手技ができるか
手技に関しては、採血・ルート確保はもちろん、腹腔穿刺・胸腔穿刺・胃瘻増設・内視鏡・イレウス管挿入など様々な手技を 1 年目でも実際にやらせてもらえる。
- ・指導医は、ほとんどの先生が教育的で日々の診療で分からないことがあっても丁寧に指導してもらえる。また、指導医によっては定期的な課題を出してくれる人もいて、忙しい中でも研修医にしっかり向き合ってくれる人が多い。スケジュールがあれば食事にも連れて行ってくれる先生が沢山いる。

是非一度見学に来てください。見学では一緒に診療科をまわるので、普段の様子を見て、雰囲気を感じて、気に入っていただけたら是非一緒に働きましょう！

研修医人数 5 名/年、一般症例豊富、手技が沢山出来る、指導医が優しく手厚く指導、雰囲気◎

（研修医一同）

●病院より医学生の皆様へ

2019年7月に新外来棟がオープンし、外来、手術室、研修医室、当直室、図書室、医局も新しくなりました。

研修は、5名定員のため、診療科では指導医を独占できます。手技に貪欲な方はどんどん、上級医・指導医にリクエストしてください。手技も沢山教えていただきながら行うことができます！

当院以外の研修では、当院が2次急病院のため、3次救または大学病院での研修も希望があれば必修の他、選択科でローテイトすることができます。

研修については、当院は医師だけではなく、看護、医療技術、事務にわたるまで職種の垣根が低く、とても相談しやすい病院です。また、仕事・勉強会だけではなく、時間外もテニス、リレーマラソン、フットサルから食事会に至るまで、色々な仲間と時間外を有効に活用しています。だからこそ院内の雰囲気も非常に良く働きやすい職場です。福利厚生も充実しているため、是非当院で研修をして聖隷の良さを実感していただけたらと思っております。

まずはブースにお立ち寄りください。お待ちしております。

(臨床研修 事務担当者より)

病院名：横浜市立大学附属市民総合医療センター

【病院の概要や特色】 当院は市民医療に徹した地域医療の基幹病院として、市民の様々な医療需要に応えていくため、救急医療をはじめ総合医療や専門医療の充実を図り、患者本位の質の高い医療の提供と優秀な医療人を育成する大学病院として平成 12 年 1 月に 500 床で開院し、現在では 726 床を有する横浜市内で最大の病院です。
【病院のデータ】 ●病 院 長：後藤 隆久 ●病院所在地：〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 ●電 話 番 号：045-261-5656 ●病院URL：https://www.yokohama-cu.ac.jp/urahp/ ●アクセス：市営地下鉄「阪東橋」駅下車 徒歩 5 分 ●病 床 数：726 床 ●診療科目：高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター、リウマチ膠原病センター（内科・整形外科）、炎症性腸疾患（IBD）センター（内科・外科）、精神医療センター、心臓血管センター（内科・外科）、消化器病センター（内科・外科）、呼吸器病センター（内科・外科）、小児総合医療センター、一般内科、血液内科、腎臓・高血圧内科、内分泌・糖尿病内科、神経内科、乳腺・甲状腺外科、整形外科、皮膚科、泌尿器・腎移植科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、脳神経外科、リハビリテーション科、形成外科、臨床検査科、病理診断科、放射線部、集中治療部、内視鏡部、血液浄化療法部、緩和ケア部、感染制御部 ●平均外来患者数（2018 年度）：1998.7 人／1 日 ※歯科含む ●平均入院患者数（2018 年度）：653.1 人／1 日 ※歯科含む ●保育施設の有無：有り
【研修データ】 ●プログラムの特徴： 当院は、大学の附属病院としての高度専門医療に加え、地域医療支援病院として、高度救命救急医療からプライマリ・ケアを含めた幅広い医療を同時に経験することが可能です。また、基本プログラムでは横浜市立大学附属病院や神奈川県有数の地域中核病院との「たすきがけ」研修が行われていることも特徴のひとつです。 ●医師数（病院全体）：458.4 人（男性 304.4 人、女性 154 人）常勤非常勤含め ※非常勤は常勤換算、研修医を含む ●指導医数：95 人（平成 31 年 4 月 1 日現在） ●研修医数：187 人（1 年目 50 人、2 年目 52 人、初期終了後研修 85 人） ●研修医の主な出身大学：横浜市立大学等、全国の国公立 24 大学（令和元年度実績） ●専攻医の研修プログラム：有り 診療科：救急科、内科、外科、産婦人科、眼科、形成外科、泌尿器科、皮膚科、臨床検査科 ●初期研修修了後の進路：本学専門医研修プログラムでの研修、大学院進学等

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格：原則として 2021 年に医師免許証取得見込の者で、医師臨床研修マッチングに参加する者
- 病院見学：平日日中に随時受け入れ（ホームページの申込フォームにて受付）
- 試験日程：調整中（今夏はオリンピック開催のため。例年は 7 月下旬から 9 月上旬に実施。詳細は当院ウェブページから）
- 採用人数：基本プログラム 50 名、産科・小児科プログラム 4 名（予定）
- 採用後の身分：公立大学法人横浜市立大学非常勤職員（臨床研修医）
- 給 与：約 370 万円（1 年目）、約 400 万円（2 年目） 賞与 年 2 回
- 定期昇給：無し
- 諸 手 当：家賃補助、通勤手当、宿日直手当
- 当直回数：月 4 回程度
- 当 直 料：15,400 円／1 回
- 休日・休暇：土日祝日、年末年始
- 社会保険：厚生年金 他
- 寮・宿舎：なし（住宅補助あり／月額上限 3 万円）
- 応 募 先：〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター 管理部総務課人事担当 宛て

Tel：045-253-5392（直通） mail：kkensyu@yokohama-cu.ac.jp

【病院から皆さんへ】

当院は大学附属病院として、臨床、教育、研究、すべての分野にわたって、横浜市、神奈川県、日本、そして世界に貢献してまいりました。特に横浜の中心にある当院は、重症の急患や高度医療が必要な病態の患者さんから、一般的な病気の患者さんまで、幅広い疾病に対して最適な医療を提供することが求められています。つまり、当院の特徴は、経験豊富な専門医を多数擁した横浜市内最大の病院であり、かつ地域支援病院である大学附属病院の特性を生かした、幅の広い臨床研修を提供できることです。また、定期的に各診療科指導医によるプラクティカルな講義、研修医を主体とした症例検討会、プレゼン練習など独立した医師になるためのスキルの獲得の支援も行なっています。

さらに、昭和 43 年より実施している、スーパーローテーション研修の実績を活かした初期臨床プログラムに加え、専門医養成プログラムも充実しており、医師・歯科医師を目指す方々に、最適な研修環境が整っているものと自負しております。当然のことながら、当院は、さまざまな学会に認定された教育病院でもあり、当院で研鑽を積む事によりさまざまな領域の専門医になる事ができます。

また、医学生の教育を担当するスタッフの拡充や初期臨床研修医の教育とサポートのための担任制度も導入し、きめ細かいサポートもしています。当センターでは、研修されている方々の要望を真摯に受け止め、さらに良いプログラムとするべく日夜努力をしております。地域医療研修協力施設の拡充、家賃補助の拡大、研修医室の設置、24 時間営業のコンビニエンスストア、メディカルトレーニングセンターの設置など、先輩研修医の要望が次々に実現しています。どうぞ、

お気軽にご相談いただき、我々と一緒に立派な医師・歯科医師を目指して、共に歩み、医学の研鑽を積みましょう。当院での実習、当院研修プログラムへの積極的な参加を歓迎致します。

臨床教育研修センター長 平和 伸仁

病院名：日本鋼管病院

【病院の概要・特色】

当院は、昭和 12 年に開設された川崎市最初の総合病院です。開設当初は、企業病院としてスタートしましたが、患者数における地域住民の割合が 9 割を占めたことから、数年後には川崎市の地域医療を担う基幹病院へと発展してきました。当院は救急告示病院であると共に、健診、訪問看護、在宅医療などトータルに地域医療を担う病院として創立当初より『すべては患者さんのために』を基本理念に、一貫して地域に開かれた病院として医療を続けています。また、厚生労働省から臨床研修病院に指定され、各学会の専門医修練認定施設ともなっており良き臨床医を育成するということも長年行っています。2018 年 3 月に日本医療機能評価機構の更新審査（一般病院種別 B）も通過し、当院の医療水準が第 3 者からも認められています。

現在は地域のクリニック、病院、介護施設などと連携を深めながら、地域医療の担い手として貢献できるように更なる発展を遂げていきます。

【病院データ】

- 病 院 長：小川 健二
- 病院所在地：〒 210 - 0852 川崎市川崎区鋼管通 1 丁目 2 番 1 号
- 電 話 番 号：044-333-5591
- 病院URL：<https://www.koukankai.or.jp>
- ア ク セ ス：JR 川崎駅又は京急川崎駅 臨港バス『鋼管循環』乗車 『鋼管病院前』下車
徒歩 1 分
- 病 床 数：395 床（稼働病床：一般急性期 310 床、地域包括ケア病床 48 床）
- 診 療 科 目：内科・外科・整形外科・脳神経外科・精神神経科・小児科・皮膚科・泌尿器科・婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・病理診断科・救急科・歯科
- 平均外来患者数： 約 900 人／1 日
- 平均入院患者数： 約 250 人／1 日
- 保育施設の有無： 院内保育園有り

【研修データ】

●プログラムの特徴：

将来目指す専門によらず、まずは医学・医療の社会的ニーズを認識し、すべての臨床医に求められるプライマリ・ケアを身に付けることを臨床研修プログラムの主眼に置いています。

そのために必要不可欠な医学的知識や技能を修得するべく、2年目には放射線科における2ヶ月間の研修を通して画像診断のスキル向上、また地域医療については在宅専門クリニックにて往診実習や企業内診療所での産業医による現場健康管理もプログラムに組み込まれていることは当院の研修プログラムの特徴といえます。

2年目の選択研修5ヶ月間の扱いは、内科・外科・整形外科については5ヶ月、その他の診療科は2ヶ月を選択期間の上限として研修プログラムを組みます。

●医師数（病院全体）：74人（男性 54人、女性 20人）非常勤含めない

●指導医数： 22人

●研修医数： 7人（1年目4人、2年目3人、初期終了後研修 2人）

●研修医の主な出身大学：熊本大、大分大、聖マリアンナ医科大、東京大、東京医科大、東海大

●専攻医の研修プログラム：有り

（日本鋼管病院内科専門医研修プログラム）

●初期研修終了後の進路：本人の希望による

【採用試験要綱及び処遇】

●応募資格：医師国家試験合格者

●病院見学：随時

●試験日程：2020年7月下旬から8月末までに計2回の選考試験実施予定

●採用人数：4人

●採用後の身分：常勤

●給与：339,000円（1年目）、364,000円（2年目）

●定期昇給：なし

●諸手当：住宅・家族・通勤・当直・時間外

●当直回数：週 1回、月平均 4回

●当直料：1回 14,000円

●休日・休暇：土日祝日、有給休暇：20日/年付与、夏季及び年末年始休暇あり

（但し有給休暇扱いとする）

●社会保険：厚生年金、健康保険、労働者災害補償保険、雇用保険など 他

●寮・宿舎：有り（原則、入寮してもらいます）

●応募先：〒210-0852

神奈川県川崎市川崎区鋼管通1丁目2番1号

医療法人社団 こうかん会 日本鋼管病院

事務局総務室 担当：若松（ワカマツ）宛て

TEL：044-333-5591 FAX：044-333-5599

E-mail：hironori-wakamatsu@koukankai.or.jp

【病院から皆さんへ：研修医の声】

当院は、中規模病院であるため、各科の隔たりが無く気軽に相談できる環境であり、向上心をもって臨めば2年間でかなりの技術力の向上と考察力が備わることが過去の研修医の評価から証明されております。

上級医、指導医もたくさんいますので臨床に積極的に楽しく望めるような勉強会が定期的に行われています。いい意味で指導医と研修医の距離が近いのも当院の魅力です。また2年間で学会発表の場をかならず設け、論文の作成指導まで行います。

必ずしも忙しすぎる環境ではないので、疲弊しすぎないで業務をすることができ、また休日もしっかりと取れますのでオンオフのメリハリのある研修ができるのも特徴です。

東京と横浜の中間に位置する川崎で地域に根ざした common disease をしっかり学べます。

病院名：川崎協同病院

【病院の概要・特色】

私たちの医療機関では、「地域の住民の立場に立って、親切でかかりやすい病院」を目指しています。「病気」だけを診るのではなく、「人」を診る視点も育てることを研修の重点に据えています。悪化する社会情勢の中で、経済的に困難な方が増え、病気をもちながらも病院にかかれな人が増えています。病気の裏にある今日のこうした社会背景にも目を向けるような医師づくりを私たちは目指しています。

私たち神奈川民医連の医療機関では、病院、診療所、訪問看護ステーション、在宅介護支援センター、老健施設等を備えるとともに、往診診療にも力を入れており、地域の第一線医療機関だからこそ、幅広い見識をもち総合的診療能力をもつ医師づくりを目標にしています。また、初期研修に診療所研修も取り入れ、外来研修や往診診療など地域医療の実践の経験もできるようにしていますが、そこには幅広い研修フィールドがあります。

現行の初期研修カリキュラムでは、その中に科学的診療能力を高める課題、協調性・倫理性をもちチーム医療の中でリーダーシップを果たして行く課題が含まれています。また、研修医の意見がフィードバックできる研修委員会もあり、毎月定期的に開催されています。

また川崎協同病院では、2015年12月に研修第3者評価も更新していますが、サーベイヤーからも高い評価を受けております。

プライマリ・ケア医療に関心の高い医学生の皆さん、私たちの病院で一緒に研修を始めてみませんか？

【病院データ】

●病 院 長：田中久善（横浜市立大学 1982 年卒）、出身 東京都

●病院所在地：〒210-0833 川崎市川崎区桜本 2-1-5

●電 話 番 号：044-299-4781（代）

●病院URL：<http://www.kawasaki-kyodo.jp>

●ア ク セ ス：JR 川崎駅よりバスで 15 分ほど

●病 床 数： 267 床（一般病床 106 床、地域包括ケア病床 106 床、回復期リハビリテーション病床 40 床）

●診 療 科 目：内科、外科、小児科、婦人科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、脳神経外科、リハビリテーション科、精神科、麻酔科、神経内科、放射線科、消化器科、呼吸器科、循環器科

※内科、皮膚科の外来は協同藤崎クリニックにて行っております。

●平均外来患者数： 300 人／1 日

●平均入院患者数： 235 人／1 日

●保育施設の有無：院内保育

【研修データ】

●プログラムの特徴：当院の研修では、どの科においても段階を踏んで成長していくことを重視しています。特に救急・当直では「見習い」「副当直」「独り立ち」と段階を踏んで指導医の監修のもと研修を行っています。

●医師数（病院全体）：35 人（男性 24 人、女性 11 人）非常勤含まず

●指導医数：16 人

●研修医数：8 人（1 年目 3 人、2 年目 4 人、初期終了後研修 1 人）

●研修医の主な出身大学：横浜市立大学、北里大学、滋賀医科大学、富山大学、筑波大学、弘前大学、東海大学

●専攻医の研修プログラム：有り（総合診療科）

※専攻医研修プログラムがある場合は、診療科も記載してください。

●初期研修終了後の進路：当院の専攻医プログラム・大学医局・他の市中病院での研修

【採用試験要綱及び処遇】

●応募資格：医師国家試験合格者

●病院見学：随時

●試験日程：2020 年 7 月中旬～8 月末まで

●採用人数：4 人

●採用後の身分：常勤

●給 与：310,000 円・医師手当 35,000（1 年目）、賞与 年 2 回
325,000 円・医師手当 40,000（2 年目）、賞与 年 2 回

●定期昇給：年 1 回

●諸 手 当：住宅・家族・通勤・当直・時間外

●当直回数：週 1 回、月平均 4 回

●当 直 料：1 回 40,000 円（独り立ち後）

●休日・休暇：土日祝日

●社会保険：厚生年金 他

●寮・宿舎：有り

●応 募 先：〒210-0833 神奈川県川崎市川崎区桜本 2-1-5 Tel 044-299-4781

初期研修医採用担当（川田）

【病院から皆さんへ：研修医の声】

特徴①

当院の特徴の一つが指導医との距離の近さです。指導医に相談するのは緊張しますが、指導医が「どんなに小さなことでも聞くように」というメッセージを発信し、相談し易い雰囲気を作っています。

さらに、総合医局のため、科毎の垣根もなく、ローテート中でなくても気兼ねなくコンサルトできます。

また、当院ではメンター制度も導入しています。研修に関して直接の指導医に言いにくいこと、プライベートな悩みなどを相談することができますので、安心して研修に臨むことができます。

特徴②

当院は、1 学年 4 人と少人数の研修です。その分指導医の眼がひとりひとりに行き届くので、各々の到達段階に合わせた個別性の高い研修ができます。

研修医の教育担当医師を配置し、研修医の教育・フォロー・評価・調整を円滑に行う環境を整備しています。

研修を始めて間もない導入期研修中は、毎週振り返りの面談を行い、研修医ごとに得意不得意を見極め、どこを伸ばし、どう苦手を埋めるかを確認しながら研修を進めていきます。

研修中は指導医から常に「どう考えた？」と主体的に考えるよう指導を受けます。研修医は指導医・上級医の指示の下で動くのではなく、自ら主体的に考えて提案する“臨床思考”が身に付きます。主体的な思考と指導医との振り返りで、段階を踏んでの成長を実感でき、自信につながります。医師としての基礎をしっかりと固めたい医学生にマッチしています。

特徴③

当院は、他職種と密に連携を取っている点も特長です。

普段から看護師やセラピストと患者さんの相談をします。毎週行われる病棟での多職種カンファレンスでは様々な職種の専門性から、医師が知らない患者さんの生活などの状況も共有し、生活背景まで見据えた治療プランを立てていきます

また、地域の患者さんは社会的な困難を抱えた方も多く、MSW とも密接に連携を取ります。当院のスタッフにとどまらず、地域のケアマネージャーや行政も交えて、退院後の生活への介入を行うこともあります。

医療の現場では医師だけでは解決できない問題も多くあり、日々の研修の中で多職種と連携することの大切さを学びます。

【病院の概要・特色】

新病院建設：和 3 年秋頃開院予定。

新病院 病床数	372 床	延床面積	32,000 m ²	階 数	地上 9 階建て
建物の高さ	41m	構 造	免震構造		

日本医科大学武蔵小杉病院は昭和 12 年に開院し、今日に至っています。

多摩川河畔の水と緑に恵まれ、多くのスポーツ施設を擁する等々力緑地帯は目と鼻の先にあります。攻撃的サッカーとして名を馳せている J1 の川崎フロンターレのホームグラウンドです。「小杉」という地名の由来は不詳ですが、土地の名を姓としたと伝える旧家の系図などから 16 世紀初頭に遡ると言われるほど古歴史を持つ街です。周辺には多くの旧跡等があり、とても風情のある街です。

一方、武蔵小杉駅には私鉄、JR など多くの路線が乗り入れ、都心や横浜はもちろん、羽田や成田空港へのアクセスもよく、また 2013 年から、東横線と東京メトロ副都心線の直通運転が開始されたため、副都心線を経由して東武東上線、西武有楽町線・池袋線とも結ばれました。武蔵小杉駅周辺は超高層のビルが林立する近代的な街に生まれ変わっています。

当院は基幹型臨床研修病院として研修医の皆さんに満足していただける病院です。ベッド数 372 床というちょうど良い規模のため、診療各科の垣根が低く、職員お互いの顔の見える関係を築けるアットホームな雰囲気が自慢です。研修プログラムは、自由度が高い点に特徴があります。

当院の特徴ですが、2010 年 4 月から診療科をそれまでの大きな内科・外科から分科・新設・センター化するなど大きな変革が行われました。内科は循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、脳神経内科、腎臓内科、内分泌・糖尿・動脈硬化内科、リウマチ・膠原病内科、腫瘍内科に分け、外科は消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、内分泌外科、小児外科に分け、研修の幅が広がりました。周産期・小児医療センターは NICU と GCU を持ち、産科、新生児内科、小児外科、小児科などの医師が連携して診療を行うため、安心してお産ができると評判です。また、循環器内科と心臓血管外科など、内科系と外科系の科が合同カンファランスを開き、更に病理診断科や放射線科など中央部門が参加することにより十分な議論ができるため、よりよい治療法を選択できるようになりました。血管内・低侵襲治療センターは放射線科医が中心となり、各種塞栓術やステントグラフト治療などの血管内治療や、生検やドレーン留置などの低侵襲治療を積極的に行っています。日医大の特色である救命救急センターを有しており、1 次－2 次救急診療及び 3 次救急診療を研修する事が可能です。

総合診療科ではプライマリケア診療能力を身に着ける事ができます。

感染制御部は ICD、ICN、薬剤師、検査技師など組織横断的に構成された部門で、感染症に対する中央診療部門として活動しています。精神科医はコンサルテーション・リエゾン診療を行っています。

このようにそれぞれの分野に専門医や指導医の資格を持つ研修指導医が揃っています。

【病院データ】

●病 院 長：田島 廣之（日本医科大学 昭和 56 年卒）、出身 東京都

●病院所在地：〒211-8533 川崎市中原区小杉町 1-396

●電 話 番 号：044-733-5181

●病院URL：<https://www.nms.ac.jp/kosugi-h/>

●ア ク セ ス：JR「南武線・横須賀線・湘南新宿ライン」武蔵小杉駅 徒歩 4 分
東急電鉄「東急東横線・目黒線」武蔵小杉駅中央口 1 徒歩 4 分
新丸子駅西口 徒歩 4 分

●病 床 数：372 床（一般急性期 372 床、療養病床 床）

●診 療 科 目：32 診療科

●平均外来患者数： 999 人／1 日 *平成 30 年度実績

●平均入院患者数： 330 人／1 日 *平成 30 年度実績

●保育施設の有無：院外(病院から徒歩 3 分)

【研修データ】

●プログラムの特徴：

「大学病院と市中病院の特徴を兼ね備えた研修」

①スタッフの数が多い。②診療科が揃っている。③専門的治療部門がある。

「市中病院的な要素」

①研修医の数が多すぎない。②Common Disease を多く診れる。

必修科（①内科②救命救急科③外科④小児科⑤産婦人科⑥精神科⑦地域医療⑧麻酔科）

地域医療研修は、2 年次に 4 週以上(最長 3 ヶ月まで)研修する。

一般外来の研修は、内科又は小児科研修中に行う。

在宅医療研修は、内科又は地域医療の研修中、若しくは選択診療科にて研修に行う。

夜間救急外来当直を、1・2 年次に関わらず各月に 2 回程度(土・日を含め)、

各科研修指導医・上級医の指導のもと行う。

日本医大の特色である救命救急センターはもちろん、周産期母子医療センター (NICU、GCU)、消

化器外科、血管内・低侵襲治療センターが併設されています。

大学病院ならではの高度専門医療の研修を受けられます。

- 医師数（病院全体）： 207 人（男性 159 人、女性 48 人）常勤非常勤含め
- 指導医数： 73 人
- 研修医数： 23 人（1 年目 12 人、2 年目 11 人、初期終了後研修 1 人）
- 研修医の主な出身大学： 日医大、聖マリアンナ医大、帝京大
- 専攻医の研修プログラム：有り（救命救急科・麻酔科）
- 初期研修終了後の進路：

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格：医師国家試験合格者
- 病院見学：随時
- 試験日程：令和 2 年 7 月又は 8 月頃＊決定次第当院のホームページでお知らせ致します。
- 採用人数：14 人
- 採用後の身分：常勤
- 給 与： 279,700 円／税込（※宿日直手当込み）（1 年目）
284,700 円／税込（※宿日直手当込み）（2 年目）
※宿日直手当は 5 回／月（当直 4 回、日直 1 回）の場合
- 定期昇給：年 1 回
- 諸 手 当：通勤・当直・時間外

- 当直回数：当直 4 回、日直 1 回
- 当 直 料：1 回 10,600 円
- 休日・休暇：土日祝日
- 社会保険：日本私立学校振興・共済事業団の社会保険制度
- 応 募 先：〒211-8533 川崎市中原区小杉町 1-396
日本医科大学武蔵小杉病院 庶務課 担当（村井）宛て
Tel:044-733-5181 FAX:044-711-8726 mail:murai@nms.ac.jp

【病院から皆さんへ：研修医の声】

院内のすべてが勉強材料です！

ここは大学病院でありながら、「縦割り」の雰囲気が全くありません。自分がローテ中の科の先生はもちろん、他科の先生、看護師さん、薬剤師さん、技師さん、事務の方々…様々な方々が研修医を見守り、快く指導して下さいます。

研修医の裁量も大きく、自分が必要と思った処方や処置を、自ら行うことが可能です。もちろん、指導医の先生の手厚いフォローがついてきます。

武蔵小杉病院では院内のすべてに手が届き、すべてを勉強材料にすることができます！

一緒に最高の研修生活を過ごしましょう！

2019 年度 2 年次初期臨床研修医

中村 拳

充実感に溢れた研修生活

武蔵小杉病院の研修医は手技をする機会に恵まれており、さらに ER 当直ではファーストタッチすることができ、

度胸と実践力がつきます。

研修医同士はもちろん、上級医の先生方やメディカルスタッフとも距離が近く様々な角度から学ぶことが出来ます。

また、武蔵小杉病院はモチベーションの高い研修医ばかりで、日々良い刺激を受け切磋琢磨しています。

毎日多くのことを学べ、実践することができる充実した研修生活を送れますよ！

一緒に僕たちと働きましょう！

2019 年度 1 年次初期臨床研修医

吉村 祐亮

病院名：川崎市立多摩病院

【病院の概要・特色】

当院は川崎市が設立し、聖マリアンナ医科大学が指定管理者制度のもと運営する公設民営の病院であり、公立病院と大学付属病院の、2つの役割を担っている点が大きな特徴です。

当初より24時間365日救急医療・小児救急医療・災害時医療を基本とした急性期病院として発足し、急性疾患から慢性疾患まで幅広く診断・治療を行う地域の基幹病院として役割を果たしています。

診療科や部署の垣根を越えてみんなで教育に取り組む、それが多摩病院のスタイルです。

【病院のデータ】

- 病院長名：鈴木 通博
- 病院所在地：〒214-8525 川崎市多摩区宿河原1-30-37
- 電話番号：044-933-8111（代表）
- 病院URL：<http://www.marianna-u.ac.jp/tama/index.html>
- 病床数：376床（一般急性期）
- 診療科目：○総合診療内科○呼吸器内科○循環器内科○消化器・肝臓内科○腎臓・高血圧内科○代謝・内分泌内科○神経内科○腫瘍内科○アレルギー科○消化器・一般外科○整形外科○脳神経外科○形成外科○乳腺・内分泌外科○小児科○皮膚科○眼科○麻酔科○泌尿器科○産婦人科○耳鼻咽喉科○放射線科○神経精神科○救急災害医療センター○内視鏡センター
- 平均外来患者数：792.2人／1日
- 平均入院患者数：27.5人／1日
- 保育施設の有無：院内無、系列病院の保育施設有、小児ホスピタルケア有

【研修データ】

●プログラムの特徴：多摩病院では、研修医の皆さんが自ら学び向上することに最大限のサポートをするため、診療科や薬剤・栄養・患者相談・医事・医療情報など、多職種にわたる様々な知識を年間通じて提供しています。

また、近隣地域の施設と連携した、総合診療を学べる体制を整えています。

- 医師数（病院全体） 119名
- 指導医数 58名
- 研修医数：25名（1年目10名、2年目7名、初期終了後研修8名）
- 研修医の主な出身大学： 聖マリアンナ医科大学・徳島大学・横浜市立大学・群馬大学・北海道大学
- 後期研修プログラム（あり, なし）内科専門医プログラム・総合診療専門医プログラム

●初期研修修了後の進路)：後期研修プログラムへの参加、大学院へ進学、他病院へ就職など

【研修医採用試験要綱並びに処遇】

●応募資格：第 115 回（2021 年）医師国家試験を受験する者または平成 16 年度以降の医師国家試験合格者でかつ医師臨床研修マッチングに参加する者

●病院見学：随時受付

●試験日程：7・8 月に計 3 回開催予定

●採用人数：10 名予定

●採用後の身分：川崎市立多摩病院の常勤職員

●給 与：(初期 1 年目、2 年目)：約 27 万円（手当含む）賞与なし

●定期昇給：なし

●諸手当：通勤手当・当直手当

●当直回数：月平均 日直 1 回・当直 4 回

●当直料：11000 円（平日）/17500 円（土曜日）/12500 円（日曜・祭日）

●休日・休暇：日曜、祝日、第 1・第 3 土曜日

●社会保険：日本私立学校振興・共済事業団（健康保険、年金等、社会保険制度）加入、
労働者災害補償保険加入、医師賠償責任保険個人加入

●寮・宿舎：病院より徒歩 5 分圏内に研修医寮あり（月額 34000～38000 円）

●応募先：〒214-8525 川崎市多摩区宿河原 1-30-37

川崎市立多摩病院 臨床研修センター

TEL 044-933-8111(代表) FAX 044-933-8436

Mail : tama-rinsho-kenshu@marianna-u.ac.jp

【病院から皆さんへ】

当院での研修は、小児を含む救急診療、総合的な内科診療を軸に、多岐にわたる多数の疾患を第一線で診ることができるプライマリ・ケア習得に重点をおいたプログラムになっています。救急災害医療センター外来では、1 次・2 次救急を年間通じて研修し、診療科目にかかわらず対応できる実践力やマネジメントを身につけることを目標にしています。また、入院診療においては専門医を含む十分な指導体制のもとで、患者さんに医師として責任を持ってかかわることができます。

病院見学は随時受付しております。当院の雰囲気や指導医の熱意などを体感できると思いますので、川崎市立多摩病院の研修専用サイト (www.tama-resident.jp) より是非お申込みください！

病院名：医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院

【病院の概要や特色】

新百合ヶ丘総合病院は、神奈川県川崎市北部の不足病床を補い、産婦人科・小児科を含む地域医療の充実と救急医療体制づくりに寄与することなどを目的とした川崎市の公募において、南東北グループのひとつ、医療法人社団三成会が選ばれ、川崎市医療審議会、川崎市の承認を得て2012年8月に377床の総合病院として開院しました。

2020年4月には186床の新棟がオープンし、救急センターの拡充移設とともに、救急専用病棟、緩和ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟などの機能が付加された563床の総合病院として生まれ変わる予定です。

『すべては患者さんのために』という基本理念のもと、患者さん第一主義の視点から、チーム医療制を導入し、診療科の垣根を越えたカンファレンスを重視、患者さん一人ひとりにとって最適な治療方針を決定するなど、患者さんのQOL（生活の質）まで配慮した体に優しい医療に力を入れるとともに、職場環境の改善にも力を入れ、職員にとってもやさしい病院作りを目指しております。

高度医療・急性期病院として地域の『最良の安心』となるべく、職員一丸となって地域の方々の健康な生活のために貢献して参ります。

【病院のデータ】

- 病院長名：笹沼 仁一（福島県立医科大学卒業）
- 病院の郵便番号・所在地：〒215-0026 神奈川県川崎市麻生区古沢都古 255
- 病院の電話番号：044-322-9991
- 病院の URL：<http://www.shinyuri-hospital.com/>
- 病院への交通手段：小田急線「新百合ヶ丘駅」から徒歩約10分（坂下より無料送迎車あり）、新百合ヶ丘駅南口小田急バス3番乗り場から直通バス運行（約5分）
- 病床数：377床 → 2020年 563床へ増床
- 診療科目：内科、外科、消化器内科、内視鏡内科、消化器外科、循環器内科、心臓血管外科、呼吸器内科、呼吸器外科、糖尿病内科、腎臓内科、透析内科、神経内科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、小児科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、皮膚科、形成外科、美容外科、麻酔科、眼科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、歯科口腔外科、心療内科、リハビリテーション科、精神科、乳腺外科、ペインクリニック内科、血液内科、血管外科、病理診断科、内分泌・代謝内科、肝臓内科、内分泌外科、新生児内科
- 2019年1日平均患者数 入院：363名、外来：995名
- 保育施設の有無：有
- 研修医室：有

【研修データ】

●プログラムの特徴：研修方式は2年間の総合研修方式です。1年次から2年次4月までは、内科6ヶ月、救急科2ヶ月（含麻酔科）、外科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療1ヶ月を必修として各々をローテートします。2年次5月からは、自由選択科で研修します。

1年次5月より当直約4回/月、2年次より一般外来1回/週に入り、並行研修を行います。

●常勤医師数（病院全体）：145名（男性 107名、女性 38名）

●指導医数：120名

●研修医数：7名（1年目 4人、2年目 3人）

●研修医の主な出身大学：弘前大学医学部、東海大学医学部、鹿児島大学医学部、筑波大学医学部、東北大学医学部、帝京大学医学部、琉球大学医学部

●専攻医の研修プログラム：有（内科、救急科、麻酔科）

●初期研修修了後の進路：当院での研修を希望する場合は専門研修プログラムを選択可能

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科 (6ヶ月)						救急科 (2ヶ月)		外科 (1ヶ月)	小児科 (1ヶ月)	産婦人科 (1ヶ月)	精神科 (1ヶ月)
		副宿日直研修 (17:30~8:30) 指導医1名・研修医1名					副宿日直体制 (17:30~8:30) 院内オンコール体制 (8:30~17:30) 指導医1名・研修医1名					
	当直約4回/月 ※救急科研修としてカウント											
2年次	地域医療 (1ヶ月)	自由選択科 (11ヶ月)										
		一般外来 (週1回)										
	副宿日直体制 (17:30~8:30) 院内オンコール体制 (8:30~17:30) 指導医1名・研修医1名											
	当直約4回/月 ※救急科研修としてカウント											

【研修医採用試験要綱並びに処遇】

●応募資格：①2021年3月医師免許取得見込みの者 ②医師免許取得後1年未満の者

●病院見学について：随時受付

●採用試験日程：2020年8月、9月に実施予定 ※詳細は決まり次第ホームページに掲載

●採用予定人数：5名

●身分：常勤医師

●給与（税込み）初期1年目 年額 4,200,000円、初期2年目 年額 4,800,000円

●当直回数：約4回位/月

研修1年目の9月までは当該科指導医について見習い当直をする。

その後 1 年目後半より 2 年目は副当直として月約 4 回程度割り当てられる。

●当直料：別途支給

●社会保険の有無：有

- ・ 公的医療保険：政府管掌健康保険
- ・ 公的年金保険：厚生年金
- ・ 労働者災害補償保険法の適用：有
- ・ 国家・地方公務員災害補償法の適用：無
- ・ 雇用保険：有

●宿舎・住宅について：借り上げ住宅（単身用）

●採用試験応募の連絡先：総務課 臨床研修担当 青山 容子

TEL：044-322-0461（直通） FAX：044-322-8688

E-mail：shinyuri_kensyu@mt.strins.or.jp

【その他 貴病院のPRなど内容は自由に記載】

指導体制

1. 当院には常勤指導医が 120 名います。
診療科毎に臨床研修責任者がおり、研修医に責任を持って指導いたします。
2. 患者さんとのコミュニケーション能力や、幅広い医学的な知識や診療・診断技術、その場面に応じた対応力を身につけるよう、充実したスタッフがきめ細かい指導を行います。
3. 指導医は担当する診療科で指導期間中、日常的な観察を通じて知識・技能・態度の臨床研修目標に対する達成度を判断するため、評価を行います。
評価内容を研修医に説明し、その結果を基に研修到達目標の達成に近づくよう、適切な助言や指導を行います。
4. 研修に対する意見・要望等は、躊躇なく臨床研修責任者に相談できるよう定期的に面談の場を設けます。
5. この初期臨床研修の 2 年間で多くの症例を経験し研鑽を積み、高い倫理観を持ち、最新の標準的医療を実践し、安全な医療を心がけ、プロフェッショナリズムに基づく患者中心の医療を展開できるような立派な医師になっていただくよう、指導医一丸となって指導に励んで参ります。

病院名：聖マリアンナ医科大学病院

【病院の概要・特色】

当院では特定機能病院として高度医療をおこなう救急患者は救命救急センターで診療し、日常遭遇する疾患は夜間急患センターを通して診療する事ができます。

また、赤ちゃんの救命センターと言われる総合周産期母子医療センターも完備しています。新たにてんかん拠点病院として、てんかんの外科手術も開始しました。

さらに、こどもセンター、脳卒中センター、リウマチ・膠原病生涯治療センターを平成 30 年 4 月に発足し、充実した研修が送れるようにしています。

【病院データ】

- 病 院 長：北川 博昭
- 病院所在地：〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生 2-16-1
- 電 話 番 号：044-977-8111
- 病院URL：<http://www.marianna-u.ac.jp/hospital/>
- ア ク セ ス：○ 小田急線：向ヶ丘遊園駅、生田駅、百合ヶ丘駅、新百合ヶ丘駅
○ 東急田園都市線：あざみ野駅、宮前平駅、溝の口駅、鷺沼駅
○ JR 南武線：武蔵溝ノ口駅
○ 各駅よりバス約 15 分から 30 分
- 病 床 数：1175 床
- 診 療 科 目：総合診療内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器・肝臓内科、腎臓・高血圧内科、代謝・内分泌内科、脳神経内科、血液内科、リウマチ・膠原病・アレルギー内科、腫瘍内科、神経精神科、小児科・新生児科、乳腺・内分泌外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、腎泌尿器外科、産科・婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科
- 1 日平均外来患者数（平成 30 年度）：2079.3 人／1 日
- 1 日平均入院患者数（平成 30 年度）：864.8 人／1 日
- 保育施設の有無：あり

【研修データ】

●プログラムの特徴：

◎ 豊富な臨床症例と充実した施設

当院は病床数 1175 床を有する特定機能病院であり、1～2 次救急に対応する夜間急患センターと 3 次救急に対応する救命救急センター、そして総合周産期母子医療センターを有する川崎市北部保健医療圏の中核病院です。同医療圏における災害拠点病院、地域がん診療拠点病院にも指定されており、地域医療連携協力体制や社会保障制度等も研修することが可能です。

◎ 充実した指導体制

当院には厚生労働省が認可した臨床研修指導医 244 名（令和元年 12 月現在）が各診療科に在籍しており、どの診療科においても手厚い指導を受けることができます。更に、臨床研修センター運営委員会を中心とした Tutor 制度を設け、複数の臨床研修指導医が研修医一人ひとりを研修修了までの 2 年間継続してサポートします。

また、臨床指導医会を定期的に開催し、評価や指導の方法について討議し、指導医の質の向上を図っています。portfolio による研修評価を新臨床研修制度初年度から採用し、きめ細かい評価・指導を行っています。さらに、医師のみの評価でなく医師以外の病院職員による 360 度評価も行っています。

◎手厚い研修

研修医の skill の向上に向けて Medical Simulation Laboratory (MSL) での実習や、心電図勉強会、超音波症例検討会を設けています。さらに臨床推論、後期研修に向けた海外留学(語学)支援、論文・学会発表支援等の体制を整備しています。

●医師数（病院全体）：669 人 常勤非常勤含め（令和元年 5 月）

●指導医数：244 人（令和元年 12 月）

●研修医数：87 人（1 年目 41 人、2 年目 46 人）

●研修医の主な出身大学：聖マリアンナ医科大学、獨協医科大学、埼玉医科大学、大分大学
香川大学、藤田医科大学、東海大学、岩手医科大学、金沢医科大学、川崎医科大学等

●専攻医の研修プログラム：有り

内科、外科、小児科、皮膚科、神経精神科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、腎泌尿器外科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、病理診断科、臨床検査医学、救急科、形成外科
総合診療内科

●初期研修終了後の進路：当院で専攻医の研修プログラム参加または大学院進学、他病院で専攻医の研修プログラム参加等

【採用試験要綱及び処遇】

●応募資格：第 115 回（2021 年）医師国家試験を受験する者また第 103 回以降の医師国家試験合格者でかつ医師臨床研修マッチングに参加する者。

●病院見学：随時受付

●試験日程：7 月および 8 月実施予定（詳細は決定後にホームページへ掲載）

●採用人数：49 人

●採用後の身分：研修医（常勤職員）

●給 与：（1 年目、2 年目）基本給 20 万円 研修医手当 3 万円

●諸 手 当：通勤・当直等

●当直回数：週 1 回、月平均 4 回

●当 直 料：宿直手当（平日） 11,000 円

宿直手当（土曜日） 17,500 円

宿日直手当（日曜祭日） 12,500 円

●休日・休暇：日曜日、国民の祝日、開学記念日、年末年始（※休日勤務あり）

●社会保険：日本私立学校振興・共済事業団（健康保険、年金等、社会保険制度）加入
労働者災害補償保険加入、医師賠償責任保険個人加入

●寮・宿舎：敷地外（徒歩 5 分）に研修医寮あり（月額 29,000 円）

●応 募 先：〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生 2-16-1

聖マリアンナ医科大学病院 臨床研修センター宛て

Tel 044-977-8111 mail: rinsho-kenshu@marianna-u.ac.jp

【病院から皆さんへ：研修医の声】

◎おすすめポイント

①【Tutor 制度】研修医の生活をあらゆる面でサポートするよう作られた制度です。各研修医に Tutor を割り当て、先輩医師としての指導及び評価だけでなく、医療現場の仲間として、また社会人の先輩として、あらゆる相談に乗りメンタル面でのサポートも行います。

②【夜間急勉強会】夜間急患センター業務の開始前 15 分を利用して、各診療科の医師が実際の症例を用いて行うレクチャー形式の勉強会を行っています。

③【手技トレーニング研修】採血、ルート確保、輸液ポンプの使用方法、筋注、導尿バルーン留置等の実践的なトレーニングを行います。日常の病棟業務に困ることのないように最低限必要な技術の修得を目的とします。

④【スキルアップセミナー】研修 2 年目をスタートする前の研修医を対象に、シーネ固定、RUSH 等の医療技術や、見逃してはならない画像診断等を学びます。

⑤【英語を用いた臨床推論】海外で臨床経験のある本学教員や卒業生等に指導を依頼し、年 1 回程度開講します。

⑥【スポーツ医学コース】チームドクター等が実際にスポーツ現場で活動する際に、スポーツ選手に対して円滑な医療業務を遂行するための知識、技術を身につけます。

⑦【臨床研修センター懇親会】研修医と指導医に関わる上級医が一同に集い、さらに親交を深めるための懇親会を随時開催しています。

病院名：横須賀市立うわまち病院

【病院の概要や特色】

三浦半島の東部、紺碧の大洋に接する横須賀市の中央に立地する臨床研修指定病院です。地域医療を目指す医師のために質の高い基礎教育を行っています。急性期から、社会復帰まで一貫した患者支援を基本にし、機能に特化したセンター化を進め、効率的で高度な診療システムを構築するとともに、“顔の見える診療連携”を合い言葉に、周囲の医療機関との診療連携も大切にしています。

- 年間 7,000 台以上の豊富な救急症例数
- 365 日 24 時間体制の充実した小児医療
- 最高評価 AAA の循環器治療（主要病院日経調査）
- 横須賀米海軍病院との合同カンファレンスが定期的に開催される

【病院のデータ】

- 管理者名：沼田 裕一（ぬまた ゆういち）
- 病院の郵便番号・所在地：〒238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36
- 病院の電話番号：046-823-2630
- 病院のURL：<https://www.jadecomhp-uwamachi.jp/>
- 病院への交通手段：
 - 《鉄道》
 - ・ JR 横須賀線：横須賀駅下車、衣笠方面行バスにて文化会館前で下車、徒歩約 5 分
 - ・ 京浜急行電鉄：横須賀中央駅下車、徒歩約 12 分
 - 《自動車》
 - ・ 横浜横須賀道路 横須賀インターで降りて、約 15 分
- 病床数：417 床
- 診療科目：内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、消化器外科、乳腺外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、耳鼻いんこう科、眼科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、救急科、病理診断科(28 科)
- 1 日平均入院患者数（2018 年度）：306.6 人
- 1 日平均外来患者数（2018 年度）：487.9 人
- 保育施設の有無：有（24 時間 365 日、病児病後児保育もあり）

【研修データ】

- プログラムの特徴：
 - ① 臨床研修センターを設置し、研修プログラムの調整や各診療科と研修医の連絡調整を行う。
 - ② 診療科の枠をこえたメンター制度を導入し、研修生活の相談窓口としている。
 - ③ 「地域医療」研修を 3 か月確保し、当法人に属する多彩な病院・施設・診療所で、生きた地域医療の研修を行う。
- 医師数（病院全体）：117 名（2019.12.1 現在） ※研修医含む
- 指導医数：89 名（2019.12.1 現在）
- 研修医数（2019 年度 初期 17 名うち男性 12 名、女性 5 名）
- 研修医の主な出身大学：浜松医科大学、順天堂大学、大阪市立大学、信州大学、熊本大学、山口大学 等
- 専攻医の研修プログラム：あり
- 初期研修修了後の進路：（専攻医として専門分野の研修または大学院、他の病院へ等）

地域医療を専門とする医師は、公益社団法人地域医療振興協会シニアプログラム（3 年間）に進むことができる。また、当院の専攻医研修に進むことができる。コースは以下の通り。

【基幹型】

- ・内科専門研修プログラム
- ・小児科専門研修プログラム
- ・救急診療研修プログラム

【連携型】

- ・外科専門研修プログラム
- ・泌尿器科専門研修プログラム
- ・整形外科専門研修プログラム
- ・形成外科専門研修プログラム
- ・脳神経外科専門研修プログラム
- ・皮膚科専門研修プログラム
- ・産婦人科専門研修プログラム
- ・麻酔科専門研修プログラム
- ・眼科専門研修プログラム
- ・病理専門研修プログラム
- ・耳鼻咽喉科専門研修プログラム

※その他オプション研修コース有り

【研修医採用試験要綱並びに処遇】

- 応募資格：翌年4月に医師免許を取得して臨床研修を受けようとする者及び平成16年4月以降に医師免許を取得したが、臨床研修未実施で臨床研修を受けようとする者
- 病院見学について：随時
- 採用試験日程：2020年8月（詳細は決定次第ホームページにて記載します）
- 採用予定人数：9名
- 身分：常勤の研修医として、横須賀市立うわまち病院の就業規程を適用し、それに応じた処遇とする。
- 給与（初期1年目、2年目）：1年次 400,000円/月、2年次 500,000円/月
- 当直回数（初期1年目、2年目）：原則として平日週1回 休日月1回
- 当直料（初期1年目、2年目）：夜勤手当として10,000円
- 社会保険の有無：有
- 宿舍・住宅について：有
- 採用試験応募の連絡先：〒238-8567 神奈川県横須賀市上町2-36
横須賀市立うわまち病院臨床研修センター 橋本、高橋（総務課）
電話：046-823-2630 FAX：046-827-1305
メール：jinja@oceanhope.yokosuka.kanagawa.jp

【その他 貴病院のPRなど内容は自由に記載】

臨床研修センター長／小児医療センター長 宮本 朋幸

当院の研修の目標は、初期研修医・専攻医ともに「良き臨床医になる」ということです。ベッドサイドで学ぶことは多岐にわたります。ACLSなどのOff the Job トレーニングの効果も、日頃のベッドサイドでの業務の質によって全く異なります。そのため当院ではOn the Job トレーニング重視のプログラムを作成しています。もちろん、院内講習会や研修会などのOff the Job トレーニングも多数開催されており、研修医・指導医共に日常診療に役立てています。「臨床」はとても辛い仕事です。ともすると逃げたくなるその仕事を乗り切るための知識・技術・心を当院で身につけていただきたいと思います。もちろん「臨床」という言葉には「臨床研究」も含まれます。日々の臨床の中で新しい知識を生み出し、世界に発信してください。当院は、『生涯「臨床医」であり続けたい』という強い意志を持つ先生方を募集しています。切磋琢磨しながら、臨床医として共に成長していきましょう。

【病院の概要・特色】

平成 16 年 3 月に地域医療支援病院の承認を受け、横須賀・三浦半島を中心とする地域の医療機関との連携を強化。医療の継続性を確保し、地域の方々へ適切な医療を提供していくために、専門的な治療や急性期医療を担当することで地域医療の充実を図る。平成 18 年 8 月には、地域がん診療連携拠点病院の認定を受け、横須賀・三浦半島地区の各医療機関と連携して、がん診療の向上に力を注いでいる。また、当地区の 3 次救急担当医療機関として救命救急センター（20 床）を有し、専任スタッフを配備して 3 次救急受け入れ態勢を整えている。

【病院データ】

- 病 院 長：長堀 薫（横浜市立大学卒）、出身：東京都
- 病院所在地：〒238-8558 横須賀市米が浜通 1-16
- 電 話 番 号：046-822-2710
- 病院URL：<http://www.ykh.gr.jp/>
- ア ク セ ス：京浜急行 横須賀中央駅より徒歩 7 分
- 病 床 数：730 床（一般急性期 720 床、精神病床 10 床）
- 診 療 科 目：消化器内科、血液内科、内分泌・糖尿病内科、呼吸器内科、神経内科、腎臓内科、循環器内科、精神科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、放射線科、形成外科、リハビリテーション科、救急科、心臓血管外科、呼吸器外科、麻酔科、病理診断科、緩和ケア内科、集中治療科
- 平均外来患者数：（平成 30 年度） 1627.4 人／1 日
- 平均入院患者数：（平成 30 年度） 545.4 人／1 日
- 保育施設の有無：院外

【研修データ】

●プログラムの特徴：基本方針は、急性期医療を中心としたプライマリケア重視の研修である。豊富な症例を経験することで、診療能力を発揮し得る基礎を養うとともに、医療現場における医療協力者との関係、医師と患者との意思の疎通を深め、医の倫理を修得し、医師としての資質の向上を図ることを目的とする。

厚生労働省で定められた必修診療科（内科 24 週、救急科 12 週、外科 4 週、産婦人科 4 週、小児科 4 週、精神科 4 週、地域医療 4 週）以外は自由に組み合わせることができ、日中は各科に配属され、入院患者の受け持ち医の 1 人として各科指導医の指導を受けつつ、診療に当たる。

救急当直は、1-2 次救急と 3 次救急の 2 通りあり、合わせて月に 4 回程度担当する。1-2 次救急外来は、1 年次と 2 年次の研修医がペアとなってファーストタッチを担い診療を行うため、自分で考える力が身につく。常に上級医が待機しているため、困ったらすぐに相談し指導を受けることができる。内科・外科とも全日救急対応であるため豊富な症例を経験することができ、プライマリケア能力の向上に最適の環境といえる。3 次救急外来は、当番の救急医と担当し蘇生、集中治療を学ぶ。心臓マッサージや気管挿管を行い、ACLS を実践することができる。

- 医師数（病院全体）：225 人
- 指導医数：87 人
- 研修医数：34 人（1 年目 12 人、2 年目 12 人）
- 研修医の主な出身大学：横浜市立大学、群馬大学、信州大学、弘前大学、鳥取大学、聖マリアンナ医科大学、札幌医科大学、滋賀医科大学、東海大学、佐賀大学、昭和大学、山梨大学
- 専攻医の研修プログラム：有り（内科、外科）
- 初期研修終了後の進路：専攻医として専門分野の研修、関連大学病院への入局、他

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格：マッチングプログラム参加者
- 病院見学：随時、夏季・冬季合宿（夜間当直見学）
- 試験日程：未定（令和 2 年 8 月頃を予定） ※決定次第、ホームページに掲載します
- 採用人数：12 人
- 採用後の身分：非常勤職員
- 給 与：254,200 円（1 年目）、264,100 円（2 年目）賞与 年 2 回
- 定期昇給：年 1 回
- 諸 手 当：当直、特別手当、学会出張費補助、BLS・ACLS 等の参加費補助

- 当直回数：週 1 回、月平均 4 回
- 当 直 料：1 回 20,000 円
- 休日・休暇：土日祝日
- 社会保険：健康保険・厚生年金・雇用保険
- 寮・宿舎：有り
- 応 募 先：〒238-8558 横須賀市米が浜通 1-16 横須賀共済病院 医学教育部 宛て
※詳細は当院ホームページをご確認ください。

【病院から皆さんへ：研修医の声】

この病院での研修のメリットの一つに救急外来での研修があります。救急隊からの電話を受け取るところから、診察、検査まで研修医が一通り行います。症例の種類も非常に豊富で経験を積むことができます。多忙なため、その場で丁寧に教えてもらうことはなかなか難しいですが、教育的な上級医の先生方が多く、後日親切に教えていただけます。

日中の研修中に、一息できる研修医室の存在も大きいです。研修医同士でたわいない話をしたり、気になる症例について discussion したりします。同期の人数も程よく 20 人弱であり、1 日の研修が終われば、皆で外に飲みに行ったり、和気あいあいとしています。

また多くの診療科から診療科を自由に選択できることは、将来進む診療科が決まっている人もそうでない人にとっても良いプログラムだと思います。

皆さん、是非一度見学にいらしてみてください。

病院名：横須賀市立市民病院

【病院の概要・特色】

横須賀市立市民病院は三浦半島西海岸の中心に位置する急性期病院である。「地域医療支援病院」の承認を得ているので、医療、保健、福祉機関と連携し地域医療の推進に邁進している。三浦半島全域から多くの患者を受け入れる中核病院として大きな役割を果たしており、「災害拠点病院」、「初期被ばく医療機関」、「第Ⅱ種感染症医療機関」としての責務を果たすべく体制を整備している。

【病院データ】

- 管 理 者：久保 章（横浜市立大学卒）
- 病院所在地：〒240-0195 横須賀市長坂 1-3-2
- 電 話 番 号：046-856-3136
- 病院URL：<https://www.jadecom.or.jp/jadecomhp/yokosuka-shimin/html/>
- ア ク セ ス：
 - ・JR 逗子駅・京急新逗子駅より
「横須賀市民病院」行又は「長井」行で「横須賀市民病院」下車
 - ・京急横須賀中央駅より
「横須賀市民病院」行又は「湘南佐島なぎさの丘」行で「横須賀市民病院」下車
- 病 床 数：482 床（一般 476 床、感染症 6 床）
- 診 療 科 目：29 科（内科、外科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、糖尿病内科、消化器外科、肛門外科、脳神経外科、乳腺外科、整形外科（関節外科含む）、形成外科、精神科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科、歯科口腔外科）
- 平均外来患者数：589 人／1 日 ●平均入院患者数：245 人／1 日
- 保育施設の有無：院内

【研修データ】

●プログラムの特徴：医療人として必要な基本姿勢・態度（行動目標）、医師としての経験すべき診察法・検査・手技・症状・病態・疾患、特定の医療現場の経験（経験目標）を身に付けるために研修科目は必修科目（内科、外科、救急部門、地域医療）、選択必修科目（小児科、産科・婦人科、精神科、麻酔科）に加え、選択科目研修期間を設定し、限られた期間に出来る限り将来のプライマリ・ケアに対する診療能力を高めるための配慮を行っている。研修医は指導医から直接マンツーマン指導のもとで診察・検査・診断、そして治療に十分携わることができる。また、医療の基本は救急医療にあるとの理念の基に、全科にわたる救急疾患に対する基本的対応が習得可能である。研修の選択肢を幅広く設定しており、初期研修に臨む研修医に実り多い研

修を提供できればと考えている。

- 医 師 数：74 人 ●指導医数：31 人
- 研修医数：10 人（1 年目 6 人※内 2 名はたすきがけ、2 年目 4 人）
- 研修医の主な出身大学：秋田大、山形大、東北大、東海大、鹿児島大、東京大、慈恵医大 他
- 専攻医の研修プログラム：有り（内科）
- 初期研修終了後の進路：専攻医として専門分野の研修、関連大学病院への入局、他

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格：医師国家試験合格見込の者、および合格 1 年未満の者
- 病院見学：随時（平日のみ）
- 試験日程：2020 年 8 月に 3 回予定（決定次第、当院ホームページにて掲載します）
- 採用人数：4 人
- 採用後の身分：常勤
- 給 与：40 万円（1 年目）、50 万円（2 年目）
- 定期昇給：年 1 回
- 諸 手 当：住宅・通勤・当直・学会等出張費補助等

- 当直回数：週 1 回、月平均 4 回 ●当 直 料：1 回 1 万円
- 休日・休暇：日祝日、4 週 8 休
- 社会保険：健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
- 寮・宿舎：有り
- 応 募 先：〒240-0195 横須賀市長坂 1-3-2
横須賀市立市民病院 総務課 初期臨床研修医担当宛
mail：dr-kensyu-yshimin@jadecom.jp TEL：046-856-3136

【病院から皆さんへ】

●プログラム責任者より

当院は、三浦半島のうち三浦から横須賀の西地区、葉山や逗子を主な診療圏とする地域の基幹病院です。働く医師は横浜市立大学からの派遣が大多数を占めており、大学との連携を大切にしながら専門性の高い医療で地域を支えています。職員同士の垣根も低く小回りが利き、とても働き易い病院です。是非、当院での研修を通して医師としての第一歩を踏み出しましょう！

●研修医より

当院では、多くの common disease や手技を経験でき、フィードバックしてもらえる環境があります。また、地域医療研修では豊富な連携施設から選択できます。加えて、仕事とプライベートのめりはりをつけたい方に最適の環境です。是非一度病院見学にお越しください！

【病院的概要や特色】

大船中央病院は285床の急性期病院で、大学病院と異なり、必要に応じて領域を越えた研修が可能です。社会医療法人として地域社会に貢献するため、救急医療を重視しています。救急部門と総合内科が若い研修医を育成する基盤と考え、充実を図っています。

乳腺センター、消化器・IBDセンター、放射線治療センターでは全国レベルの診療を展開しています。毎年米国から内科指導医を招聘し、研修医教育にあたるなど、本場の臨床研修の魅力を注入していることも特徴の一つです。

【病院のデータ】

- 病院長名 : 須藤 博(研修管理委員長)
- 所在地 : 〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船6-2-24
- 電話番号 : 0467-45-2111
- URL : <https://www.ofunachuohp.net>
- 専用URL : https://www.ofunachuohp.net/r_resident/
- 病床数 : 285床
- 医師数 : 常勤:58名(うち指導医16名) 非常勤:(2019年9月現在)
- 医療計画上の位置付け : 第二次救急医療機関
- 救急の実績 (2018年度)
 - 件数:4,378件(うち診療時間外:2,874件)
 - 1日平均件数:10.5件(うち診療時間外:6.8件)
 - 救急車取扱件数:1,750件(うち診療時間外:1,081件)
 - 1日平均件数:4.7件(うち診療時間外:2.9件)
- 診療科目 (2019年度) : 内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・糖尿病内科・内分泌内科・内視鏡外科
皮膚科・腎臓内科・外科・消化器外科・乳腺外科・整形外科・形成外科・脳神経外科
泌尿器科・婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線診断科
放射線治療科・病理診断科・救急科・歯科口腔外科・麻酔科・血液腫瘍内科・血管外科
計28科 神奈川県鎌倉保健福祉事務所届出に基づく
- 1日平均入院患者数 : 189.2 人 (2018年度)
- 1日平均外来患者数 : 684.9 人 (2018年度)
- 平均在院日数 : 12.6 日 (2018年度)
- CPC開催回数 : 1 回 (2018年度)

● 臨床研修科目別患者数(2018年度)

	内科 ※1	救急 部門	外科 ※2	婦人科	消化器 内科	整形 外科	泌尿器 科	眼科	耳鼻 咽喉科	乳腺 外科	脳神経 外科	放射線 治療	呼吸器	皮膚科	歯科 口腔 外科	リハ	合計
年間入院患者数 (救急件数)	786	- 4378	595	0	1,359	452	397	614	0	426	50	188	580	34	56	0	5,537
年間新外来患者数	4,445	-	965	1,250	4,345	3,671	1,523	1,904	2,494	1,404	1,212	719	2,310	2,181	576	13	29,012
1日平均外来患者数 (年間外来診療日数)	96 (269)	11 (365)	18 (269)	22 (244)	85 (269)	48 (244)	42 (269)	60 (244)	21 (269)	105 (269)	16 (269)	75 (244)	43 (269)	37 (244)	24 (269)	32 (269)	-
平均在院日数	22.1	-	12.0	-	8.0	25.0	4.8	1.2	-	13.0	26.5	7.7	18.0	13.6	7.0	0	-
医師数(2019年9月時点)	17	1	5	6	14	7	9	4	7	5	6	7	8	1	1	3	101

※1 内科に循環器内科、糖尿病内科、内分泌内科、腎臓内科、血液腫瘍内科を含む

※2 外科に内視鏡外科、血管外科を含む

【研修データ】

- プログラムの特徴
救急に対応できる能力を学習することから始まり、内科系と外科系のローテーションで、患者をよく診て診断と治療に至る臨床研修を受けます。医療面接と身体診察の手法、基礎的な内科系・外科系の知識の獲得といった基本臨床技能(Basic Clinical Skills)を習得します。
- 臨床の基礎ができた内科系・外科系の各専門領域へのローテーションを組みます。講義形式の教育は避け、Bedside Learningを重視します。産科・小児科・精神科の研修は協力施設へのローテーションにより提供されます。
- さらに近隣との病診連携を活かして地域医療の習得が可能です。
- 研修医数(2018年度) : 1年次4名(定員4名)、2年次2名(定員4名)+東海大学医学部附属病院より5名
- 研修医の主な出身大学 : 宮崎大学、昭和大学、慶應義塾大学、久留米大学、信州大学、関西医科大学、愛知医科大学
東邦大学、滋賀医科大学、聖マリアンナ医科大学、鹿児島大学、広島大学
- 初期研修修了後の進路 (直近5年)
 - 横浜市立大学(眼科・麻酔科)、杏林大学(形成外科)、聖マリアンナ医科大学(消化器内科)
 - 昭和大学(精神科)、東京女子医科大学(整形外科)、久里浜医療センター(精神科)
 - 聖路加国際病院(救急)、東京城東病院(内科)、東京大学(外科)、浜松医科大学(整形外科)
- 臨床研修協力病院・施設 : 東邦大学医療センター 大森病院・大橋病院・佐倉病院、東海大学医学部付属病院
聖マリアンナ医科大学病院、山口内科、あいクリニック仲通(鎌倉市)
さとう内科クリニック(横浜市)、鎌倉保健福祉事務所(地域保健)、メンタルホスピタルかまくら

【研修医採用試験要項並びに処遇】

- 応募資格 : 2020年度大学医学部またはそれに準ずる学校を卒業見込み並びに2019年以前に卒業した者。
- 病院見学 : 随時受付(基本的に内科系の見学。8:00～12:00の半日を予定)
- 採用試験日程 : 2020年7月以降で選考試験を6回程度実施予定。
- 採用予定人数 : 4名
- 身分 : 常勤
- 給与(1、2年目) : 約400,000円(基本給250,000円、住宅手当50,000円、当直手当等を含む)
- 当直回数 : 当直4回、日直1回程度
- 当直手当 : 当直(17:00～翌 8:30): 平日20,000円、土日祝23,000円
日直(9:00～ 17:00): 日祝23,000円
日直(13:00～ 17:00): 土曜11,500円
- 社会保険 : 有
- 宿舎・住宅 : 無し、但し住宅手当50,000円迄毎月支給
物件は各自にて契約。(契約書の写しを提出)
- 採用試験担当 : 研修管理委員会事務局 小野
- 応募連絡先 : jimu@ofunachuohp.net

【その他】

研修管理委員長 須藤 博※医師の管理指導の下、将来、真に優れた臨床医となるために必要な臨床の基礎である“論理的な考え方”と“身体診察の能力”を徹底的に鍛えます。

北米型研修の特徴であるMorning Reportを週3回実施し、研修医が診療にあたった症例を使用し、まず検査ありきではなく、詳細な病歴聴取と身体診察をもとにした鑑別診断に至るまでの考え方を習慣として身に付くまでトレーニングを繰り返します。Morning Reportは、毎回数名の上級医が参加し、診療科や指導医の枠を超えたディスカッションの中で進められます。1年目の研修を終えた頃には確かな手応えとして論理的な考え方に基づく臨床能力が身に付いたことを実感するでしょう。

さらに年4回実施される大船GIMカンファレンスでは日常の診療で数多く触れるcommon diseasesの稀な経過や、ときには稀な疾患に対する思考過程を多くの参加者と共有することができます。全国から学生や総合診療医をめざす若手医師や研修医、ときには教授クラスのベテラン医師までが参加し、医局などにとられない、志を共にする医師たちとの人脈を築くことも可能です。

将来、どんな道に進もうとも、身に付けた身体診察の能力はあなたの強い味方となってくれるでしょう。都心からの利便性に優れ自然豊かな古都鎌倉。この地で医師としての第一歩を刻みませんか。

JR6路線と湘南モノレールが乗り入れる大船駅まで徒歩6分。

大船駅から 横浜駅まで約17分(JR東海道線)
東京駅まで約43分(JR東海道線)
新宿駅まで約47分(JR湘南新宿ライン)
鎌倉駅まで約 6分(JR横須賀線)
湘南江の島駅まで約14分(湘南モノレール)

※須藤 博(大船中央病院 院長・内科部長・研修管理委員長)

1983年和歌山医大卒。茅ヶ崎徳洲会総合病院で内科研修後に米国Good Samaritan Medical Center腎臓内科などで臨床研修。その後、茅ヶ崎徳洲会総合病院で指導医として勤務。

1994年より池上総合病院内科、2000年より東海大医学部総合内科、2006年より現職。

2007年より、診断への思考過程を重視した勉強会「大船GIM(General Internal Medicine)カンファレンス」を主宰。

「これまで見えなかったもの、聴こえなかった音に気づく。身体診察の勉強を続けていくと『何かを発見する』

新鮮な感動を感じる瞬間が必ずある」

病院名：湘南鎌倉総合病院

【病院の概要・特色】

「いつでも、誰にでも良い医療を提供する」ことに病院全体で取り組んでいます。

日帰り手術や最先端医療サービス、地域密着型の多角的な医療活動を実施。年中無休 24 時間、365 日患者様を絶対に断らない救急体制で地域医療に貢献します。

【病院データ】

- 病 院 長：篠崎 伸明
- 病院所在地：〒247-8533 鎌倉市岡本 1370-1
- 電 話 番 号：0467-46-1717
- 病院URL：<https://www.shonankamakura.or.jp/>
- ア ク セ ス：東海道線藤沢駅南口バス 20 分/京浜東北線大船駅バス 15 分
- 病 床 数：629 床（一般急性期 629）
- 診 療 科 目：内科、心療内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、形成外科、美容外科、脳神経外科、呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、肛門外科、産科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、気管食道外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、腎臓内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、救急科、美容皮膚科、血管外科、乳腺外科、腫瘍外科、脳血管内外科、腫瘍内科、人工透析内科、胸部外科、大腸外科、胃外科、内視鏡外科、内視鏡内科、漢方内科、血管内科、心臓内科、肝臓・胆のう・膵臓内科、精神科、脊椎脊髄外科
- 平均外来患者数： 1,774 人／1 日
- 平均入院患者数： 580.2 人／1 日
- 保育施設の有無：院内、病児、病後児

【研修データ】

- プログラムの特徴：基本プログラムでは将来、どのキャリアに進もうともジェネラルに対応可能な幅広い診療科目を学ぶことができるのがメリットです。産婦人科・小児科プログラムでは 5 ヶ月間の選択科目は周産期医療に従事することを視野に入れ（絶対条件ではありません）産婦人科もしくは小児科から選択研修を行います。
- 医師数（病院全体）： 235 人（男性 176 人、女性 56 人）常勤非常勤含め
- 指導医数：56 人
- 研修医数：37 人（1 年目 18 人、2 年目 19 人、初期終了後研修 49 人）
- 研修医の主な出身大学：横浜市立大学、東海大学、聖マリアンナ医科大学、杏林大学、東京女子医科大学、日本大学、日本医科大学、東京医科歯科大学、東京大学、順天堂大学など
- 専攻医の研修プログラム：有り

救急、内科、外科、総合診療、産婦人科、放射線科、病理、麻酔科

●初期研修終了後の進路：

【採用試験要綱及び処遇】

●応募資格：医師国家試験合格者

●病院見学：随時

●試験日程：2020年8月30日（日）、9月6日（日）、9月12日（土）

●採用人数：24人

●採用後の身分：常勤

●給 与： 300,000 円（1年目）、320,000 円（2年目）賞与 年2回（2ヶ月）

●定期昇給：年1回

●諸 手 当：住宅・家族・通勤・当直

●当直回数：週2回、月平均8回

●当 直 料：1回 25,000 円（1年目）30,000 円（2年目）

●休日・休暇：日曜祝日

●社会保険：厚生年金 他

●寮・宿舎：有り

●応 募 先：〒247-853 鎌倉市岡本 1370-1 湘南鎌倉総合病院 臨床研修センター

担当 須賀宛て

TEL0467-46-1717 mail:kenshu@shonankamakura.or.jp

【病院から皆さんへ：研修医の声】

2年間という限られた時間の中で、初期臨床研修その意義を理解して過ごすかどうかで、あなたの医師人生は変わるでしょう。医師が自分に興味のある専門分野だけ学べばよかった時代は既に終わりました。医学が進歩し超高齢社会に突入した昨今、疾病構造のみならず社会構造も大きく変遷し、1人1疾病のことは稀になりました。慢性心不全がある担癌患者の転落外傷や、慢性腎臓病・認知症患者の腹痛、また独居高齢者の発熱を伴う頭部挫創など、同時に複数の疾病に対応できる守備範囲の広い臨床医が求められる時代になったのです。医療は患者様と社会的需要があって初めて成り立ちます。長い医師人生の中で、医師として活躍するためには何を学ぶべきかを知る必要があります。

学ぶ環境も医師人生に与える影響は大きいでしょう。当院は今断らない救急を実践し、さらに継続していきます。断らない救急を、なぜ続けられるのか？それは社会的需要があるからに他なりません。私達が救急を断りたくないから続けているのではなく、断らない救急医療が社会的に必要なのです。救急を断る理由を探すより、受け入れるにはどうしたらよいか？当院はいつもそう考え実行してきました。初期研修をする環境、つまり病院やそこで働く医師、看護師のみならず、技師、事務職員までもが、何を考え何を実践しているのかが重要なのです。

知識があるのは当たり前で、知識を目の前の患者様に知恵として応用するためには、多くの臨床経験が積める環境が必要です。多くの臨床経験が積める環境＝多忙な病院ですが、多忙なだけの研修は今の時代に即さなくなりました。当院は多忙な中でも効率よく良い研修が受けられるよう工夫して参ります。

研修委員長 山上 浩

病院名：国家公務員共済組合連合会 平塚共済病院

【病院の概要や特色】

当院は、救急センター、循環器科と心臓血管外科が共同運営する心臓センターおよび脳神経内科と脳神経外科が共同運営する脳卒中センターを設け、24 時間体制で対応しています。救急センターは、平塚市における当院の急性期病院としての役割である救急医療体制を担うために設立され、従来の救急外来だけではなく、緊急入院時の病床も備えて、年間約 5,000 件の救急車を受け入れ、全診療科を挙げて地域救急医療業務に取り組んでいます。地域に密着した救急病院として急性期疾患に対応した地域医療に貢献し続けるように、救急医療の充実に努めています。

【病院のデータ】

- 病 院 長：稲瀬 直彦
- 病院所在地：〒254-8502・神奈川県平塚市追分 9 番 11 号
- 電話番号：0463-32-1950
- 病院URL：<http://www.kkr.hiratsuka.kanagawa.jp/>
- アクセス：J R 東海道線 平塚駅からのアクセス
バス：北口 7 番線より「共済病院前総合公園西」下車 1 分
所要時間：10 分（神奈川中央交通）
小田急線 伊勢原駅からのアクセス
バス：南口 1・2 番線より「共済病院前総合公園西」下車 1 分
所要時間：20～25 分（神奈川中央交通）
- 病床数：441 床
- 診療科目：25 科／11 病棟（救急センター、脳卒中センター、心臓センターを含む）
- 平均入院患者数（2018 年度）：344 人
- 平均外来患者数（2018 年度）：878 人
- 保育施設の有無：有（院内）

【研修データ】

- プログラムの特徴：
 - Point 1. 少人数研修
※ 研修医は 2 学年で 20 名弱のため、経験できる症例・手技が多く、きめ細やかな指導が受けられます。
 - Point 2. 臨床経験豊富な指導医
※ 内科系・外科系ともに多くの専門医がおり、指導医として研修医をサポートします。
 - Point 3. 数多くの症例を体験
※ 初期研修には十分な救急症例を経験できます。
 - Point 4. 救急センター
※ 軽症から重症まで様々な患者さんを全て first touch で診察します。様々な病態の患者さんの問診・身体所見を取り、鑑別を考えて必要な検査や処置・処方をしていくという作業を繰り返します。
 - Point 5. 研修医カンファレンス
※ 救急センターで経験した症例を、研修医が主催する救急カンファレンスで発表し、プレゼン能力を養います。カンファレンスの内容は研修医で情報を共有し、上級医からのフィードバックを受けることができます。
- 医師数（病院全体）：119 名
- 指導医数：43 名（指導医講習会受講者）・3 名（プログラム責任者修了者）

- 研修医数：19名（1年目9名、2年目10名、初期終了後研修2名）
- 研修医の主な出身大学：新潟大学、札幌医科大学、秋田大学、弘前大学、岩手医科大学、聖マリアンナ医科大学、東海大学、産業医科大学、鹿児島大学等
- 専攻医の研修プログラム：有（平塚共済病院内科施設群専門研修プログラム）
- 初期研修修了後の進路：応相談

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格：2021年医師国家試験受験予定者
- 病院見学：随時 ホームページの専用フォームにてお申し込み下さい。
- 採用試験日程：2020年7月～9月（計3～4回）
- 採用予定人数：6名
- 身分：常勤職員
- 給与（初期1年目、2年目）：1年目 基本給：300,000円 / 賞与：300,000
2年目 基本給：350,000円 / 賞与：700,000
- 当直回数（初期1年目、2年目）：平均4回／月
- 当直料（初期1年目、2年目）：10,000円／回
- 社会保険：有（協会けんぽ・厚生年金）
- 宿舎・住宅：有（院内）
- 応募先：総務課 電話 0463-32-1950
mail soumu-kensyui@kkcr.hiratsuka.kanagawa.jp

【病院から皆さんへ】

●研修責任者よりメッセージ

初期研修の2年間は、これから長い間、医師として活躍していくため大切な礎の期間です。医師として身につけるべき基本的な手技や患者さんの診察方法、カルテの記載などから各診療科の専門的な知識の一端まで、当院の研修では幅広く各科のスタッフが関わってくれます。年間約30回に及ぶミニレクチャーも研修医の皆さんには好評です。また、2020年からの研修プログラムの変更にもいち早く対応して総合外来の診療も開始しています。2019年からはメンター制度を採用し、ストレスの多い医師の仕事の内面からのサポートも行っています。富士山を眺めながら湘南の爽やかな風のもとでの初期研修は必ずや有意義なものになると思います。

●研修医よりメッセージ

当院では、各学年基幹型6名に加え、東京医科歯科大学と横浜市立大学のたすきがけそれぞれ2名ずつの合計20名で日々楽しく研修をさせていただいています。出身大学は全国各地の国公立・私立と多様性があり、大学病院を知るたすきがけの研修医もいるためお互いを高め合いながら研鑽を積むことができると思います。院内宿舎や研修医室や職員食堂などの設備も充実しており、研修に集中することができるためとても満足しています。救急外来では研修医がファーストタッチをする機会が多く、自ら体を動かして学ばせていただいております。湘南の温暖な気候にも恵まれ、海が近いのでマリンスポーツができたり、野球やバスケ、サッカー、ゴルフ等の部活動も多職種が一緒になり盛んに活動しているので、仕事で疲れた日もリフレッシュすることができます。当院に少しでも興味をもたれた方は、ぜひ一度見学にいらしてください。研修医一同、歓迎いたします。

●卒業生よりメッセージ

私は、研修病院を実家から近い病院のなかから探しており、病院見学に来たのは本当に偶然でした。しかし見学に来てみてその雰囲気の良いことや、研修医だろうと自分からどんどん動いて診療している姿に感銘を受け、また院内寮や研修医室、夜まで営業してい

る食堂など設備的な充実も魅力的だったため、この病院で研修したいと思いました。

実際の診療では、この病院の各科の垣根の低さや医療チームの仲の良さ、医療スタッフのフットワークの軽い柔軟な対応に大変助けられました。上級医の先生は優しく指導して下さり、研修医仲間ともたくさん関わり合い、毎日楽しい研修生活を送ることができました。学んだことは多くありますが、市中病院ならではの救急外来初療が学べたことはとても力になる経験でした。実家が近くなくても、この病院で研修したいと思うくらい、充実した2年間を過ごすことができたと考えています。

病院名：平塚市民病院

【病院の概要や特色】

平塚市民病院は、気候が温暖で居住環境に抜群な湘南地域に位置する地域密着型の自治体病院（急性期：3次救急）です。平成28年に新館が完成し、小児・周産期センターが設置されました。また、平成29年には救命救急センターに指定され、年間救急患者搬送車数は9,000件以上となっています。平成30年には新病院がグランドオープンし、明るくきれいな環境で研修することができます。

“一人ひとりを丁寧に育てます”という基本方針のもと、設備や経験症例数等においても充実した教育環境を提供することが可能です。

【病院データ】

●病院長名：山田 健一郎

●病院の郵便番号・所在地：

〒254 - 0065 神奈川県平塚市南原1 - 19 - 1

●病院の電話番号：0463 - 32 - 0015

●病院のURL：

<http://www.hiratsuka-city-hospital.jp/>

●病院への交通手段：

1. 平塚方面から：JR東海道線 平塚駅北口からバスで15分（金田公民館行、市民病院行、市民病院經由東海大学行、市民病院經由高村団地行）
「市民病院前」下車 徒歩 0分

2. 秦野方面から：平塚駅行「南原土手」バス停下車 徒歩 約10分

●病床数：416床（一般410、感染6床）

●診療科目：内科、外科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、腎臓内分泌代謝内科、緩和ケア内科、呼吸器外科、消化器外科、血管外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺外科、

整形外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、救急科、麻酔科

●1日平均入院患者数（2018年度）：350.1

●1日平均外来患者数（2018年度）：846.2

●保育施設の有無：有



【研修データ】

●プログラムの特徴：本プログラムの特徴は、臨床研修医の個性や希望に応じた、きめ細やかでフレキシブルなローテーションスケジュールにある。選択科目を36週間と多くとり、進路科コースとして最後の32週間を特定の科で集中して研修することも可能である。

●医師数（病院全体）：93人（常勤のみ） ●指導医数：32人

●研修医数：22人（1年目13人、2年目9人）

●研修医の主な出身大学：旭川医科大学、札幌医科大学、新潟大学、慶應義塾大学、東京医科大

学、千葉大学、信州大学、岐阜大学、宮崎大学など

●専攻医の研修プログラム：有 基幹（内科、外科、救急）、連携（13診療科）

●初期研修終了後の進路：研修医の選択に任されている。

【採用試験要綱及び処遇】

●応募資格：（1）令和3年3月卒業見込で医師国家試験受験予定者

（2）令和2年3月以前の卒業で医師国家試験受験予定者

●病院見学：【随時受付中】病院見学を希望される方は、当院ホームページの病院見学申し込みフォームにてお申込みください。

●試験日程：第1回：令和2年7月26日（日）

第2回：令和2年8月10日（月・祝）

第3回：令和2年8月30日（日）（いずれかを受験）

集合場所及び試験会場：当院なでしこ研修室（予定）

集合時間：午前9時00分（予定）

●採用人数：11人

●採用後の身分：会計年度任用職員

●給 与：※金額は令和2年1月時点の予定額です。法令等の改正により変更する可能性があります。

（初期1年目：341,040円、2年目：359,338円）

賞与（初期1年目：576,358円、2年目：934,279円）

●諸 手 当：・通勤手当（交通手段や距離に応じて支給）

・当直手当（当直1回につき10,500円支給）

・救急業務手当（当直1回につき7,500円支給）

●当直回数：月平均4回

●当 直 料：1回10,500円

●休日・休暇：土日祝日

●社会保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険に加入

●寮・宿舍：官舎又は病院借上げ宿舎有り（本人負担 月額8,000円）

●応 募 先：〒254-0065 神奈川県平塚市南原1-19-1

平塚市民病院 病院総務課 TEL 0463-32-0015

E-mailの問い合わせ byoin-s@city.hiratsuka.kanagawa.jp

【病院から皆さんへ：研修医の声～平塚市民病院の魅力～】

病院の雰囲気がいよい上の先生やコメディカルの方も優しく、困ったことがあれば質問しやすい環境です。同期は様々な大学から集まっており、バランスも良く、和気あいあいとした雰囲気です。

救急が充実している症例数が多く、common diseaseを中心に様々な疾患を診ることができます。救急外来では研修医がファーストタッチで、上の先生からも充実したフィードバックを頂けます。

手技を豊富に経験できる救急外来ではもちろん、日々の診療においてもCV挿入や腹腔穿刺など様々な手技を経験させて頂いています。手技を行うために自分自身でも勉強しなければならないのはも

もちろんですが、上級医の先生からも丁寧に指導して頂けるため日々成長を実感できます。

週に1度のクルズスと研修医抄読会自分で勉強することも大切ですが、クルズスで直接先生から指導を受けたり、抄読会で発表や質問の仕方を学んだりすることができます。

ぜひ一度、病院見学にお越しください！お待ちしております！

病院名：小田原市立病院

【病院の概要・特色】

当院は、神奈川県西部の基幹病院として、26 の診療科を標榜するほか、三次救急医療を担い、地域周産期母子医療センターや地域がん診療連携拠点病院の指定を受けるなど、地域の高度医療、急性期医療を受け持つ総合病院です。そのため、外来診療から高次救急医療までにおける、さまざまな症例や手技を通じて、医師として基本的な診療能力を学ぶことができます。

また、研修時には、隣接地に宿舎や院内に単独の研修医室や図書館も用意しており、研修に専念する環境を整えています。

【病院データ】

- 病 院 長：川口 竹男（北里大学 昭和 58 年卒）
- 病院所在地：〒250-8558 神奈川県小田原市久野 46 番地
- 電 話 番 号：0465-34-3175
- 病院URL：<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/hospital/>
- ア ク セ ス：
 - ・小田急線 足柄駅 徒歩 10 分程度
 - ・大雄山線 井細田駅 徒歩 10 分程度
 - ・JR 東海道線 小田原駅 徒歩 20 分程度
 - ・JR 東海道線 小田原駅 バス 10 分程度
- 病 床 数：417 床（一般急性期 417 床）
- 診 療 科 目：26 科（内科、糖尿病内分泌内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科）
- 平均外来患者数：1036.5 人／日（平成 30 年度）
- 平均入院患者数：346.8 人／1 日（平成 30 年度）
- 保育施設の有無：院内保育所あり

【研修データ】

●プログラムの特徴：小田原市立病院は県西地域の基幹病院としての利点を活用し、地域に密着した実践的なプライマリ・ケアを習得し、医師として必要な人間関係、生活態度、基本的な診療能力を身に付けさせ、また、初期臨床研修期間において許される範囲での手技を各科にて積極的に行わせることにより、実力を伴った医師の育成を目標としています。

また、2 年間で選抜期間は 40 週（10 コマ分）となっており、各研修医の希望に応じた自由度の高いローテーションを組むことが出来ます。

- 医師数（病院全体）：101 人（男性 66 人、女性 35 人）常勤

- 指導医数：68 人
- 研修医数：21 人（1 年目 11 人、2 年目 10 人）（協力型含む）
- 研修医の主な出身大学：横浜市立大学 札幌医科大学 福島県立医科大 東邦大学
山梨大学 富山大学 福井大学 東海大学 滋賀医科大 山口大学 鳥取大学
岩手医科大学 琉球大学 他
- 初期研修終了後の研修プログラム：有り（大学病院等の連携プログラム）
- 初期研修終了後の進路：大学病院の医局への入局、当院での専門分野の研修等

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格：医師国家試験受験予定者または医師免許取得者
- 病院見学：随時
- 試験日程：8 月頃
- 採用人数：8 人（予定）
- 採用後の身分：会計年度任用職員
- 給 与：1 年目約 563 万円 2 年目約 687 万円（賞与・諸手当込みの見込み額）
- 諸 手 当：当直・時間外

- 当直回数：月平均 4～5 回
- 当 直 料：1 年目 10,000 円/回 2 年目 15,000 円/回
- 休日・休暇：土日祝日、年末年始、夏季特別休暇（5 日）、年次有給休暇（10 日）
- 社会保険：有（健康保険・厚生年金保険、雇用保険・労災保険）
- 寮・宿舍：有 月額 6,000 円
- 応 募 先：小田原市立病院 経営管理課 経営管理課係

Tel0465-34-3175（内線 3606）Mail keikan@city.odawara.kanagawa.jp

【病院から皆さんへ：プログラム責任者よりメッセージ】

人気が高いのは、救急外来での研修です。1 年目の研修では上級医と一緒に救急車対応を行い、全体的な救急患者の状況把握や対応方法を学びます。2 年目の研修では、ウオークイン対応が主となり、患者さんから問診を直接取ることにより一般外来でのスキルも身に付くようになります。地域の病院でありながら 1 次から 3 次までの救急医療の提供を行っており、臨床経験を積むにあたっては最良の研修場所となっています。

また、厚生労働省で決められた研修プログラム以外は自由選択のため、自分の志に合わせた研修が可能です。積極的に行いたい手技も多くありますが、上級医と相談して技量をあげることも可能です。質問や相談がしやすい環境の提供をこころがけており、生涯わたって活躍できる臨床医を育てることに力を注いでいます。つらい研修より楽しい研修を提供するために、病院全体でがんばっています。新しい情報や知識を得て、ともに成長したいと思う方たちと仕事がしたいと願っています。

病院名：茅ヶ崎市立病院

【病院の概要・特色】 診療体制は27科で、地域の中核病院として他の医療機関と連携しつつ地域医療の向上に努め、救急医療の充実を図り、主に急性期医療を担っている。2011年にはICUを開設して救急医療体制が充実し、2012年に地域医療支援病院に認定され、近隣医療機関との連携強化を図っている。2016年電子カルテを導入、2018年にがん診療連携指定病院にも指定された。2019年に別棟工事が完成し、2020年には本館改修工事も控えており、今後も成長する病院として、病院機能・施設の充実と安心・安全な医療の向上に努めている。湘南の海・富士山が見渡せる穏やかな気候の下にある当院での研修の良い点は、病院がきれいな点、他科に相談しやすく各科の垣根が非常に低い点、コメディカルとの関係のよさ、病院全体で研修医を育てようとする雰囲気があることである。
【病院データ】 ●病 院 長：望月 孝俊 ●病院所在地：〒253-0042 茅ヶ崎市本村5-15-1 ●電 話 番 号：0467-52-1111 ●病院URL：https://hosp.city.chigasaki.kanagawa.jp/ ●ア ク セ ス：JR北茅ヶ崎駅より徒歩約10分、JR茅ヶ崎駅(北口)よりバス約7分 ●病 床 数：401床 ●診 療 科 目：総合内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、代謝内分泌内科、循環器内科、腎臓内科、リウマチ膠原病内科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、乳腺外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、病理診断科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線治療科、放射線診断科、精神科 ●平均外来患者数：約900人/1日 ●平均入院患者数：約300名/1日 ●保育施設の有無：有
【研修データ】 ●プログラムの特徴：地域の中核病院として様々な患者が来院しており、様々な疾患の診断や治療を体験できる。主な特徴は次のとおりである。プライマリ・ケア研修を充実させるため、内科研修は1年次に消化器内科、代謝内分泌内科、脳神経内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、リウマチ膠原病内科を2～3科8週ずつ集中して研修する。さらに1年次に小児科、麻酔科、整形外科を、2年次に外科、産婦人科、精神科、地域医療等を研修する。選択診療科は、選択の自由度が大きく、本人の希望や進路を考慮して1年次からローテーション可能とした。当直を内科系・外科系・産婦人科・小児科で行っており、小児救急にも配慮したプライマリ・ケア研修としている。

2年間を通して、救急医療部での診療の参加及び休日夜間の夜勤・宿日直により、救急医療研修を行う。

●医師数（病院全体）：108人

●指導医数：62人

●研修医数：初期15人（男性6人、女性9人）

●研修医の主な出身大学：横浜市立大学、浜松医科大学、北海道大学、神戸大学、宮崎大学、北里大学、金沢医科大学、大分大学、群馬大学、秋田大学、東海大学、産業医科大学

●専攻医の研修プログラム：有り（内科）

●初期研修終了後の進路：研修医の選択に任せられているが、相談には応じる。

進路例：横浜市立大学附属病院、日本医科大学付属病院、東京医療センターなど

【採用試験要綱及び処遇】

●応募資格：医師国家試験合格者、2021年3月卒業予定者でマッチングプログラム参加者

●病院見学：随時（要事前連絡）

●試験日程：2020年8月～9月の期間に3回実施予定

●採用人数：6人

●採用後の身分：会計年度任用職員（非常勤職員）

●給与（初期1年目、2年目）：1年目 基本給約40万円／月（諸手当込） 賞与あり
2年目 基本給約43万円／月（諸手当込） 賞与あり

●定期昇給：条例等に基づき昇給

●諸手当：条例等に基づき支給 ※給与・賞与・手当各金額は法改正により変更することがあります

●当直回数（初期1年目、2年目）：月3回、当直の他準夜勤や小児科救急研修有り

●当直料（初期1年目、2年目）：約20,000円／月（令和2年1月現在）

●休日・休暇：条例等に基づき付与

●社会保険：有（健康保険、労災保険、雇用保険、厚生年金保険）

●寮・宿舎：有（研修医の家賃の自己負担は無し）

●応募先：病院総務課 総務担当 田崎 七瀬・佐野 真由子

【病院から皆さんへ】

診療科・医師が多く、医局内の交流も盛んで気軽にコンサルトができます。研修医を直接指導する医師も若く、最新のより専門的な知識を吸収することができます。研修医向けの勉強会のほか、院内向け講演会も随時開催されています。BLS（AHA）、ICLS（救急医学会）、緩和ケア研修会も院内で受講することができます。当地は東海道線1本で横浜まで30分、東京まで1時間の便利な地方都市です。「一生に一度は住みたい湘南」と呼ばれる海を望む温暖な地で、医者としての第一歩を踏み出しましょう。

病院名：藤沢湘南台病院

【病院の概要・特色】 一般財団法人同友会は、藤沢湘南台病院（３３０床）として急性期一般病床（２１０床）、ＩＣＵ（８床）地域包括ケア病棟（３０床）、回復期リハビリテーション病棟（３３床）、療養病棟（３０床）、緩和ケア病棟（１９床）を有し、敷地内には介護老人保健施設藤沢ケアセンター、藤沢訪問看護ステーション、居宅介護支援センターがあります。地域の拠点病院として急性期から慢性期、緩和ケアまで個々の患者様の病態に応じた幅広く、質の高い医療を提供しています。先進医療分野におきましては、AI 技術を活用した内視鏡画像診断研究を東京大学と連携して行っております。令和元年５月には手術支援ロボットを導入し泌尿器科、外科を中心に低侵襲で正確性の高い手術を目指しています。
【病院データ】 ●病 院 長：山本 裕司（横浜市立大学 昭和 51 年卒） ●病院所在地：〒252-0802 神奈川県藤沢市高倉 2 3 4 5 ●電 話 番 号：0466-44-1451 ●病院URL：http://www.fj-shonandai.jp/ ●ア ク セ ス：小田急江ノ島線 長後駅 徒歩 8 分 ●病 床 数：330 床（一般急性期 267 床、療養病床 63 床） ●診 療 科 目：内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病代謝内科、緩和ケア内科、神経内科、腎臓内科、総合診療科、外科、消化器外科、肛門外科、呼吸器外科、整形外科、救急科、婦人科、眼科、泌尿器科、形成外科、皮膚科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、病理診断科、リハビリテーション科 ●平均外来患者数：522.4 人／1 日（2018 年度）救急車搬送患者 9.8 人/1 日 ●平均入院患者数：242.8 人／1 日（2018 年度） ●保育施設の有無：院内保育あり
【研修データ】 ●プログラムの特徴： 1）広大な敷地の中に病院、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、居宅介護支援センター、健康増進施設を有し、人間の各ライフステージ別の病態が勉強できます。 2）研修指導は、指導医 1 名に対し研修医 1 名のマンツーマンとし、1 年次には必修科目である内科、救急科、外科 選択必修科目である麻酔科にて初期診療の基礎知識を身につけます。 3）選択科目は 40 週と自由度が高く、当院診療科目の他、藤沢市民病院、横浜医療センターで小児科、産婦人科を、藤沢病院で精神科を、3 次救急は横浜医療センターにて研修を行うことができます。

- 医師数（病院全体）：常勤換算 80.5 人（常勤 73 人）
- 指導医数： 16 人
- 研修医数： 12 人（1 年目 6 人、2 年目 6 人） 他に横浜市大たすき掛け 4 人
- 在籍研修医の主な出身大学：北海道大学、秋田大学、群馬大学、山梨大学、福島県立医科大学、浜松医科大学、信州大学、金沢大学、富山大学、三重大学、大阪医科大学、山口大学、九州大学、久留米大学
- 専攻医の研修プログラム：有り 藤沢湘南台病院総合診療専門医プログラム（3 年間）
- 初期研修終了後の進路：横浜市立大学附属病院関連病院、北里大学病院、聖マリアンナ大学病院、順天堂大学病院、慶應大学病院、新潟大学、東京女子医科大学、昭和大学病院、新東京病院、藤沢湘南台病院など

【採用試験要綱及び処遇】 応募資格：医師国家試験合格者（受験予定者を含む）

- 病院見学：随時
- 試験日程：2020 年 8 月上旬～9 月下旬にかけて 5 日程度、試験日を設定予定
- 採用人数：6 人（予定）
- 採用後の身分：常勤
- 給与：月額／約 30 万円（1 年目）、月額／約 32 万円（2 年目）
- 定期昇給：年 1 回
- 諸手当：住宅・通勤・当直・時間外

当直回数：週 1 回程度、月平均 4～5 回

- 当 直 料：1 回／14000 円（1 年目）、1 回／18000 円（2 年目）
- 休日・休暇：土曜日午後、日曜日、祝日、夏季休暇、有給休暇（1 年目 10 日、2 年目 15 日）
- 社会保険：健康保険、厚生年金 他
- 寮・宿舎：有り（職員寮：月額 35000 円）
- 応 募 先：〒252-0802 神奈川県藤沢市高倉 2 3 4 5 藤沢湘南台病院 総務課 臨床研修
担当 宛て Tel：0466-44-1451 FAX：0466-44-6771 mail：rinken@fj-shounandai.or.jp

【病院から皆さんへ：研修医の声】

当院は 1 学年定員 6 名（+横浜市立大学附属病院たすき掛け 2 名）の少人数プログラムで、初期臨床研修を実施しています。少人数ならではのアットホーム感と雰囲気の良いのが特徴で、研修医の出身大学も北海道から九州まで全国各地から集まっており、研修医同士はもちろん、看護師、医療技術職との関係も良好です。まずは「百聞は一見に如かず」、ぜひ病院見学に来て、ご自身の目で見て確かめてみて下さい。

病院見学は土、日、祝日を除き随時実施しておりますので、病院ホームページ内の研修医サイトの申込みフォームより、お気軽にお問い合わせください。

病院名：湘南藤沢徳洲会病院

【病院の概要・特色】 茅ヶ崎徳洲会総合病院が 2012 年 10 月に新築移転し、「湘南藤沢徳洲会病院」に改称しました。当院は「Generalist」としての基礎を身に付けてから、その先に進むことを重視しています。そのために必要な条件としては 1.Common な病気が数多く見られること。2. 教育・カンファレンスのシステムがしっかりとしていること。3. プライマリーケア・セカンダリーケアが日夜行われていること。4. 救急医療を行っていること。5. 地域に根ざしていること。などが挙げられると思います。 当院では「断らない医療」を実践し 1～3 次の全ての救急を受け入れています。救急車受け入れ件数は年間 9,000～10,000 件、そのファーストタッチのほとんどは初期研修医が行い、指導医のカバーのもと、多種多様な症例を経験することができます。少しハードな研修にはなりますが、研修修了時には必ず自分に力が付いたことを実感できるでしょう。常に患者さまのことを念頭におき、人間愛を持ち、自然に「医療」を実践できるような臨床医こそが、我々の目指す理想像です。そういった理想的な医師を数多く世に送り出すことが、当院の使命と考えています。 国内外を問わず様々なフィールドで活躍する 400 名の OB、OG のサポートがあるのも当院の特徴の一つです。	
【病院データ】 ●病 院 長：宗像 博美（東京慈恵会医科大学 1981 年卒）、福島県出身 ●病院所在地：〒251-0041 藤沢市辻堂神台 1-5-1 ●電 話 番 号：0466-35-1177 ●病院URL：http://shonan-doctor.jp ●ア ク セ ス：JR 東海道線辻堂駅より徒歩 5 分 ●病 床 数：一般急性期 419 床 ●診 療 科 目：内科，腫瘍内科，神経内科，呼吸器内科，消化器内科，腎臓内科，人工透析内科，内分泌糖尿病内科，アレルギー科，循環器内科，肝臓・胆のう・膵臓内科，外科，乳腺外科，呼吸器外科，消化器外科，肛門外科，心臓血管外科，整形外科，脳神経外科，脳血管外科，形成外科，美容外科，小児科，小児外科，皮膚科，泌尿器科，小児泌尿器科，女性泌尿器科，産科，婦人科，眼科，耳鼻咽喉科，リハビリテーション科，放射線科，麻酔科，病理診断科，救急科 ●平均外来患者数：977.7 名 うち救急車 26.9 名 / 1 日 ●平均入院患者数：入院平均 41.0 名 在院平均 376.4 名 / 1 日 ●保育施設の有無：敷地内に専用保育園「かもめ園」あり	
【研修データ】 ●プログラムの特徴： 当院は 1～3 次の救急患者を引き受ける ER を備えており、国内で初めて ACLS を実施・導入した施設でもある。研修医は ER を 1 年次・2 年次の前半・後半に 1 ヶ月ずつローテートする以外にも、2 年間を通じて月 7、8 回程度の夜間 ER 当直を行うことができ、歴史あるローテート研修の実績がある。また、多岐に渡るカンファレンスなどを通して知識を吸収することで、「学び」「経験」「実践」を繰り返すことができ、確かな診療能力を身に付けることができる。 ●医師数（病院全体）：常勤 112 名（男性 91 名、女性 21 名） ●指導医数：40 名（厚生労働省認定臨床研修指導医） ●研修医数：2019 年度 初期 28 名（うち男性 21 名、女性 7 名）、後期 17 名 ●研修医の主な出身大学：北海道地方 7 名、東北地方 3 名、関東地方 18 名（うち横浜市立大学 1 名、聖マリアンナ医科大学 4 名、北里大学 1 名、東海大学 1 名）、中部地方 6 名、近畿地方 9 名、中国地方 9 名、九州沖縄地方 5 名、海外の大学等 1 名（過去 5 年間） ●専攻医の研修プログラム：内科・総合診療、麻酔科（基幹型相当）その他 41 学会認定教育施設 ●初期研修修了後の進路：湘南藤沢徳洲会病院、市中病院、大学病院、留学等、多岐に渡る ●研修スケジュール	



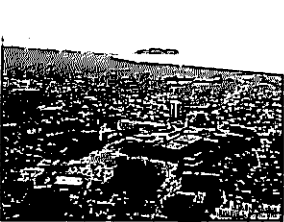
1 年目	4 ヶ月		2 ヶ月	2 ヶ月	2 ヶ月	1 ヶ月	1 ヶ月
	総合診療内科		内科選択	外科	救急	麻酔	産婦
	年 間 を 通 じ た 夜 間 救 急 当 直						
2 年目	2 ヶ月	2 ヶ月	2 ヶ月	1 ヶ月	1 ヶ月	4 ヶ月	
	総合診療内科	救急	地域医療研修	小児	精神	選択科目	
	年 間 を 通 じ た 夜 間 救 急 当 直						

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格：2021 年医師国家試験受験予定者、もしくは既卒マッチング参加者
- 病院見学：随時、半日から 1 ヶ月まで適宜対応（宿舍・食券補助有）
- 試験日程：2020 年 5 月～10 月（日曜日および平日随時・見学时）
- 採用人数：15 名（予定）
- 採用後の身分：常勤医師（初期臨床研修医）
- 給 与：1 年次 平均 720 万円 2 年次 平均 850 万円 / 年（総支給額：賞与年 2 回、手当含む）
- 定期昇給：年 1 回
- 諸 手 当：日直及び宿直手当、診療手当、家族手当、住宅手当
- 当直回数：1 年次 8 回前後 2 年次 7 回前後 / 月
- 当 直 料：1 年次 25,000 円 2 年次 30,000 円 / 回
- 休日休暇：年次有給休暇 14 日間（有休消化率 100%）、病欠・結婚・慶弔休暇別途あり
- 社会保険：厚生年金、健康保険、労災保険、雇用保険
- 寮・宿舍：家賃の半額は病院が負担（上限 50,000 円）、法人契約物件（寮扱い）あり
- 応 募 先：臨床研修センター 福岡（ふくおか）、氏家（うじいえ）、黄川田（きかわだ）
E-mail：shonan-doctor@tokushukai.jp / TEL：0800-888-6201（直通フリーダイヤル）

【病院から皆さんへ：研修医の声】

“ Smooth Sea Never Made a Skillful Sailor ” これは 2018 年春に入職した研修医で作ったスクラ
 ブに刺繍されている言葉です。当院の初期研修は症例のシャワーを浴びることで多くの経験を積んで成
 長していきます。現場では知識は持っているだけでは意味はありません。さらに持っている知識を素早
 く引き出す必要があります。それゆえ初期研修では症例をたくさん経験することは言うまでもなく必要
 不可欠です。ひとつひとつの症例は自己判断するのではなく常に上級医や先輩と情報を共有して、自分
 で考えた方針が正しければその方針で、違うのであればどう考え行動すればよいのかを指導してもら
 うことによって適切な思考回路を身につけることができます。また、働く上で最も重要なのは人間関係と
 言っても過言ではないでしょう。当院では同期はもちろんのこと、先輩後輩さらにはコメディカルとの
 関係も良好で楽しく働くことができます。仕事終わりに同期と一杯飲んでその日の話をして励ましあっ
 たり反省をしたりして気分転換をするとともに意識を高めることができ、とても大切な仲間たちです。
 当院を研修先として選んで本当に良かったと思います。（2018 年度入職初期研修医）



病院名：神奈川県厚生農業協同組合連合会 伊勢原協同病院

【病院の概要や特色】

当院は昭和43年に設立され、湘南西部医療圏の中核病院として成長してきました。平成26年8月に現在の新病院に移転し、病床数350床、29診療科の病院となりました。手術室6室、HCU6床、外来化学療法センター、血液浄化センター、緩和ケア病棟、回復期リハビリ病棟などを備えています。病棟は広い廊下と明るい湘南の陽光が差し込む病室が自慢です。電子カルテ、PACS、電子内視鏡も順調に稼働しています。内科系、外科、整形外科など大きな診療科はもちろん小児、産婦、泌尿器、耳鼻、眼科などマイナーな科も充実しています。伊勢原市の救急車の4割が患者を当院に搬送してきます。年間に手術3,987件、上部内視鏡3,604件、下部内視鏡2,916件を実施しています。緊急では全身CT、MRIを約1時間で検査可能、さらに1時間で放射線科読影が行われます。在籍する医師は、慶應義塾大学、東海大学、北里大学等から赴任しています。

【病院のデータ】

- 病院長名：井上 元保
- 病院の郵便番号・所在地：〒259-1187 神奈川県伊勢原市田中 345
- 病院の電話番号：0463 (94) 2111
- 病院のURL：<http://www.iseharahp.com/>
- 病院への交通手段：小田急線 伊勢原駅北口 徒歩15分
- 病床数：350床
- 診療科目：
内科、呼吸器内科、神経内科、内分泌・糖尿病内科、腎臓内科、血液内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、肛門外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、精神科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、病理診断科、緩和ケア内科、救急科
- 1日平均入院患者数（2018年度）：313.9名 ● 1日平均外来患者数（2018年度）：931.7名
- 保育施設の有無：あり

【研修データ】

- プログラムの特徴：当院での研修の特徴は、病院の規模に対して研修医数を制限したプログラムを提供していることです。研修医がきめ細かい研修を受けることができる環境を目指しているからです。基幹型に加えて協力型プログラムの研修医も在籍しており、異なった背景を持つ研修医が混ざり合い、刺激のある研修環境を経験できます。内科・救急部門・地域医療などの必修科、外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科の選択必修科の診療、研修指導体制が充実しています。また、整形外科をはじめとして外科系各科においても充実した研修が可能です。
- 当院は2次救急指定病院ですが、自院での救急医療の研修に加え、救命救急など3次救急病院として有名な東海大学医学部付属病院または済生会横浜市東部病院へ出向し、研修するプログラムとなっています。また、選択科目は自分の希望にあった領域について、特に配慮されたプログラムを組みます。
- 研修指導のあり方として三つのスローガンがあります。
- 1) **Man to man**：研修医に指導医がいつもついているように。これは指導医の監督下、その下級生が指導にあたる瓦屋根方式も含みます。

2) At the front : 研修医の能力に応じて最前線の現場にどんどん出させる。

3) Tailor made : 研修医の適正, 意欲に応じて独自の研修をしてもらう。

●医師数 (病院全体) : 76 名

●指導医数 : 48 名

●研修医数 (2019 年度 初期 7 名うち男性 7 名、女性 0 名)

●研修医の主な出身大学 : 慶應義塾大、順天堂大、東京女子医大、徳島大、山形大、島根大、東京医大、埼玉医大、東北大、東海大、産業医大、京都府立医大、琉球大、山梨大、帝京大、浜松医科大学、日本医科大、東京医科歯科大、獨協医科大、群馬大学、杏林大学、東京大学、北里大学

●後期研修プログラム : あり

●初期研修修了後の進路 (後期研修医として専門分野の研修または大学院、他の病院へ等)

進路については指導医の出身校である慶應義塾大学、東海大学、北里大学、杏林大学、横浜市立大学などを選ぶことができます。後期臨床研修先として当院の各科を選べる以外に、これら関連大学およびその関連病院を推薦することが可能です。当院での勤務もちろん可能です。

【研修医採用試験要綱並びに処遇】

●応募資格 : 令和 3 年 3 月卒業見込みで医師国家試験受験予定者

令和 2 年 3 月以前の卒業で医師国家試験受験予定者

●病院見学について : 随時

●採用試験日程 : 7 月中旬から 9 月下旬まで (詳細は問合せのこと)

●採用予定人数 : 4 名

●身分 : 常勤職員

●給与 (初期 1 年目、2 年目) : 月額 300,000 円 (1 年次)、月額 350,000 円 (2 年次)

●賞与 (初期 1 年目、2 年目) : 年間 600,000 円 (1 年次)、年間 1,050,000 円 (2 年次)

●当直回数 (初期 1 年目、2 年目) : 4~5 回/月 (1 年次、2 年次問わず)

●当直料 (初期 1 年目、2 年目) : 1 年次 1 回 5,000 円、2 年次 1 回 8,000 円

●社会保険の有無 : あり (健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険)

●宿舍・住宅について : 単身用、世帯用ともに病院契約宿舍有り

(住宅手当 30,000 円支給し差額を自己負担)

●採用試験応募の連絡先 : 総務管理課 臨床研修担当 kenshuu@iseharahp.com

【その他 貴病院のPRなど内容は自由に記載】

指導医と研修医とがマンツーマンで常に行動することを原則として、修得すべき課題を実践・評価し、次の課題へと進むようにします。患者さんへのアプローチも当然この範囲で責任を持って行うことになります。

研修プログラムでは、1 年次は内科 (7 ヶ月)、外科 (2 ヶ月)、救急 (2 次 : 1 ヶ月、3 次 : 2 ヶ月)、2 年次に小児科 (1 ヶ月)、産婦人科 (1 ヶ月)、麻酔科 (2 ヶ月)、地域医療 (1~2 ヶ月)、精神科 (1 ヶ月)、選択科 (5~6 ヶ月) をまわることになります。研修目的はプライマリ・ケアの基礎を修得することにあります。2 年間の研修期間中には偏りのない幅広い範囲の疾患を経験できるでしょう。

医師としてどんなスタートを切れるか、その後に影響の大きいものがあります。人間性を尊重し、高い志を抱いて病院内の一員として積極的な医療参加を期待しています。

病院名：神奈川県立足柄上病院

【病院の特徴】

～臨床医の基本はジェネラルな力～

当院では、神奈川県県西医療圏に属する地域中核病院です。病床数 296 床、災害拠点病院、二次救急指定病院として地域のさまざまなニーズに応えています。診療科の特徴は、総合診療科を中心に内科系の疾患に関しては臓器に偏ることなく、まんべんなく診察できることを理想として、「臨床医はスペシャリストである前にジェネラリストであるべき」という考え方をもとに日々研鑽していることです。地域唯一の基幹病院であるためプライマリ・ケア領域に関しては、幅広い疾患の診療が可能で、入院診療では、診断困難例や多臓器に疾患を持つ高齢者への対応等も日常的に行います。当院の研修では、患者さんのさまざまな社会的背景も把握した上で全人的に診断治療の方針を決められるジェネラルな力を養成することを目指しています。

【病院データ】

- 病 院 長：牧田 浩行
- 病院所在地：〒258-0003 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領 866-1
- 電 話 番 号：0465-83-0351
- 病院URL：<http://ashigarakami.kanagawa-pho.jp/>
- ア ク セ ス：小田急線 新松田駅より徒歩 5 分
- 病 床 数：296 床
- 診 療 科 目：総合診療科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、精神科、外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、産婦人科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科
- 平均外来患者数： 503 人／1 日（2108 年度）
- 平均入院患者数： 221 人／1 日（2018 年度）
- 保育施設の有無： 有（院外）

【研修データ】

- プログラムの特徴 ～経験豊富な指導医がマンツーマン指導～

大学病院のような専門化された中にはない common disease を数多く経験でき医師としての基本領域の研修を充分に行えます。

研修医は各年次 5～6 人で、各科の研修では指導医からマンツーマンで指導を受け、初期臨床研修医が習得すべき基本手技を経験することができるように配慮しています。

一般外来研修では週 1 回以上・年間 6 週以上の実施を目標に、問診からの推断推論を含む基本的な診察能力を獲得することができます。

また、麻酔科を 1 年次に 8 週間の必修研修としており、気管挿管を含む気管及び呼吸管理、急

性期の輸液・輸血療法並びに血行動態管理を十分に経験してもらいます。

1年目に必修科目をほぼ修了し、2年目は沖縄県の宮古島徳州会病院での地域医療研修の他、選択科目として神奈川県立病院群の各専門病院ではより専門的な分野の研修が可能です。

2020年度からは近隣の小田原市立病院が協力病院として加わり、産婦人科・小児科の研修内容をより充実させました。

●医師数（病院全体）：常勤 43 人（男性 38 人、女性 5 人） 非常勤 70 人

●指導医数：13 人

●研修医数：16 人（1年目 6 人、2年目 6 人、初期終了後研修 4 人）（2019 年度）

【採用試験要綱及び処遇】

●応募資格：医師国家試験合格者

●病院見学：随時

●試験日程：お問い合わせください

●採用人数：4 人

●採用後の身分：非常勤職員

●給 与：360,800 円（1年目）、368,600 円（2年目）賞与 年 2 回（4.5 ヶ月）

●定期昇給：年 1 回

●諸 手 当：通勤・当直

●当直回数：月平均 4 回

●当 直 料：1 回 20,000 円

●休日・休暇：土日祝日 年末年始（12/29～1/3）

●社会保険：厚生年金 他

●寮・宿舎：有り

●応 募 先：総務課 清水

mail：simizu.14053@kanagawa-pho.jp

電話：0465-83-0351 FAX：0465-82-5377

【研修医の声】

●当院で研修を受けてよかった点

龍崎研修医（2019 年度）

「大きな病院ではないので、指導医と研修医が近いこと。看護職や他の職種の職員の方にもすぐに名前と顔を覚えてもらえてスムーズに研修がスタートできて良かったなと思っています。高齢の患者さんが多く、認知症の方も少なくないので、コミュニケーションがとり辛いこともあり現場の難しさを実感します。ただ、こうした場面を研修として多く経験することは今後に大きく役立つと思っています。」

栗本 怜実研修医（2019 年度）

「先生方がたくさんのことを教えてくださるし、自分のやる気次第で手技もいろいろやらせてもらえることです。また、当直時は患者さんのファーストタッチは研修医が担当します。必ず上級医がそばに付いてくださり、適宜指導していただくので安心して診療にあたることができます。フィードバックも丁寧にさせていただいて実践したことが身になっていくことが実感できます。」

病院名：東名厚木病院

【病院の概要・特色】

当院は昭和 56 年開設当初より、地域の皆さまに喜んで頂ける医療を目指してきました。救急体制においては、救急車の搬入に関してお断りをしない方針で、厚木市内の救急搬送の半数以上（年間約 5000 台）を受け入れ、海老名、綾瀬、大和市など近隣の救急も受け入れています。また病院の質的向上を目指し、日本医療機能評価機構や卒後臨床研修評価機構、地域医療支援病院の認定など、地域の求めるものに素早く対応すべく病院整備を行ってきました。現在は、がん診療への対策として、放射線治療、外来化学療法、緩和ケア病棟の開設など、がん診療連携指定病院の取得に向けて医療向上に取り組んでいます。

医療は医師のみでできる事ではありません。看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、臨床工学士、栄養士、理学・作業療法士、医師事務作業補助者、病院事務担当など、チームで連携して取り組み、病院がワンチームとなり、少しでも質の高い医療を目指しています。

【病院データ】

●病 院 長：山下 巖（富山医科薬科大学 昭和 60 年卒）

●病院所在地：〒243-8571 神奈川県厚木市船子 232

●電 話 番 号：046-229-1771

●病院URL：<http://www.tomei.or.jp/hospital/>

●ア ク セ ス：小田急線本厚木駅より無料送迎バスあり（詳しくは HP をご参照ください）

●病 床 数： 282 床

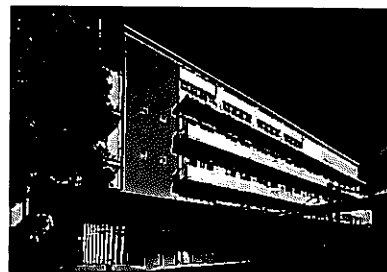
（一般急性期 200 床、ハイケアユニット 8 床、地域包括ケア病床 60 床、緩和ケア病床 14 床）

●診 療 科 目：内科、循環器内科、消化器内科、腎臓代謝内科、糖尿病内科、消化器外科、乳腺外科、血管外科、呼吸器科、脳神経外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、麻酔科、婦人科、眼科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、総合診療科、救急科

●平均外来患者数： 678.6 人／1 日

●平均入院患者数： 217.6 人／1 日

●保育施設の有無：院内、病児、病後児



【研修データ】

●プログラムの特徴：急性期医療と保健予防活動・プライマリ・ケアを基本とし、総合的臨床能力を有する医師の育成を目的としています。2 年間の初期臨床研修プログラムは総合診療方式（スーパーローテーション方式）により内科・救急科・麻酔科・外科・脳神経外科・産婦人科・小児科・精神科・地域医療の各科ローテーションを必須とし、かつ救急当直を並行し、救急医療からプライマリ・ケアを主とした研修をベースに問診・初期診断・初期治療の実際から適切な判断能力を身につけられるようにしています。

【研修スケジュール例】

年次	1～4 週	5～8 週	9～12 週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
1 年次	内科研修24週 (循環器、腎・代謝、消化器、呼吸器)						救急12週 (うち麻酔科 4 週)			外科 8 週		脳外 4週	精神 4週
2 年次	地域 4 週 一般 外来	産科 4 週	小児 4 週	選択40週 (内・脳・外・整・形・麻・泌・救・放 等)									

●医師数（病院全体）： 59 人（男性 46 人、女性 13 人）常勤非常勤含め

●指導医数： 29 人

●研修医数： 12 人（1 年目 5 人、2 年目 7 人、初期終了後研修 2 人）

●研修医の主な出身大学：宮崎大学、富山大学、北里大学、産業医科大学、大分大学、福島県立医科大学、藤田医科大学

●専攻医の研修プログラム：有り 内科、総合診療科

●初期研修終了後の進路：当院で研修・他院で研修

【採用試験要綱及び処遇】

●応募資格：医師国家試験合格者

●病院見学：随時

●試験日程：2020 年 7 月下旬～9 月上旬

●採用人数：6 人

●採用後の身分：常勤

●給 与：400,000 円（1 年目）、450,000 円（2 年目）

●定期昇給：年 1 回

●諸 手 当：住宅・家族・当直・時間外

●当直回数：週 1～2 回、月平均 3～4 回

●当 直 料：1 回 12,000 円（1 年次） 30,000 円（2 年次）

●休日・休暇：土曜午後、日祝日

●社会保険：厚生年金 他

●寮・宿舎：有り（家賃 8 割補助）

●応 募 先：〒243-8571 神奈川県厚木市船子 232

社会医療法人社団 三思会 東名厚木病院 医師事務支援室 担当 深谷 宛て

TEL 046-229-1771 FAX 046-228-0396 mail fukaya@tomei.or.jp

【病院から皆さんへ：研修医の声】

「プログラム責任者より」

研修医の全員が厳しい臨床に向き合いながらも、仲間として楽しく研修を行っています。1年も経つと、臨床医としての能力も身につき頼もしくなっています。ぜひこの空気を、見学を通じて感じてみて下さい。

「研修医の声」

医者人生のスタートとなる研修先選びは、本当に大事なことだと思います。最初の2年間で、今後の自分の医療に対する姿勢のベースが作られます。手を抜きたければそういう病院を選ぶのもありかもしれません。少なくとも当院は違います。自分次第でどんどん学ばせてもらえる環境があるため、大病院でボーッと研修している研修医と大きな差がつけられます。とにかく様々な手技や症例を経験でき、やりがいがあってバランスの良い研修が送れると思います。上級医や研修医同士だけでなく他の医療スタッフとも距離が近く、とても楽しく研修することができ、雰囲気も良いしオススメです。2年間良い研修にするもしないも自分次第です。まずは見学に来てみてください！

病院名：湘南厚木病院

【病院の概要・特色】

湘南厚木病院「断らない医師」育成・研修プログラム

「患者様を断らない」をモットーに、1次～3次救急まで24時間365日、救急・時間外診療を行っており、地域の中核病院としての役割を担っています。また、訪問診療など地域に密着した医療や治験を中心とした未来医療への取り組みを行っています。

【病院データ】

- 病 院 長：黒木 則光（琉球大学卒）、出身：宮崎県
- 病院所在地：〒243-8551 神奈川県厚木市温水 118-1
- 電 話 番 号：046-223-3636
- 病院URL：http://www.shonan-atsugi.jp/
- ア ク セ ス：小田急小田原線「本厚木駅」より徒歩15分（シャトルバスあり）
- 病 床 数：253床（一般急性期 253床、療養病床 0床）
- 診 療 科 目：内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科・神経内科・外科・呼吸器外科・心臓血管外科・消化器外科・乳腺外科・気管食道外科・肛門外科・整形外科・脳神経外科・形成外科・腫瘍外科・小児科・皮膚科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科、リハビリテーション科・放射線科・病理診断科・麻酔科
- 平均外来患者数： 320人／1日
- 平均入院患者数： 180人／1日
- 保育施設の有無： 院内、24時間保育あり

【研修データ】

- プログラムの特徴：Primary CareとEmergency Careをしっかりと身につけ、多くの症例を経験することにより、諸種のケースに対し迅速かつ適切な初期治療そして専門科へのコンサルテーションを行える総合臨床能力を養う。
- 医師数（病院全体）： 43人（男性 36人、女性 7人）常勤非常勤含め
- 指導医数： 11人
- 研修医数： 9人（1年目 4人、2年目 4人、初期終了後研修 1人）
- 研修医の主な出身大学：慶應義塾、高知大学、産業医科、オラデア大学、昭和大学、高神大学、全北大学など
- 専攻医の研修プログラム：連携あり
- 初期研修終了後の進路：希望者は初期研修修了以降、引き続き後期研修に参加できる

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格：医師国家試験合格者、医師免許取得後臨床研修開始予定者
- 病院見学：随時（平日のみ）
- 試験日程：ホームページ参照、その他相談に応じます
- 採用人数： 4 人
- 採用後の身分：常勤
- 給与：約 475 万円（1 年目）、約 720 万円（2 年）賞与・手当等含、賞与年 2 回
- 定期昇給：年 1 回
- 諸 手 当：住宅・家族・通勤・当直手当

- 当直回数：月平均 6～7 回
- 当 直 料：1 回 25,000 円/回（1 年目）、30,000 円/回（2 年目）
- 休日・休暇：土日祝日 （ER 当直担当の場合あり）
- 社会保険：健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
- 寮・宿舎：有り
- 応 募 先：臨床研修センター kensyu@shonan-atsugi.jp または LINE（LINE@gft4487p）

【病院から皆さんへ：研修医の声】

➤ プログラム責任者より（北海道大学卒）

当院は、断らない救急を理念に掲げて診療を行っており、当直業務などは比較的多忙な面はあります。しかし、実践だけでは実力は伸びていきません。若い研修医時代こそ、机上の勉強も大事になってきます。具体的には、毎朝レントゲンや CT の読影、エコーの描出、心電図の読み方などを勉強しています。大変とは思いますが、2 年間続けることで確かな読影力を身に着ける事が可能です。ぜひ一緒に勉強していきましょう。

➤ 1 年次研修医より（産業医科大学卒） [研修を通じて実感したこと]

少人数なので、研修医と、指導医・上級医・コメディカルとの垣根がなく、医師に限らず多職種の方からいろいろ教えてもらえます。研修医を育てようという暖かさを実感しています。是非一度足を運んでみてください。

➤ 初期研修修了生より（北海道大学卒）

研修医数が少ないため手技をする機会はとても多かったです。病院全体で僕を一個人として認識してもらえており、常に声をかけてもらえました。未経験の手技は知識があってもいざ実践でやると怖いものです。知識だけでなく経験もともなった研修は現在も活かされています。

病院名：相模原協同病院

【病院の概要・特色】

相模原市の人口は 70 万人を超え、平成 23 年 4 月には政令指定都市となっています。相模原協同病院は市内医療圏では北里大学病院の次に病床数を有する急性期病院であり、高度な医療提供に努めています。相模原市民の安全を守る病院として年間救急搬送受け入れ台数は 6000 台を超えており、相模原市 2 次救急に欠かせない病院となっております。今後はさらに高度な救急医療に対応できるように 2021 年 1 月を目標に新築移転を計画しています。研修医制度開始以来、当院は常にフルマッチで研修医を迎え入れています。すべての研修医に対して、地域中核病院における医師の基本的診療能力を身につけるとともに全身的人格形成を目指し指導にあたっています。入職された研修医の先生方は今まで一人の脱落者なく研修終了されています。2 年間しっかり臨床を学んで、信頼される医師に育って頂ければと職員一同と考えております。

【病院データ】

- 病 院 長：井關 治和
- 病院所在地：〒252-5188 神奈川県相模原市緑区橋本 2-8-18
- 電 話 番 号：TEL：042-772-4291 FAX：042-771-6709
- 病院URL：<http://www.sagamiharahp.com/>
- ア ク セ ス：JR 横浜線・相模線・京王相模原線 橋本駅南口より徒歩 5 分
- 病 床 数：437 床（一般急性期 431 床、療養病床 6 床）
- 診 療 科 目：消化器内科、消化器外科、乳腺外科、循環器内科、心臓血管外科、腎臓内科、脳神経外科、脳血管内治療科、総合内科、糖尿病・代謝内分泌内科、血液内科、緩和ケア科、呼吸器内科、呼吸器外科、小児科、整形外科、リウマチ科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、麻酔科、放射線科、放射線治療科、検査科、臨床検査科、病理診断科、リハビリテーション科、精神科、救急科、未病・漢方外来、カウンセリング外来、看護師専門外来

【研修データ】

- プログラムの特徴：内科外来の 1 ブースを受け持ち、初診および再診患者の診察に当たります。地域医療ではドクターヘリを使用している佐渡総合病院か訪問診療を行っている沖縄県海邦病院の二病院を選択可能です。当直明けの日勤勤務はありません。
- 医師数（病院全体）：常勤医師 106 人
- 研修医数：20 人（1 年目 10 人、2 年目 10 人、初期終了後研修 11 人）
- 研修医の主な出身大学：特定の大学に偏りはありません。
- 専攻医の研修プログラム：有り（内科専門医、循環器内科、消化器外科）
- 初期研修終了後の進路：大学病院、市中病院、当院、大学院、様々です。

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格：医師国家試験合格者
- 病院見学：随時
- 試験日程：2021 年 8 月（詳細未定、2－3 回程度を予定）
- 採用人数：10 人予定
- 採用後の身分：常勤
- 給 与：30 万円（1 年目）、35 万円（2 年目）賞与 年 2 回（1 年目 60 万、2 年目 105 万）
- 定期昇給：年 1 回
- 諸 手 当：住宅・家族・通勤・当直・時間外あり。

- 当直回数：週 1 回、月平均 4-5 回
- 当 直 料：1 回 1 年目 13000 円、2 年目 18000 円
- 休日・休暇：日祝日、第三土曜日
- 社会保険：厚生年金 他
- 寮・宿舍：なし（住宅手当 3 万支給あり）
- 応 募 先：〒252-5188 神奈川県相模原市緑区橋本 2-8-18

総務管理課 山本 宛 メールアドレス：yamamoto-r@kanagawa.kouseiren.net

【病院から皆さんへ：研修医の声】

- ・各科の垣根はなく研修医であっても気楽にコンサルテーションしやすい雰囲気があります。
- ・研修医部屋は独立しているため、上級医の目を気にせず休憩することができます。
- ・二次救急当直では研修医が主体となって初療から診断治療に至るまで一人の医師として活躍できます。
- ・新病院移転が決定しているため、入職後は真新しい病院での研修ができます。
- ・卒後に後期研修医として活躍される先生も多く相談しやすい環境があります。
- ・毎月、研修医と院長間で話し合いの場があり色々相談しやすい雰囲気があります。
- ・当直明けは連続勤務せず帰宅できます。
- ・中心静脈穿刺、腹水穿刺、胸腔穿刺、超音波、心肺蘇生など研修医が求められる手技に関しては数多く経験出ます。
- ・発表者であれば何回でも病院が出張費を支払ってくれます。
- ・BLS、ACLS 受講にかかる費用も全額負担してもらえます。

病院名：独立行政法人国立病院機構相模原病院

【病院の概要・特色】 当院は、神奈川県北部、人口 72 万人を抱える政令指定都市である相模原市南部の中核病院として位置しております。昭和 13 年 4 月に設立された臨時東京第三陸軍病院を前身とし、現在は我が国の政策医療における免疫異常疾患（リウマチ、アレルギー）分野での高度専門医療施設（準ナショナルセンター）として指導的役割を果たしており、小児や成人の気管支喘息、食物アレルギー、関節リウマチの患者数は本邦有数です。また、併設の臨床研究センターでは、診療に直結した研究が活発的に行われ、多くの学会発表や論文を通じて、情報の発信を行っております。平成 27 年 12 月に施行されたアレルギー疾患対策基本法において、当院は国立成育医療研究センターとともにアレルギー疾患の中心拠点病院として認定されました。同時に 29 診療科を有する総合医療施設として隣接医療施設との連携による地域完結型の医療を目指す地域医療支援病院としての役割も担っています。「がん、成育、精神」医療に関する専門医療施設にも指定されており、手術件数も昨年は内視鏡手術を中心に約 4,000 件となりました。また救急科を中心に 2 次救急にも対応して、年間約 5,000 台の救急車を受け入れております。 診療以外にも、病院を挙げて納涼祭を開催し、職員だけではなく毎年約 2,500 人を越える地域住民の参加もあり、地域とのつながりを深めています。
--

【病院データ】 ●病 院 長：金田 悟郎（北里大学卒）・東京都出身 ●病院所在地：〒252-0392 神奈川県相模原市南区桜台 18-1 ●病院の電話番号：042-742-8311 ●病院URL：https://sagamihara.hosp.go.jp/ ●ア ク セ ス：小田急小田原線 小田急相模原駅 徒歩 15 分 ●病 床 数：458 床（一般急性期 458 床、療養病床 0 床） ●診 療 科 目：内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腫瘍内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、形成外科、美容外科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、乳腺外科、救急科（29 科） ●平均外来患者数：約 916.2 人／1 日 ●平均入院患者数：約 342.6 人／1 日 ●保育施設の有無：院内保育園有り

【研修データ】

●プログラムの特徴：病床数（458 床）に対し研修医が少数（8 名）であるため、多くの症例、手技が経験できます。市中病院ならではのプライマリーケアの研修も可能であるとともに、免疫異常分野の高度医療施設として小児や成人のアレルギーやリウマチの症例数が豊富です。

●医師数（病院全体）：147 人（男性 112 人、女性 35 人）常勤・非常勤含む

●指導医数：30 人

●研修医数：14 人（1 年目 7 人、2 年目 7 人）※令和 2 年度 1 年次研修医は 8 名（予定）

●研修医の主な出身大学：

1 年次研修医—獨協医大、産業医大、埼玉医大、東北大、東海大、新潟大、信州大

2 年次研修医—岡山大学、産業医大、順天堂大、聖マリアンナ医大、東海大、新潟大

●初期研修終了後の研修プログラム：有（内科が新専門医制度プログラムに参加）

●初期研修終了後の進路：

今年度は初期研修修了予定 7 名中 3 名が当院内科（リウマチ科、アレルギー科、脳内科）で新専門医制度専攻予定

●今年度マッチング情報

受験者数 19 名—合格 8 名（フルマッチ）；男女比=5：3

（産業医大：2 名、日本医大：2 名、北里大、慈恵医大、東京医大、宮崎大）

【採用試験要綱及び処遇】

●応募資格：

1. マッチングプログラム参加者
2. 令和 2 年度医師国家試験に絶対合格できる方
3. きちんと相手の目を見て挨拶のできる方
4. 医師を目指した志を忘れず、一生懸命に研修できる方
5. 人の話に耳を傾けることができる方
6. ある程度の一般常識のある方
7. チーム医療が可能な程度の協調性がある方
8. 事前の病院見学（必須）にて相模原病院を好きになってくれる方

●病院見学：随時（メールでご連絡ください。）

担当）井上準人 <inoue.hayato.hk@mail.hosp.go.jp>

●試験日程：決定次第病院HPにて公表

●採用人数：8 人（予定）

●採用後の身分：非常勤職員

●給 与：時給 2,500 円（1 年次・2 年次共通）、賞与なし

※月 20 日勤務と仮定した場合の基本給目安（週 30 時間勤務）

300,000 円（1 年目）、300,000 円（2 年目）

上記に加えて通勤、超過勤務、宿日直等手当あり

- 定期昇給：非常勤職員はなし
- 諸 手 当：通勤・超過勤務・宿日直等
- 当直回数：週 1 回、月平均 4 回（二次救急応需）
- 休日・休暇：土・日・祝日
- 社会保険：政府管掌保険、厚生年金保険、雇用保険に加入
- 学会参加：年 2 回まで旅費支給
- 寮・宿舎：有り
- 応募先：〒252-0392 神奈川県相模原市南区桜台 18-1

独立行政法人国立病院機構相模原病院

事務部管理課給与係長 宛

電話：042-742-8311

FAX：042-742-5314

メール：nakada.yoshihiro.jx@mail.hosp.go.jp

【病院から皆さんへ】

国立病院機構グループでは“良質な医師を育てる研修”を企画して、研修医をサポートしています。相模原病院の初期研修医も積極的に参加しています。その感想文をお読みください。

【センスとスキルを身につけろ！未来を拓く消化器内科セミナー】に参加して

今回、函館病院で行われた上記セミナーに参加して、消化器の画像診断や内視鏡診断・内視鏡の操作方法など多くの事を学ぶことが出来ました。講義も充実しており、普段あまり遭遇しない疾患についても復習することが出来ました。消化器の画像診断についてはあらかじめ演習問題として資料が配布され、予習を通じて知識をより確かなものに定着させることが出来ました。腹部救急疾患・肝臓・胆膵と項目も分かれていたため理解しやすかったです。

内視鏡ハンズオンは、当院で消化器内科を研修した際に実際の内視鏡に接して【箱胃くん】で練習していたこともあり、少し物足りなさもありましたが、初めて実物を触る方には内視鏡の凄さや楽しさを知る良い機会となったと思います。

2 日目には、内視鏡所見の画像やCT画像との対比などをわかりやすく講義して頂き、特に腹部救急疾患の画像所見など、将来何科を専攻するにしても必要となる知識が満載でとても勉強になりました。

今後も数多くの初期研修医に参加してほしいセミナーであると感じました。

病院名：北里大学病院

【病院の概要や特色】

職員全員が医療の質の向上と安全な医療を目指して、臨床教育に全力で取り組んでいる病院です。開設以来「患者中心の医療」をテーマに掲げ、「共に創り出す医療」



を合言葉に求められる医療を考え、あるべき医療を創っています。本院は、高度先端的な医療を実践しながら、地域医療を支える市民病院的役割を担っています。平成 26 年 5 月には、新大学病院が開院し設備面での向上が図られました。また、平成 29 年 9 月に、新病院に隣接して臨床教育研究棟が新設され研修医に対する教育環境を整備して、新しい時代を担う人材の育成を進めています。

【病院のデータ】

- 病 院 長：岩村 正嗣（北里大学 1983 年卒）出身 鳥取県
- 病院所在地：〒228-8555 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1
- 電話番号：042-778-7830
- 病院URL：<http://www.kitasato-u.ac.jp/khp/>
- アクセス：小田急線相模大野駅より神奈川中央交通バスで約 20 分
- 病床数：1033床
- 診療科目：消化器内科、内分泌代謝内科、循環器内科、脳神経内科、膠原病感染内科、呼吸器内科、腎臓内科、血液内科、精神神経科、皮膚科、放射線治療科、放射線診断科、上部消化管外科、下部消化管外科、一般・小児・肝胆膵外科、乳腺・甲状腺外科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科・美容外科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、眼科、泌尿器科、産科、婦人科、小児科、麻酔科、臨床検査部、病院病理部、救命救急・災害医療センター、総合診療部
- 平均入院患者数：944名／日（2018 年度）
- 平均外来患者数：2,245名／日（2018 年度）
- 保育施設の有無：保育施設有り。病児保育有り（院内）

【研修データ】

●プログラムの特徴：1 年次に地域研修以外の必修科での研修を主体的に行い、2 年次の選択肢の自由度を上げて、研修医のニーズにマッチした多様なプログラムを組むことが出来るように配慮しています。また、病院群は他大学病院さらには国立病院機構相模原病院や平塚共済病院等の市中病院を協力型臨床研修病院として構成して、たすき掛け研修も可能としています。なお、必修の地域医療研修では、大学病院では経験できないプライマリケアを実践する場として、沖縄や長崎県の離島をはじめ、新潟、長崎などで地域の中核となる市中病院など、全国に多数の臨床研修協力施設をもち、幅広い研修の選択肢を提供しています。

- 医師数（病院全体） 784名
- 指導医数 197名（指導医講習会受講者）
- 研修医数（2019年度 1年次 38名のうち男性24名、女性14名）
（2019年度 2年次 40名のうち男性25名、女性15名）
- 研修医の主な出身大学： 北里大学、金沢医科大学、昭和大学、島根大学、東海大学、杏林大学、聖マリアンナ医科大学、富山大学、北海道大学、埼玉医科大学、帝京大学
- 後期専門医研修プログラム：有り
内科、小児科、皮膚科、精神科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、病理、臨床検査、救急科、形成外科、総合診療
- 初期研修修了後の進路：
大半が北里大学病院の後期研修医（専攻医）として専門分野での研修を行っている

【研修医採用試験要綱並びに処遇】

- 応募資格：第115回医師国家試験受験予定者で、医師臨床研修マッチング協議会が実施するマッチングシステムに参加登録する者
- 病院見学：随時受け付けておりますのでお気軽にご連絡ください。
- 試験日程：2020年7月並びに2020年8月予定
- 採用人数：63名（予定）
- 採用後の身分：専任職員（正職員）
- 給与（2019年度）：1年次 214,600円/月、2年次 223,400円/月
- 諸手当：時間外手当、住宅手当、扶養手当、通勤手当
- 当直回数：平均4回/月
- 当直料：8,600円/回
＊救命救急・災害医療センターでの研修中は、別途50,000円の手当支給有り
- 休日・休暇：日曜日、祝祭日、第2・4土曜日、年末年始（12/29～1/3）
特別休暇（夏期特別休暇、婚姻休暇、配偶者出産休暇等）
- 社会保険：私学共済
- 寮・宿舎：病院の近くに宿舎あり。
- 応募先：臨床研修センター ☎042-778-7830 mail: kenkanri@kitasato-u.ac.jp

【その他】

急性期疾患を含めて症例数が大変豊富なので、初期研修に欠かせない様々な臨床手技や徴候、疾患等を効率的に経験することが可能です。なお、北里大学病院は病床数に比し指導医の数が多いのが特徴で、きめ細かな上級医の指導のもとで研修を行うことができます。平成29年度に新たに完成した臨床教育研究棟内には、初期研修医のための居室、仮眠室、シャワールーム等のアメニティの充実化に加えて、スキルスラボの整備拡充が行われました。これらの満ち足りた研修環境のもとで医師としてスタートしませんか？

臨床研修病院ガイド

17施設

病院名：国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院

【病院の概要や特色】

当院は、横浜市の南部地域における基幹病院としての高度な医療設備を備え、患者サービスの向上に努めています。

「患者さんの立場に立った思いやりのある医療」の提供を目指し、急性期型医療の提供や、24時間の救急医療体制を実施し、地域医療の中心的役割を果たしています。

【病院のデータ】

- 病院長名：長岡 章平
- 病院の郵便番号・所在地：〒236-0037 横浜市金沢区六浦東 1-21-1
- 病院の電話番号：045-782-2101
- 病院のURL：<http://www.minamikyousai.jp>
- 病院への交通手段：京浜急行 追浜（おっぱま）駅より徒歩7分
- 病床数：565床
- 診療科目：（標ぼう科目）内科・精神科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・血液内科・代謝内科・内分泌内科・腎臓内科・脳神経内科・アレルギー科・リウマチ科・小児科・外科・消化器外科・乳腺外科・呼吸器外科・整形外科・形成外科・美容外科・脳神経外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・リハビリテーション科・放射線科・歯科口腔外科・麻酔科・病理診断科・救急科
- 1日平均入院患者数（2018年度）：514.2名
- 1日平均外来患者数（2018年度）：1436.1名
- 保育施設の有無：あり

【研修データ】

- プログラムの特徴：
当院での研修の特色は、入院・外来ともに患者数が豊富で、ほとんどすべての疾患、病態を経験できること、更に救急診療にも力を入れており、各診療科の救急患者を経験できることです。また、数多くの学会の認定教育施設になっており、先端的な高度医療に触れることも可能です。また、希望研修科を選択できる期間も多くとっております。選択の地域医療研修として、協力施設である宮古島徳洲会病院に毎年6名ほど派遣しております。
- 医師数（病院全体）：189名（研修医含む）
- 指導医数：56名
- 研修医数（2019年度 初期 16名うち男性 10名、女性 6名）
- 研修医の主な出身大学：横浜市立大学 等多数
- 初期研修修了後の進路：当院または他院
- 専門医研修プログラム：内科

【研修医採用試験要綱並びに処遇】

- 応募資格：当院研修プログラムでの研修を希望し、医師国家試験に合格する見込みの者又は合格している者
- 病院見学について：ホームページ、電話にて申し込み可
- 採用試験日程：2020 年度試験 ⇒未定
- 採用予定人数：8 名
- 身分：病院職員
- 給与：1 年目 262,700 円・2 年目 277,800 円
- 当直回数：1・2 年とも月 4～5 回
- 当直料：1 年目 20,000 円・2 年目 40,000 円
- 社会保険の有無：あり
- 宿舎・住宅について：研修医宿舎あり
- 採用試験応募の連絡先：総務課

【その他 貴病院のPRなど内容は自由に記載】

例) 研修スケジュールやプログラム責任者・指導医からのコメントなど・・・

基幹型の研修指定病院として三十余年。最初からスーパーローテーション方式を採用し、臨床研修指導医講習会受講医（56 名）が中心となって研修システムを作り、多くの研修修了医師を輩出してきました。当院の研修システムは研修を修了していく先輩たちの意見を取り入れながら、毎年毎年進化しているのが特徴です。私達の研修システムの進化の 1 ページを開いてくれる積極的な学生諸君をお待ちしています。

病院名：社会福祉法人 恩賜財団 済生会横浜市南部病院

【病院の概要や特色】

当院は横浜市と済生会が共同で建設し、運営は済生会が行っております。横浜市立大、慶應大、東邦大の各医学部からの医師で発足し、現在も学閥にこだわらない新しいアカデミックな病院であり横浜市南部地域の地域中核病院として 6 区約 100 万人を対象とした救急医療、高度先進医療、症例の豊富さが特徴です。現在では「福祉医療相談室」、「済生会南部訪問看護ステーション」「横浜市港南台地域ケアプラザ」の運営などを通して福祉医療の推進に努める一方、地域医療支援病院、地域周産期母子医療センター、小児拠点病院、臨床研修病院、看護師養成実習病院としての役割にも重点を置いています。各学会の認定医、専門医の教育指定病院として学究活動にも力をそそいでいます。初期研修医にとっては、カテーテル治療を積極的に取り組んでいることや手術件数の多さ、常勤の救急専門医がいること、高性能 CT、リニアックが導入されていることなど魅力ある病院です。

【病院のデータ】

- 病院長名：竹林 茂生
- 病院の郵便番号・所在地：〒234-0054・横浜市港南区港南台 3-2-10
- 病院の電話番号：045-832-1111
- 病院のURL：<http://www.nanbu.saiseikai.or.jp>
- 病院への交通手段：JR 京浜東北根岸線 港南台駅より徒歩 3 分
- 病床数：500 床
- 診療科目：診療科（29 科）

総合内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓高血圧内科、糖尿病・内分泌内科、神経内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、循環器内科、精神科、小児科・新生児内科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、形成外科、救急診療科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科、緩和医療科

- 1 日平均入院患者数（2018 年度）：463 名／日
- 1 日平均外来患者数（2018 年度）：1,042 名／日
- 救急車搬送患者数（2018 年度）：23.1 名／日
- 救急外来患者（2018 年度）：56.2 名／日
- 心肺停止状態搬送患者（2018 年度）：257.0 名／年
- 保育施設の有無：有

【研修データ】

- プログラムの特徴：
1 年次はまずオリエンテーションで「医療安全」「感染対策」「医療倫理」「接遇」「災害訓練」

「静脈注射」「採血」「薬剤処方」「電子カルテの操作」「図書・文献の利用方法」など、実際の診療を開始するうえで必要な研修項目を全研修医がともに研修します。

ローテーションは、原則内科を6か月、救急診療科を2か月、必修研修（外科、小児科、麻酔科、産婦人科）を1か月ずつ研修します。新たに始まる外来研修は、初診、慢性疾患を中心に1年次の内科、外科、小児科ローテーション時に主に研修します。

2年次は地域医療研修を1か月、救急診療科を1か月、精神科（外部施設：施設により1年次後半以降研修可能）を1か月必修項目として研修し、残りの期間は自由に選択した科目を研修します。また東邦大学医学部の3つの病院（大森、大橋、佐倉）とは双方のプログラムを研修できる関係になっています。なお、済生会横浜市東部病院では救急科（高度救命救急センター 外来／病棟）の研修も選択できます。

●医師数（病院全体）145名

●指導医数 100名

●研修医数（2019年度 初期19名うち男性13名、女性8名）

●研修医の主な出身大学 横浜市立大学、東邦大学、東海大学、浜松医科大学、産業医科大学、東京慈恵会医科大学、山形大学、日本大学、島根大学、慶應義塾大学、帝京大学、日本医科大学、福島県立医科大学、秋田大学、新潟大学、名古屋市立大学、金沢大学、東京医科大学、聖マリアンナ医科大学、札幌医科大学、北海道大学、杏林大学、金沢医科大学、山口大学、筑波大学、滋賀医科大学、信州大学、東京医科歯科大学、岡山大学、琉球大学、長崎大学、群馬大学、岐阜大学、東北大学、熊本大学、旭川医科大学（順不同）

●専攻（後期）研修プログラム（あり）内科専門研修プログラム、外科専門研修プログラム

●初期研修修了後の進路（専攻研修医として専門分野の研修または大学院、他の病院へ）

【研修医採用試験要綱並びに処遇】

●応募資格：2020年度 医師国家資格取得見込で研修医マッチングへ参加している者

●病院見学について：病院見学は毎週火・木・金曜日に受け付けております。（4月及び休診日を除く）見学可能な診療科は曜日によって異なります。詳細は当院ホームページをご確認ください。

●採用試験日程：決定次第、当院ホームページにてお知らせします

●採用予定人数：11名

●身分：常勤嘱託員（アルバイト禁止）

●給与（初期1年目、2年目）：310,000円

●当直回数（初期1年目、2年目）：1年次3～4回、2年次5～6回

●当直料（初期1年目、2年目）：1年次6,500円／2年次13,000円

●休暇・有給休暇等：第2、4、5土曜日・日・祝日、年末年始、有給初年度11日（時間単位で取得可能）、健康促進休暇6日（通年取得可能）

●社会保険の有無：有

●宿舍・住宅について：有

●採用試験応募の連絡先：人材開発室 廣川 電話 045-832-1111												
メール kenshuui@nanbu.saiseikai.or.jp												
【その他：臨床研修スケジュール（例）】												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科 救急 小児科 産婦人科 外科 麻酔科											
2年次	地域医療	救急	精神科	自由選択								

- ※ 精神科研修は外部施設にて研修を行う（1年次後半から精神科研修の場合あり。）
- ※ 内科研修は、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、血液内科、腎臓高血圧内科、糖尿病内分泌内科、循環器内科、リウマチ膠原病内科の中から選択可能。
- ※ 必修科目のうち、麻酔科は当院独自の必修科目。
- ※ 院内ローテーション履修管理は、月単位で行う予定。

病院名：横浜労災病院

【病院の概要・特色】

当院は、横浜市北東部医療圏の地域中核病院として、平成3年に開設された市内でも有数の規模と実績のある病院です。母体は独立行政法人労働者健康安全機構で、全国34の労災病院を有し、当院はその中でもリーディングホスピタルとして、患者さんの立場に立った医療、患者さんの満足度を高め、安心していただける医療を実践しており、急性期の高度医療を提供するとともに、地域医療面では、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、小児救急医療拠点病院、救命救急センター、災害拠点病院、DMAT指定病院、小児救急医療拠点病院の指定を受け、地域中核病院として重要な役割を果たしています。また、ガンマナイフによる治療など高度かつ先進的な医療の提供にも努めており、内視鏡手術支援ロボットや高精度放射線治療装置を導入し、地域中核病院としての役割を一層高めています。

【病院データ】

- 病 院 長：梅村 敏（横浜市立大学1975年卒）、出身 神奈川県
- 病院所在地：〒222-0036 横浜市港北区小机町3211
- 電 話 番 号：044-474-8111
- 病院URL：<https://www.yokohamah.johas.go.jp/>
- ア ク セ ス：JR 東海道新幹線・横浜線 新横浜駅 徒歩10分、市営地下鉄新横浜駅徒歩7分
- 病 床 数：650床
- 診 療 科 目：内科 血液内科 糖尿病内科 代謝内科 内分泌内科 腎臓内科 腫瘍内科 リウマチ科 精神科 心療内科 神経内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 小児科 新生児内科 外科 乳腺外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 呼吸器外科 心臓血管外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線治療科 放射線診断科 麻酔科 臨床検査科 病理診断科 救急科 歯科/歯科口腔外科
- 平均外来患者数：（2019年1月～12月）： 1,862.7 人/日
- 平均入院患者数：（2019年1月～12月）： 534.1 人/日
- 保育施設の有無：院内に有り

【研修データ】

- プログラムの特徴：当院の初期臨床研修プログラムは、医師臨床研修省令の基本理念にのっとり、医師に共通して求められている基礎的知識、技術、態度などの修得できるように、各診療科を総合的にローテートする。全科ローテート研修方式を採用しており、内科系コース・外科系コースなどあらかじめ進路を決める必要はなく、臨床研修を行う分野を自由に選べる「選択科目」を多くとれるように配慮されている。また、救急対応などから各専門医療まで幅広く、数多くの症例を経験できる。
- 医師数（病院全体）：267 人（男性 190 人、女性 77 人）常勤非常勤含め
- 指導医数：103 名（臨床研修指導医講習会受講者）
- 研修医数：36 人（1年目19人、2年目17人（たすきがけ研修医6人含む。））
- 研修医の主な出身大学：全国から応募があります。横浜市立大学、東京大学、慶応義塾大学、千葉大学、福島県立医科大、熊本大学、東北大学、日本医科大学、群馬大学、山梨大学等
- 専攻医の研修プログラム：有り：内科領域、小児科領域、救急科領域、整形外科領域
- 初期研修終了後の進路：横浜労災病院、横浜市立大学・東京大学他市中病院

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格：医師国家試験合格者および当該年度末に合格予定の者
- 病院見学：随時
- 試験日程：7月下旬及び8月上旬に予定。詳細は決定後にホームページに掲載。
- 採用人数：15人予定
- 採用後の身分：常勤嘱託職員
- 給与：270,000円（1年目）、300,000円（2年目）、一時金年2回
- 定期昇給：年1回
- 諸手当：通勤・当直・時間外等

- 当直回数：週1回、月平均4回
- 当直料：1回21,000円
- 休日・休暇：土日祝日（週休2日制）、年末年始（12月29日～1月3日）、夏季休暇
- 社会保険：健康保険・雇用保険・厚生年金・労災保険・確定給付企業年金・確定拠出年金
- 寮・宿舍：有り 単身用 15,000円／月 世帯用 35,000円／月
- 応募先：横浜労災病院 医師臨床研修センター 電話：045-474-8111（内線8910）
URL：http://www.yokohamah.johas.go.jp/clinical_training/
Mail：kenshu-jimu@yokohamah.johas.go.jp

【病院から皆さんへ：研修医の声】

指導医からのコメント：当院では基本的に指導医とのマンツーマン方式で、患者さんの診療をしていただきます。検査や手術手技を遠巻きに見学するのではなく、短時間であっても医局員の1人として実践臨床の場で実践部隊として活躍し、医師になった喜びと同時に責任を感じて欲しいと思っております。

研修医からのコメント：当院の研修を特徴づけるのは、非常に充実したER研修でしょう。当院では常に救急科の先生がついて、どの科の疾患に対しても質の高い初期対応を学ぶことができます。コンサルテーションもしやすく、自分の考えた方針に対して必ずフィードバックが来る環境の為、考え方を学ぶことができます。また、当院はUpToDateやPubMedなど、自分で学習するためのツールも充実しており、特にUpToDateに関しては最近、院内のアカウントで院外でも閲覧することができるようになり、このような恵まれた環境は、他の病院を見てもなかなか無いと思います。また、当院ではあるテーマに関して研修医が準備し、研修医に対して発表する「レジデントカンファレンス」に代表されるよう、研修医間で学び合う姿勢もあります。それぞれ志を持った仲間と話し合うことで刺激を受けることができます。研修医になると、学生時代とは違い、受け身ではなく自分から積極的に求める姿勢が大切です。当院はそのような姿勢に応えてもらえる環境だと思います。ぜひ一度見学にいらして当院の雰囲気を感じ取ってみてください！

病院名：済生会横浜市東部病院

【病院の概要・特色】

2007 年 3 月に開院した横浜市東部医療圏の地域中核病院（562 床）です。

医療と福祉の連携をめざす済生会の理念のもと、社会福祉法人として患者中心の良質な医療の提供をめざす他、医療を通じて何よりも大切な生命を守りたいと考えています。診療機能の特徴としては、がん、心疾患等に関する高度で専門的な医療の提供、疾患別センターによる職種を超えたチーム医療の提供を進める他、救命救急（1～3 次）、小児救急、精神科救急等の医療を担います。

【病院データ】

- 病 院 長：三角 隆彦
- 病院所在地：〒230-0012 横浜市鶴見区下末吉 3-6-1
- 電 話 番 号：045-576-3000
- 病院URL：<http://www.tobu.saiseikai.or.jp/>
- ア ク セ ス：JR・京急鶴見駅からバス 15 分、JR 川崎駅からバス 15 分、JR 南武線 尻手駅から徒歩 18 分
- 病 床 数：562 床
- 診 療 科 目：消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、脳血管・神経内科、糖尿病・内分泌内科、循環器内科、総合内科、消化器外科、呼吸器外科、血管外科、乳腺外科、脳神経外科・脳血管内治療科、心臓血管外科、泌尿器科、整形外科、救急科、小児科・新生児科、産婦人科、精神科、麻酔科、集中治療科、眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、病理科
- 平均外来患者数：1,120 人／1 日（2018 年度実績）
- 平均入院患者数：518 人／1 日（2018 年度実績）
- 保育施設の有無：あり

【研修データ】

- プログラムの特徴：初期研修は、将来いかなる領域を専門とするにしても医師である以上修得しておくべきプライマリ・ケアのできる臨床医の育成を基本目標にします。
- 医師数（病院全体）： 246 人（2020 年 1 月現在）
- 指導医数： 85 人（指導医講習会受講者）
- 研修医数： 19 人（1 年目 10 人、2 年目 9 人）
- 研修医の主な出身大学：慶應大学、東京女子医科大学、東邦大学、日本医科大学、東京女子医科大学、東北大学、北里大学、日本大学、杏林大学、筑波大学、鹿児島大学など
- 専攻医の研修プログラム：有り（基幹プログラム；内科、外科、救急科、小児科、麻酔科、

総合診療科、精神科)

●初期研修終了後の進路：当院や大学附属病院で専門研修を行うことが多い。

【採用試験要綱及び処遇】

●応募資格：医師国家試験合格見込みの者、または免許取得1年未満の者

●病院見学：随時

●試験日程：8月～9月（詳細はホームページ参照）

●採用人数：10人

●採用後の身分：常勤嘱託

●給 与：1年目 月額40万円 ～／2年目 月額45万円～（諸手当含む・賞与なし）

●諸 手 当：住宅・通勤・時間外手当

●当直回数：月平均4～5回

●当 直 料：時間外手当として支給

●休日・休暇：土日祝日、リフレッシュ休暇、年末年始休暇、創立記念日（振替）

有給休暇（1年次 11日、2年次 12日）

●社会保険：有

●寮・宿舎：単身者用のみ、ワンルームマンション、築浅、自己負担35,000円

●応 募 先：初期臨床研修医室：

TEL 045-576-3000/ FAX 045-576-3586 mail: kenshu@tobu.saiseikai.or.jp

◆研修医からのコメント

- ・1次から3次救急まで、ファーストタッチは指導医のもと研修医が率先して行い、症例数や手技に携わる機会がとても多いです！またER当直明けには毎日指導医によるフィードバックがあります！
- ・地域医療の研修先は、近隣の病院以外に福井県の山間にある名田庄診療所、沖縄県立宮古病院から選択でき、東部病院では経験できない慢性期医療、訪問診療の研修を経験できます！
- ・看護師やメディカルレベルが非常に高く、医師以外からの指導も多く勉強になります！
- ・希望診療科は選択の幅が広く、2年目のローテーションも研修医自らが組み立てています！

◆担当事務から

見学の学生さんから、レベルの高い救命救急センターや研修医が率先して手技に携われる現場を見られること、また研修医室の雰囲気や研修医同士の仲が良いなどの感想を多く頂いています。是非一度、見学にいらしてください。お待ちしております！

病院名：けいゆう病院

【病院の概要・特色】

当院は地域の第一線の急性期病院であり、地域の中核病院、また神奈川県警の職域病院として機能している。病床数 410 床、診療科目 32 科の総合病院で、神奈川県二次救急病院に指定されている。疾患領域は偏ることなく、各科で多岐にわたり症例数は豊富である。急性疾患のプライマリケアから慢性疾患管理にいたる診療を行っている。

産科の分娩は年間 1200 件を超え県内でもトップクラスに位置し、手術件数は約 1,000 件と幅広い治療を行ない腹腔鏡手術・腔式手術など積極的に取り入れている。

【病院データ】

- 病 院 長：藤井 芳明
- 病院所在地：〒220-8521 横浜市西区みなとみらい 3-7-3
- 電 話 番 号：045-221-8181
- 病院URL：<http://keiyu-hospital.com>
- ア ク セ ス：みなとみらい線みなとみらい駅 徒歩 3 分
- 病 床 数： 410 床（一般急性期 410 床、療養病床 床）
- 診 療 科 目： 32 科
- 平均外来患者数： 1223 人／1 日
- 平均入院患者数： 316.9 人／1 日
- 保育施設の有無：院内、院外、病児、病後児

【研修データ】

●プログラムの特徴：1 年度は内科・外科・救急科を基本研修科目として研修する。救急科では救急センターにおいて救急患者の診察、治療、プライマリケアの研修を行う。また、救急科 13 週のうち 4 週は三次救急である横浜市立みなと赤十字病院で研修を行う。2 年度は小児科、産婦人科、精神科、地域医療を必修科目として研修し、残りの期間は選択科目を研修する。東邦大学医学部付属病院と連携することにより本院で研修できない科目も選択科目の中で研修可能であり研修の幅を持たせ充実した研修が行えるようにした。

- 医師数（病院全体）：209 人（男性 132 人、女性 67 人）常勤非常勤含め
- 指導医数： 35 人
- 研修医数： 10 人（1 年目 4 人、2 年目 6 人）
- 研修医の主な出身大学： 慶應義塾大学・東京慈恵会医科大学・東京医科大学・東邦大学・北里大学・順天堂大学
- 専攻医の研修プログラム：有り（内科）
- 初期研修終了後の進路：内科は専門研修プログラムを用意しており、初期研修終了後に専門研修が可能である。

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格：医師国家試験合格者
- 病院見学：随時
- 試験日程：2020 年 8 月 10 日・13 日
- 採用人数： 6 人
- 採用後の身分：非常勤
- 給 与：284,900 円（1 年目）、301,300 円（2 年目）賞与 年 3 回（4.5 ヶ月）
- 定期昇給：年 1 回
- 諸 手 当：住宅・家族・通勤・当直・時間外
- 当直回数：週 1 回、月平均 4～5 回
- 当 直 料：1 回 8000 円（1 年目）11000 円（2 年目）
- 休日・休暇：土日祝日
- 社会保険：厚生年金 他
- 寮・宿舎：無し
- 応 募 先：〒220-8521 横浜市西区みなとみらい 3-7-3 臨床研修センター
TEL045-221-8300 FAX 045-681-9665 mail: rinshou-kenshu@keiyu-hospital.com

【病院から皆さんへ：研修医の声】

この病院に就職して早半年近くが経過し、今までの座学と実際の臨床で必要な知識、経験との解離に狼狽えながら充実した日々を過ごしています。

けいゆう病院における研修の大きな特徴の一つとして内科ローテーションが挙げられます。

1 年目の研修で内科 6 ヶ月を回る中で、内科の二科、もしくは三科をセットで回る病院はそう多くはないでしょう。回診やカンファレンスが占める時間も増える半面、主要内科 7 科を満遍なく学ぶことができるシステムとなっております。

内科医を目指す方はもちろん、将来どの科に進もうか迷っている方や、内科的診療がしっかりできる外科医を志す方にも適したローテーションなのではないかと思っています。

初期研修医が学年に 6 人しかいない分、回る科の手技や上の先生からの指導も独り占めすることができます。

救急当直もこの病院の特徴的な制度です。夜間の当直帯では後期研修医 1 人、初期研修医 1 人の体制となっているため、ファーストタッチは全て自分で行い、どの検査や治療を行えば患者様を助けることができるか模索しながら一晚を過ごすことになります。

自分にとって身近な先輩である後期の先生に教えていただき、タッグを組みながら 1 年間を過ごすため、後期の先生方と思った以上に仲良くなれます。

医学的なことから人生の悩み事について、自分たちの一歩先を行く先生方に気兼ねなく色々と聞くことができます。そして何よりも、けいゆう病院の「温かさ」に僕は魅力を感じます。指導していただく先生方のみならず、病棟で私達以上に患者様の傍にいて下さる看護師の方々や、処方薬に間違いがないか一つ一つ確認して下さる薬剤師の方々、他にも技師さんや事務の方々など、どこを訪れても優しい人ばかりです。

1 年目の研修医は正直言って何もできません。それでも私達のミスに嫌な顔一つせず、質問した際には丁寧に教えていただき、周りの方々に支えられながらやっと医療に携わることができます。

そのことに感謝することが続く毎日ですが、病棟全体がチームとして一人一人の患者様を助ける体制を、身を以て経験できるのがこの病院だと思います。

出会うもの全てが新しく、患者様や疾患も十人十色であり、その場その場で試行錯誤しながら毎日を過ごします。病院全体にサポートしていただきながら、充実した2年間を過ごすことができるけいゆう病院で一緒に働きましょう。

病院名：横浜市立みなと赤十字病院

【病院の概要・特色】

開院当初から急性期医療を担う高度な総合医療施設として期待され、横浜市の政策的医療としての 365 日 24 時間の救急医療、小児・周産期・精神科救急医療、緩和ケア医療、アレルギー疾患医療に積極的に取り組んでいる。その中で先進的な医療として、救命救急医療、内視鏡やカテーテル医療、がん・悪性腫瘍医療、骨・運動器疾患医療などにはとくに重点をおいている。その結果、大学病院本院に準じた診療機能を有する病院としての DPC 特定病院群に指定されている。

また、当院は近隣の約 700 の医療機関と密接な連携を保ち地域中核病院としての役割を果たすべく努め、同時に赤十字の使命である災害拠点病院としての活動も活発に行っている。

【病院データ】

- 病 院 長：伊藤 宏（東京医科歯科大学卒）
- 病院所在地：〒231-8682 横浜市中区新山下 3-12-1
- 電 話 番 号：045-628-6100（代表）
- 病院URL：<http://www.yokohama.jrc.or.jp/>
- ア ク セ ス：横浜駅、桜木町駅から市営バス 8、26、58、148（急行）系統
「みなと赤十字病院入口」下車徒歩 3 分、または、「みなと赤十字病院」下車
- 病 床 数：634 床（一般 584 床、精神 50 床）
- 診 療 科 目：内科（総合内科、感染症科）、内分泌内科（糖尿病内分泌内科）、血液内科、腎臓内科、リウマチ科（膠原病リウマチ内科）、緩和ケア内科、呼吸器内科、消化器内科（肝・胆・膵内科）、循環器内科（循環器内科、不整脈診療科、心血管診療科）、神経内科、アレルギー内科（総合アレルギー内科、喘息アレルギー内科）、精神科、小児科、外科（外科、救急外科、食道・胃外科、大腸外科、肝・胆・膵外科）、乳腺外科、整形外科（整形外科、整形・脊椎外科、整形・関節外科、手外科・上肢外傷整形外科）、脳神経外科、形成外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科（産婦人科、婦人腫瘍外科）、眼科、耳鼻いんこう科（耳鼻咽喉科・頭頸部外科、めまい平衡神経科）、リハビリテーション科、放射線診断科（放射線科核医学部・放射線科診断部）、放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科
- 平均外来患者数：535.9 人／1 日（平成 30 年度）
- 平均入院患者数：1104.4 人／1 日（平成 30 年度）
- 保育施設の有無：有

【研修データ】

●プログラムの特徴：「断らない救急」の理念のもとに平成 23 年以降、救急車収容数は 1 万台以上を維持し、救命救急センターを併設する施設として国内屈指の症例数を記録し続けている。平成 24 年にはがん診療連携拠点病院の指定を受け、がん診療体制も一層充実させた。多くの症例に恵まれる中で、将来の専門分野にかかわらずあらゆる患者の初期医療が適切に行え、しかも医療の社会的な意義を自覚しつつ、生涯にわたり研鑽を怠らない医療人育成をめざしている。

●医師数（病院全体）：202 人（男性 147 人、女性 55 人）※令和 2 年 1 月現在

●指導医数：61 人

●研修医数：26 人（1 年目 13 人、2 年目 13 人）※令和 2 年 1 月現在

●研修医の主な出身大学：横浜市立大学、東京医科歯科大学、東京慈恵会医科大学、順天堂大学等

●専攻医の研修プログラム：有り（内科、外科、整形外科、救急科、麻酔科）

●初期研修終了後の進路：当院専攻医、大学医局入局など

【採用試験要綱及び処遇】

●応募資格：医師国家試験合格者および合格予定者、マッチングプログラム参加者

●病院見学：随時（ただし、3 月と 4 月を除く）

●試験日程：令和 2 年 7 月～8 月で実施予定（詳細は研修センターHP を確認してください）

●採用人数：8 人（予定）

●採用後の身分：常勤嘱託医師

●給 与：250,000 円（1 年目）、300,000 円（2 年目）

●賞 与：年 2 回（4.125 ヶ月）※令和元年度実績

●諸 手 当：住宅・家族・通勤・当直・時間外

●当直回数：月平均 4 回

●当 直 料：平日宿直 14,080 円、休日日直 16,380 円、休日宿直 16,780 円

●休日・休暇：土日、国民の祝日、年末年始、創立記念日（5/1）

年次有給休暇 21 日（翌年に限り繰り越し可、採用年の付与日数は 4/1 採用で 15 日付与）、
慶弔休暇、夏季休暇、子の看護休暇、結婚休暇、産前産後休暇、育児休業、介護休業制度等有り

●社会保険：健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険

●寮・宿舎：有

●応 募 先：〒231-8682 横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院

人材開発課 臨床教育研修センター宛て

Tel:045-628-6787 FAX:045-628-6100 mail:kenshu@yokohama.jrc.or.jp

【病院から皆さんへ】

当院での研修の特徴は、コモンディージーズから三次救急までの多彩な傷病の、しかも圧倒的な数の救急症例を研修 1 年目から主体的に治療に参画できることにあります。しかし事故があつてはいけませんので、救急外来に常在する上級医と救急専従医の直接の監督と、さらには内科系・外科系当直医の密接な指導の下に診療は行われます。

この研修をサポートするものに手厚い教育体制があります。当院は 2011 年 4 月に臨床教育研修センターを設置し、現在は研修センター長 1 名、副センター長 3 名、事務員 3 名の人員を配備しています。このセンターが中心となり、初期研修医向けには、感染症講義、M&M カンファレンス、CPC などのセミナー類が開催されます。また Off the job training コースとしての ICLS は入職時オリエンテーション期間に全員受講させ、その他 JATEC なども院内開催で希望者は受講できます。シミュレーションラボが設置され、そこを利用しての中心静脈ライン穿刺の認定制度があり、そのための自主練習も可能となっています。さらに図書室のみならず研修医室の各自の机上から、オンラインジャーナル (NEJM、Lancet、JAMA etc.)、Up To Date にアクセスでき、また診療手技としての Procedures Consult も閲覧可能となっており、自主学習環境も十二分に準備されています。

病院名：横浜立市民病院

【病院の概要や特色】

(1) **がん診療の拠点**：院内に「がんセンター」を設置し、がんを扱うすべての診療科、薬剤部、看護部、緩和ケアチームなどが連携し、抗がん剤治療、手術、放射線治療など、患者の状態に応じて最適ながん治療を提供しています。

(2) **365日24時間の救急の拠点**：「救命救急センター」として指定を受け、救命救急センター・救急（ER）外来の両方の機能を持ち合わせており、可能な限り多くの救急患者を受け入れています。

(3) **感染症医療の拠点（第1種、第2種感染症指定医療機関）**：神奈川県で唯一の「第1種感染症指定医療機関」の指定を受けており、神奈川県のHIV診療拠点病院にも指定されています。

(4) **小児・母子医療の拠点**：横浜市小児救急拠点病院及び地域周産期母子医療センターとして、1次医療から周産救急を含む2次、3次医療まで24時間体制で幅広く対応しています。

(5) **地域医療支援の拠点**：「地域医療支援病院」として承認され、地域の診療所や病院を支援する機能を有する病院として、患者の紹介制の推進、救急医療の充実のほか、施設の共同利用、症例検討会、研究会の開催なども積極的に進めています。

【病院のデータ】

●病院長名：石原 淳

●病院の郵便番号・所在地：〒240-8555 横浜市保土ケ谷区岡沢町56

※2020年5月1日移転予定（横浜市神奈川区三ツ沢西町1-1）

●病院の電話番号：045-331-1961（代表）

●病院のURL：<http://yokohama-shiminhosp.jp/>

●病院への交通手段：横浜市営地下鉄「三ツ沢上町」から徒歩12分

●病床数：650床（うち感染症病棟26床）

●診療科目：34診療科

●1日平均入院患者数（昨年度）：549名

●1日平均外来患者数（昨年度）：1,399名

●保育施設の有無：あり

【研修データ】

●プログラムの特徴：

【一般コース】

内科系及び救急は1・2年次でローテートする2層制を採用し、1年目で基礎を身につけ、2年目では自らの能力を高めつつ、1年次に指導できる力を身につけます。また、必修科を必ずローテートすることでプライマリケアの基本的な診療能力を養いつつ、将来に向けて34の診療科から希望科をローテートする機会を担保しています。

自由選択期間については 36 週間（約 9 か月間）確保しています。

【外科コース】

専門医の取得を見据えた「消化器外科」「炎症性腸疾患科」「乳腺外科」「呼吸器外科」「心臓血管外科」の必修化に加え、全身管理の視点を学ぶ「ICU」と、外科医になるにあたって必要性の高い病理学的視点を養うため「病理診断科」を必修としております。

- 医師数（病院全体）：240名（うち初期研修医45名）
- 指導医数：61名（臨床経験7年以上かつ指導医講習受講済み）
- 研修医数：初期45名うち男性21名、女性24名
- 研修医の主な出身大学：慶應義塾大学、横浜市立大学など
- 後期研修プログラム：あり
- 初期研修修了後の進路：専攻医として当院にて継続勤務、他の専門病院へ
※基幹施設として、内科・外科・小児科の専門研修プログラム有

【研修医採用試験要項並びに処遇】

- 応募資格：第115回医師国家試験合格見込者および医師免許取得者
 - 病院見学について：随時見学可能。当院ホームページからお申し込みください。
 - 試験日程（予定）：第1回8月8日（土）、第2回8月22日（土）、第3回9月5日（土）
 - 採用予定人数：一般コース17名、外科コース2名
 - 身分：非常勤一般職員
 - 給与（初期1年目、2年目）：1年目2年目ともに279,100円
 - 当直回数（初期1年目、2年目）：1年目2年目ともに月平均4回（救急、小児科は除く）
 - 社会保険の有無：あり
 - 宿舎・住宅について：宿舎（単身者用）あり
- ※ただし令和2年4月から「会計年度任用職員制度」が導入されるため、勤務条件・待遇等について現在調整中です。
- 採用試験応募の連絡先：045-331-1817 横浜市立市民病院 総務課 職員係 佐藤

【その他 貴病院のPRなど内容は自由に記載】

当院の魅力は何と云っても、初期研修医を始め、後期研修医、上級医、指導医、コメディカル、ナースが仲良く、楽しく仕事をしている点だと自負しております。

また、研修プログラムにおいても決められたプログラムというより、選択診療科の幅が広く、研修医の先生の自主性を尊重したプログラムとなっております。意識が高く、向上心のある方にはぜひ、ご検討いただき、ご応募していただきたいと思います。

病院名：川崎市立川崎病院

【病院の概要・特色】

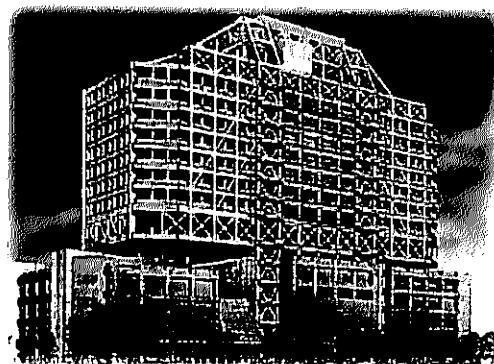
- 川崎市立川崎病院は地域最大の基幹医療施設（713床）として、多様なニーズに高水準の医療を提供しています。プライマリ・ケアに相当する診療から重症・重篤な疾患を担う三次救急医療までシームレスに応需し、さらに新生児医療、精神科救急などの専門性の高い領域にも常勤スタッフが24時間体制で対応しています。
- 臨床研修医の育成では「『病氣』でなく『病人』を診る患者さん中心の医療」を理解し、実践できる医師教育を目指します。医師としての第一歩を踏み出す上で、最良の経験ができると確信しています。

【川崎市立川崎病院の臨床研修理念】

1. 「病氣」でなく「病人」を診ることを実践する教育
2. 「人格の涵養」を基本とした教育
3. 「チーム医療」の意義を理解しこれを実践する教育
4. 「プライマリ・ケア」の基本的診療能力向上を重視する教育
5. 「自治体病院の責務」を理解しこれを実践する教育
6. 研修後も自己を高めていく術（すべ）を身につける教育

【病院データ】

- 病 院 長：金井 歳雄
- 病院所在地：〒210-0013 川崎市川崎区新川通 12 番 1 号
- 電 話 番 号：044-233-5521（代表）
- 病院 URL：「川崎市立川崎病院」で検索
- ア ク セ ス：JR 川崎駅から徒歩約 15 分
またはバス 10 分程度
- 病 床 数：713 床（一般 663 床、感染 12 床
精神 38 床）
- 診 療 科 目：42 科
- 平均外来患者数：1342 人／1 日（平成 30 年度）
- 平均入院患者数：509 人／1 日（平成 30 年度）
- 保育施設の有無：病院敷地内に有り



【研修データ】

- プログラムの特徴：
 - ① 手厚い支援体制・・・最初の 1 か月間は全員がオリエンテーションを行います。内科を中心に各科指導医・看護部・薬剤部等が協力して、診療現場で必要とされる基本スキル、ICLS などの救急医療に欠かせない技術などを、少人数制の集中講義と実習で身につけます。さらに、個別面談、メンター制度など、多層的な教育サポート体制を敷いています。
 - ② 自由度の高いプログラム・・・厚生労働省の定める必修研修を除く期間は、できるだけ臨床研修医一人一人のニーズに合ったプログラムを提供できるよう、自由度の高い仕組みとなっています。年度途中の研修先診療科も比較的自由に変更できるフレキシビリティも魅力です。700 床規模の病院で 1 学年 10 名の少人数制にしているからこそ実現できるプログラムです。
- 医師数（病院全体）：198 人（男性 147 人、女性 51 人）常勤非常勤含む
- 指導医数：77 人
- 研修医数：62 人（1 年目 14 人、2 年目 10 人、初期終了後研修 38 人）
- 研修医の主な出身大学：慶應義塾大、九州大、筑波大、山形大、慈恵医大、東京医歯大など
- 専攻医の研修プログラム：有り（内科、小児科、麻酔科、救急科、整形外科）
- 初期研修終了後の進路：当院及び他の大学病院等の専門研修プログラムへの参加

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格： 令和元年度実施医師国家試験受験者、または医師免許取得後2年以内の者
- 病院見学： 随時受付
 - ➡ 毎月第2木曜日（8月を除く）に、病院長、研修管理部門、主要診療科の指導医および臨床研修医から生の声を聞くことができる「**病院説明会（見学会）**」を開催しています。当院における臨床研修を考えている学生さんは、是非とも、この病院説明会にご参加ください（詳細は当院ホームページを参照）。
- 試験日程： 令和2年6月頃公表予定（参考：令和元年度は8月に3回実施）
- 採用人数： 令和2年6月頃公表予定（参考：令和元年度は10名採用）
- 採用後の身分： 川崎市会計年度任用職員
- 給 与： 会計年度任用職員制度の導入により給与、手当等が変更（増額）となる予定。
令和元年度実績： 初期1年目、2年目ともに364,100円
- 諸 手 当： 通勤・当直・日直について手当あり
- 当直回数： 月平均4回
- 当 直 料： 初期1年目 10,000円、2年目 12,000円（令和元年度実績）
- 休日・休暇： 土日祝日、年末年始、夏季休暇（5日間）
- 社会保険： 健康保険、厚生年金加入
- 寮・宿舎： レジデントハウス有（入居の可否は空室状況によります）
- 応 募 先： 〒210-0013

川崎市川崎区新川通12-1 川崎市立川崎病院事務局庶務課労務研修担当

TEL：044-233-5521 mail：83kawent@city.kawasaki.jp

【病院から皆さんへ】

● 歴史ある川崎市立川崎病院へようこそ！

川崎市立川崎病院では、昭和42年4月には研修医制度が発足し、現在に至るまで50年以上の歴史を有しております。最初の10年間は研修期間3年のレジデント制度として行われ、昭和52年からは2年間の臨床研修制度となりました。昭和51年度からは専門科に重点を置きながらも、広く各科を研修するローテイト方式を採用していますが、これは平成16年度から実施された卒後臨床研修制度を先取りしていたものです。

● 卒業大学を問わず幅広く採用しています

当院は、全国66におよぶ大学医学部・医科大学から臨床研修医を採用してきました。これからも学閥・年齢・性別を問わず、公正・公平な採用に取り組んでまいります。積極性と協調性を兼ね備えた皆さんをお待ちしています。

● 快適な研修環境と手厚い支援体制があります

医師の医局はほぼ1つのフロアーにあり、普段から他科との連携が取り易い環境にあります。例えば他科研修中であっても、手技を行う機会があれば声をかけていただき、経験することができます。熱意があれば、診療科の枠を越えて幅広い経験を積むことができる環境だと思います。医局には研修医専用の部屋もあり、研修医毎に机が用意されています。業務においては日常業務に追われて勉学に支障をきたすことはありません。各研修医にメンターと呼ばれる上級医が付き、研修医の状況に応じたきめ細かい指導やアドバイスを受けることができます。研修医主体の勉強会も度々開催され、和気あいあいとした雰囲気の中でモチベーションを高めています。

● 学会発表や臨床研究も経験できます

臨床医に求められる診療能力の向上を目指すとともに、近い将来指導者になるために必要なリサーチマインドの醸成にも力を注いでいます。当院の臨床研究支援室スタッフによる教育セミナーや各種学会発表の支援を行っています。特に積極的な臨床研修医には、臨床研究支援の個別指導のサポートも用意しています。

是非、川崎市立川崎病院臨床研修医にご応募ください。職員一同、お待ちしております。

病院名：川崎幸病院

※この情報は 2018 年度のものです。

【病院の概要・特色】

川崎幸病院は 1973 年の開設以来、川崎市幸区を中心に川崎市南部及び横浜市北部の診療圏とする民間急性期病院として活動してきた。2012 年 6 月に JR 川崎駅より徒歩 7 分の場所に新築移転し、全 326 床中 49 床の集中治療部門 (ICU・ACU・CCU・HCU・SCU) を整備するなど都市型高度急性期医療の提供に力を注いでいる。各診療科はセンター化され、脳血管・心血管・大動脈・消化器病・泌尿器内視鏡治療・腎疾患・整形外科・婦人科悪性腫瘍・がん放射線治療等で構成されている。24 時間・365 日断らない医療を実践し、326 床と中規模の医療機関ながら年間救急搬送受入数約 10,000 台を達成し地域の中核病院としての機能を担っている。手術室は全 10 室 (ハイブリッド手術室も有) で、年間手術件数は 5,000 件を超える。勤務医師は全国から集まるオープンな医局のため、常時医師や医学生からの施設見学を受け入れている。

【病院データ】

- 病 院 長：山本晋 (香川大学 S61 年卒)
- 病院所在地：〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町 31-27
- 電 話 番 号：044-544-4611
- 病院URL：<https://saiwaihp.jp/>
- ア ク セ ス：JR 東海道線 川崎駅 徒歩 7 分
- 病 床 数：326 床 (一般急性期 326 床)
- 診 療 科 目：内科・腎臓内科・消化器内科・循環器内科・外科・呼吸器外科・心臓外科・大動脈外科・脳神経外科・脳血管治療科・整形外科・関節外科・泌尿器科・婦人科・形成外科・麻酔科・放射線治療科・放射線診断科・病理科・救急科・感染制御科
- 平均外来患者数：111.3 人／1 日
- 平均入院患者数：302.7 人／1 日
- 保育施設の有無：有 (院外)

【研修データ】

●プログラムの特徴：

川崎幸病院は一般外来を分離し救急外来を主とした急性期病院であり、各科研修での救急症例も豊富です。この救急症例を中心に研修を行っていくことが当院プログラムの特色となっています。

選択必修 (地域・小児・産婦・精神) は外部医療機関の研修となり、有名病院・北海道や鹿児島といったバリエーションの豊富さが特徴です。毎朝開催される臨床推論カンファレンスでは総合診療医や放射線科専門医が同席しており、内科診断学の考え方や common disease への標準的な初期対応の学習、画像診断のフィードバックも可能です。内科系・外科系・救急の各基

礎を徹底的に研修し、しっかりとした基礎を築くことにより専門医研修へスムーズ 繋げることを重視した実践型のプログラムであります。

●医師数（病院全体）：120 人（男性 112 人、女性 8 人） ※4 月 1 日見込み

●指導医数： 89 人

●研修医数： 16 人（1 年目 8 人、2 年目 8 人） ※4 月 1 日見込み

●研修医の主な出身大学：全国から集まります。

●専攻医の研修プログラム：外科専攻医基幹プログラム申請予定（2021 年 4 月より開設予定）

●初期研修終了後の進路：内科系・外科系においては当院が連携する基幹プログラムへ登録（内科系：埼玉石心会病院内科専攻医基幹プログラム 3 名、外科系：横浜市立大学外科専攻医プログラム 1 名）

【採用試験要綱及び処遇】

●応募資格：医師国家試験合格者

●病院見学：随時

●試験日程：2019 年 8 月 日程はホームページにて公表

●採用人数：8 人

●採用後の身分：常勤

●給 与： 400,000 円/月（1 年目）、450,000 円/月（2 年目）賞与 1 年 2 回

●諸 手 当：社宅・当直

●当直回数：月平均 5 回

●当 直 料：1 回 11,000 円（2 年次 20,000 円）

●休日・休暇：病院規定による

●社会保険：健康保険、労働保険、雇用保険、厚生年金保険

●寮・宿舎：有り

●応 募 先：当院ホームページに記載

【病院から皆さんへ：研修医の声】

当院ホームページに記載

病院名：帝京大学医学部附属溝口病院

【病院の概要・特色】

当院は帝京大学医学部附属の第2の病院として「地域に根ざした高度で良質な医療を実践します」の理念のもと、日々診療を行っております。

日本で初めて腹腔鏡を使用した胆嚢摘出術を実施した病院であり、現在も内視鏡手術の症例が多く一部ロボット手術も行っております。また、大学病院として診療のみならず、研究や多くの医療人の育成を行っております。

また、最新の医療機器の導入だけでなく、駅前という立地や病院を感じさせないエントランスやラウンジ等、来院された方がリラックスして過ごすことができる空間となっております。

【病院データ】

●病 院 長：沖永 恵津子

●病院所在地：〒213-8507 神奈川県川崎市高津区二子 5-1-1

●電 話 番 号：044-844-3333

●病院URL：<http://mteikyo-mizonokuchi.jp>

●ア ク セ ス：東急田園都市線 高津駅 徒歩 1 分

J R 南武線 武蔵溝ノ口駅 徒歩 10 分

●病 床 数：400 床（一般急性期 400 床、療養病床 0 床）

●診 療 科 目：内科、循環器内科、外科、整形外科、産婦人科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、精神科、放射線科、麻酔科、脳神経外科、脳神経内科、リハビリテーション科、心療内科、形成外科、消化器内科、消化器外科、歯科、臨床検査科、病理診断科

●平均外来患者数（2018 年度）：1039.4 人／1 日

●平均入院患者数（2018 年度）：329.3 人／1 日

●保育施設の有無：有り（院内保育室）

【研修データ】

●プログラムの特徴：

2020 年度からプログラムの見直しにより必修科目が増えました。当院ではしっかりと各科研修を行えるよう原則 5 週単位の研修とし、必修科目の内科 25 週、救急部門 14 週、麻酔科 6 週、外科・小児科・産婦人科・精神科・地域医療を各 5 週、自由選択を 18 診療科より最大 6 診療科を研修することができます。

ERはありませんが、二次救急病院として救急患者を受け入れており、研修医は月 4 回程度の救急当直を行います。

- 医師数（病院全体）：383 人（男性 272 人、女性 111 人）常勤非常勤含め
- 指導医数：92 人（内 49 名 指導医講習会修了者）
- 研修医数：20 人（1 年目 11 人、2 年目 9 人）
- 研修医の主な出身大学：帝京大学
- 初期研修終了後の研修プログラム：有り
- 初期研修終了後の進路：主に当院または医学部附属病院（東京都板橋区）、大学院進学等。

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格：2021 年医師免許取得見込みの者、または医師免許取得済みの者で、医師臨床研修マッチングに参加する者
- 病院見学：随時（ご連絡下さい）
- 試験日程：2020 年 8・9 月に実施予定（日時決定後当院ホームページに掲載）
- 採用人数：11 人（予定）
- 採用後の身分：常勤
- 給 与：240,000 円
- 当直回数：月平均 4 回
- 当 直 料：1 回 6,000 円
- 休日・休暇：日祝日・創立記念日・年末年始休暇・有給休暇・指定休日
- 社会保険：有り（健康保険・年金・雇用保険・労災）
- 寮・宿舎：有り
- 応 募 先：〒213-8507 川崎市高津区二子 5-1-1

帝京大学医学部附属溝口病院 総務課医学部事務係

Tel：044-844-3466 FAX：044-844-3201 mail：m-igaku@teikyo-u.ac.jp

【研修医から皆さんへ】

帝京大学溝口病院は大学病院と市中病院の二つの特徴を併せ持った病院です。

確かに大規模な大学病院と比較するとベッド数は少なく、扱っていない科目もありますが、その分市中病院の様に Common Disease を数多く取り扱う病院であり、それらに対する対応力を高く伸ばしていく事が出来ます。

また、研究発表も盛んで、1 年次から学会発表や論文投稿といった学術方面の指導も積極的に行われています。

規模が小さい分、教授から研修医、そしてコメディカルといった他種職の方々との距離も近く、困ったときは常にいろいろな方々に相談できる環境が整っています。

当院で扱っていない科目に関しても後期研修からにはなりますが、提携病院での研修も可能であり、まずは医師としての基礎を高めたいという方にうってつけの病院だと思います。

病院名：川崎市立井田病院

【病院の概要・特色】

当院は川崎南部医療圏の中核病院であり、川崎市内で唯一、結核病棟を有するとともに、緩和ケア病棟を設置してターミナルケアを推進して在宅治療にも力を入れるなど、他の病院とは違った特色のある病院として医療活動を展開しています。平成 18 年にはがん診療連携拠点病院として指定され、がんの診療、治療、緩和ケア、在宅診療と切れ目のない医療の提供にも力を入れています。

昨今、病院完結型医療から地域完結型医療への転換の必要性に注目されていますが、当院も今後は更にかかりつけ医との連携を密にして、地域全体で住民の健康を守るという視点で医療に取り組んでいきたいと考えています。

【病院データ】

- 病 院 長：中島洋介（慶應義塾大学卒）
- 病院所在地：〒211-0035 川崎市中原区井田 2-27-1
- 電 話 番 号：044-766-2188
- 病院URL：<http://www.city.kawasaki.jp/33/cmsfiles/contents/0000037/37855/ida/index.html>
- ア ク セ ス：東急東横線日吉駅よりバス 8 分または徒歩 15 分
- 病 床 数：383 床
- 診 療 科 目：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病内科、腎臓内科、腫瘍内科、神経内科、感染症内科、人工透析内科、肝臓内科、緩和ケア内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、精神科、アレルギー科、リウマチ科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、救急科、麻酔科、歯科口腔外科、歯科
- 平均外来患者数：654 人／1 日（2018 年度）
- 平均入院患者数：301 人／1 日（2018 年度）
- 保育施設の有無：あり（院内）

【研修データ】

●プログラムの特徴：研修方法は 2 年間の各科ローテーションとする。また研修医の希望及び進路等を勘案し、研修科目の順序調整や選択科目などによりできるだけ個別的なカリキュラムを設定する。

内科（24 週：1 年次必修）、救急医療（12 週：1 年次必修）、地域医療（4 週：2 年次必修）、外科（12 週）、小児科（4 週）、産婦人科（4 週）、精神科（4 週）を必修科目とする。他の科目は選択とするが、最小研修期間は概ね 4 週を基準とする。

救急医療に関しては井田病院では内科、外科、整形外科などの患者を対象として、救急外来

の専任として独立した期間を設けて研修を行う。また、地域医療は地域の診療所、または北海道の町立中標津病院で、小児科、産婦人科、精神科は川崎市立川崎病院で研修を行う。

2年目には、初期臨床研修の総括として、当院の特徴であるがん末期患者に対する緩和医療の研修を4週選択することを必修とする。

●医師数（病院全体）：64人（男性41人、女性23人）

●指導医数：34人

●研修医数：10人（2019年度 1年目5人、2年目5人）

●研修医の主な出身大学：慶應義塾大、京都大、聖マリアンア医科大、東海大ほか

●初期研修終了後の研修プログラム：有り

●初期研修終了後の進路：（専攻医として専門分野の研修または大学院、他の病院へ等）

大学病院、他市中病院など。なお、研修医と当院との間で条件が合えば、専攻医として引き続き当院で行なうことが可能である。

【採用試験要綱及び処遇】

●応募資格：2021年3月大学医学部卒業見込で医師免許取得見込の者および医学部卒後もしくは医師免許取得後2年以内の者

●病院見学：随時

●試験日程：2020年8月（予定）

●採用人数：5人（予定）

●採用後の身分：川崎市病院局会計年度任用職員

●給与：（初期1年目、2年目）：364,100円（日当直手当、通勤手当は別途支給）

※ 会計年度任用職員制度の導入により、給与等が変更される予定です。

●当直回数：週1回、月平均4回

●当直料：（初期1年目、2年目）1年次10,000円／回、2年次12,000円／回

●休日・休暇：土日祝日

●社会保険：厚生年金・健康保険・雇用保険・労働者災害補償あり

●寮・宿舎：研修医宿舎あり（単身用、約27,000円／月）

●応募先：〒211-0035 川崎市中区井田2-27-1 川崎市立井田病院庶務課 教育研修担当

Email: 83idakyo@city.kawasaki.jp

【病院から皆さんへ】

当院は自然に囲まれており、何かと気忙しい研修医生活の中でも心は和みます。

臨床環境では、経験豊富な専門医が多く、みんな、研修医教育に熱心で、マンツーマンで指導します。
院内講習会やカンファレンス、図書室機能も充実しています。

初期臨床研修は医師としての出発点であり、この 2 年間であなたの将来の医師像を決定するといっても過言ではありません。当院の臨床研修を通して、あたたかい心を持って患者に優しい手を差し伸べる、そして確かな技術を提供できる医師への第一歩をともに踏み出そうではありませんか。

病院名：関東労災病院

【病院の概要・特色】

- ◆ 川崎市中部地区の急性期型地域支援病院
- ◆ 2次救急医療機関
- ◆ 地域がん診療連携拠点病院

common disease から高度並み医療レベルが要求される疾患まで、幅広い症例を多数経験できます。

- ◆ 整形外科・スポーツ整形外科

日本で最初にスポーツ整形外科を標榜した病院であり、靱帯断裂などの手術症例数は日本有数です。

【病院データ】

- 病 院 長：根本 繁
- 病院所在地：〒211-8510 川崎市中原区木月住吉町1番1号
- 電 話 番 号：044-411-3131
- 病院URL：<http://www.kantoh.johas.go.jp>
- ア ク セ ス：東急東横線 武蔵小杉駅 徒歩12分
JR南武線 武蔵小杉駅 徒歩14分
JR横須賀線 武蔵小杉駅 徒歩10分
東急東横線 元住吉駅 徒歩7分
- 病 床 数：610床（一般急性期598床、歯科12床）
- 診 療 科 目：整形外科、スポーツ整形外科、感染症内科、総合内科、血液内科、産婦人科、救急科 など33診療科
- 平均外来患者数：1,593.3人／1日（平成30年度実績）
- 平均入院患者数：472.7人／1日（平成30年度実績）
- 保育施設の有無：院内保育所あり

【病院ホームページ】



【研修データ】

- 医師数（病院全体）：200人（常勤非常勤含め） ●指導医数：87人
- 研修医数：24人（1年目12人、2年目12人）
- 研修医の出身大学：（例）東京大学、千葉大学、東京医科歯科大学、山梨大学、富山大学、横浜市立大学、日本医科大学、昭和大学、東海大学、産業医科大学 他
- 初期研修終了後の研修プログラム：内科後期研修プログラム基幹施設。
- 初期研修終了後の進路：大学病院や市中病院の後期研修プログラムへ。

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格：医師国家試験受験予定者または医師免許取得者
(医師国家試験に不合格となった場合採用は取り消しとなります)
- 試験日程：8月頃
- 採用人数：12名予定
- 応募先：当院ホームページ 採用試験応募フォームより申込み
- 身分：常勤嘱託
- 給与：1年目：4,089,000円、2年目：4,502,000円
(賞与・諸手当込み 平均的に当直業務を行った場合の見込み額)
- 諸手当：住宅・通勤・夜勤・夜間勤務・時間外
- 当直回数：月平均4回
- 当直料：1回あたり約11,000円
- 休日・休暇：土日祝日、年末年始、夏季休暇(5日)、有給休暇(1年次10日、2年次11日)
- 社会保険：組保管掌健康保険、厚生年金、確定拠出型企业年金(任意)
- 寮・宿舎：有り。敷地内1K。月額約8,000円～10,000円

【病院から皆さんへ】

当院の初期研修プログラムの特徴です。

◆ローテーション設定

自由選択が7か月あり、28診療科から幅広く研修できます。後期の進路選択のため1年目の秋から2年目の夏までに5か月の選択枠を確保、配置しています。

◆救急研修

1年目で2か月間救急科をローテートし、2次救急のファーストタッチから入院／帰宅まで研修医自身が行います(最終判断は指導医と)。症例ごとに指導医のフィードバックがあり、プライマリケアの基礎が身につきます。

当直業務は1年次と2年次の屋根瓦式で救急外来の初期対応を行います。救急科の研修だけでなく2年間の研修全体で「責任をもって救急初期対応ができるようになる」ことを目標の一つとして、各科で研修内容を考えています。

◆人数

1学年12名の「多すぎず少なすぎない」人数で、手技も上級医の指導の下でたくさん経験できます。また各科の規模も大きすぎず、指導的な雰囲気定評があります。

◆集合研修

研修医に必要な知識・技術を補う集合研修があります。臨床技術のフォローアップの他、医師として知っておくべき診療報酬制度の学習や、他職種の業務、チーム医療を研修する時間も設けています。

◆後期研修

当院の内科専門研修プログラムは各科で豊富な症例を経験でき、指導医のバックアップの下で外来診療を行うなど内容の濃い研修が特徴です。サブスペシャリティ重点研修も可能です。

病院名：湘南東部総合病院

【病院の概要・特色】

湘南東部総合病院（平成 12 年 4 月開院）は、湘南東部医療圏（茅ヶ崎市・藤沢市・寒川町）の中核病院、また、ふれあいグループ（17 病院、7 クリニック、その他 44 施設）の基幹病院として急性期医療を中心に回復期リハビリテーション、ホスピス緩和ケアまで総合的に幅広く医療を提供しています。

地域医療では二次救急を担当し、心疾患・脳血管障害にも 24 時間対応しております。

がん治療においては、化学療法・放射線療法・手術療法を組み合わせ患者さんの希望に応じた治療をしています。また、血液内科も標榜しており近隣より紹介を受けております。

関連の看護専門学校、リハビリテーション専門学校、医療大学より実習生を受け入れ医療スタッフの教育も担当しております。

- ・プライマリ・ケアに重点を置いた診療
- ・24 時間断らない救急体制
- ・早期、回復期、維持期リハビリテーションの提供
- ・予防医療の提供（疾病予防施設）
- ・在宅支援（訪問診療・訪問看護・訪問リハ・居宅会議支援）
- ・主要専門領域の専門医取得研修施設認定

【病院データ】

- 病 院 長：市田 隆文（新潟大学 昭和 50 年卒）、出身 富山県
- 病院所在地：〒253-0083 神奈川県茅ヶ崎市西久保 500 番地
- 電 話 番 号：0467-88-9111（代表）
- 病院URL：<http://www.fureai-g.or.jp/toubu/>
- ア ク セ ス：J R 東海道線 茅ヶ崎駅北口より病院シャトルバスにて 15 分
- 病 床 数： 344 床（一般病床 228 床、療養病床 40 床（回復期リハビリ 40 床）、精神病床 44 床、ホスピス緩和ケア 32 床）
- 診 療 科 目：内科（総合診療科）、外科、消化器科、循環器科、呼吸器内科、脳神経外科、神経内科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、産婦人科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、小児科、精神科、歯科口腔外科、呼吸器外科、病理診断科
- 平均外来患者数： 273.7 人／1 日（2018 年度） 併設クリニック 396.0／1 日
- 平均入院患者数： 332.8 人／1 日（2018 年度）
- 保育施設の有無： 院外あり

【研修データ】

●プログラムの特徴：

これからの超高齢化社会を迎えるにあたりリハビリテーション科を必修としております。

●医師数（病院全体）： 64 人（男性 52 人、女性 12 人）常勤非常勤含め

●指導医数： 17 人

●研修医数： 7 人（1 年目 4 人、2 年目 3 人、初期終了後研修 2 人）

●研修医の主な出身大学：北里大学、慶應義塾大学、東海大学、日本医科大学、福岡大学、 福井大学、金沢大学、帝京大学、浜松医科大学 他

●専攻医の研修プログラム：あり

内科専門医研修プログラム（基幹型）

●初期研修終了後の進路：当院での研修または大学病院他

【採用試験要綱及び処遇】

●応募資格：医師国家試験合格者

●病院見学：随時

●試験日程：次年度試験日は調整中（6 月～9 月迄で数回を予定）

●採用人数： 3 人

●採用後の身分：常勤

●給 与： 年間 4,300,000 円（1 年目）、年間 5,000,000 円（2 年目） 賞与 なし

●定期昇給：年 1 回

●諸 手 当：住宅（入寮の場合のみ補助）・通勤・当直手当あり

●当直回数：原則なし

●当 直 料：

●休日・休暇：日曜、祝祭日、有給休暇 他

●社会保険：厚生年金

●寮・宿舍：単身寮有り（入寮の場合のみ補助）

●応 募 先：〒253-0083 神奈川県茅ヶ崎市西久保 500 番地

湘南東部総合病院 初期臨床研修事務担当 辻 宛て

Tel：0467-83-9111 FAX：0467-83-9114 mail：tobu-srk@fureai-g.or.jp

【病院から皆さんへ】

上級医とペアで行動することが多く、常にマンツーマンの指導が受けられる良さがある。

また、上級医との距離が近くやりたい手技を積極的におこなえます。

少人数でアットホームな雰囲気の病院で大切な時間を過ごしませんか。

病院名：秦野赤十字病院

【病院の概要・特色】 神奈川県西部に位置しています。東名高速道路の秦野中井インターチェンジからすぐ、都心から車で1時間程度です。また、秦野市は小田急線の駅が4駅あり、新宿から秦野までは急行で約1時間です。 丹沢に囲まれた盆地には湧水群があり、日本の名水百選にも選ばれました。日帰り温泉施設や旅館もあり、ハイキングや登山でも人気がある地域です。
【病院データ】 ●病 院 長：田中克明（横浜市立大学卒） ●病院所在地：〒257-0017 秦野市立野台 1-1 ●電 話 番 号：0463-81-3721 ●病院URL：http://hadano-jrc.jp ●ア ク セ ス：小田急線秦野駅下車 徒歩18分 ●病 床 数：320床（一般病床） ●診 療 科 目：内科/腎臓内科/糖尿病・内分泌内科/循環器内科/消化器内科/神経内科/小児科/外科/整形外科/脳神経外科/泌尿器科/産婦人科/眼科/耳鼻咽喉科/麻酔科/放射線科/形成外科 ●平均外来患者数：459.6人／1日（平成30年度） ●平均入院患者数：208.5人／1日（平成30年度） ●保育施設の有無：院内保育所あり
【研修データ】 ●プログラムの特徴：地域医療を担う病院として、救急医療や継続的な医療、高齢医療や緩和医療を赤十字理念に基づいて実施し、医学的に均整のとれた臨床医を育成します。 ●医師数（常勤）：35人（男性 29人、女性 6人） ●指導医数：15人 ●研修医数：3人 ●研修医の主な出身大学：東海大学・山形大学他

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格：医師国家試験合格見込み者または医師免許取得者
- 病院見学：随時
- 試験日程：未定
- 採用人数：2人（予定）
- 採用後の身分：常勤嘱託
- 給与：400,000円（1年目）、420,000円（2年目）賞与 年2回（合計で2ヶ月分）
- 定期昇給：年1回
- 諸手当：住居手当・時間外手当・休日手当・当直手当等
- 当直回数：月平均 4回
- 当直料：1回10,000円
- 休日・休暇：土曜日・日曜日・祝祭日・赤十字創立記念日・年末年始（12月29日～1月3日）
- 社会保険：厚生年金・健康保険・雇用保険 他
- 寮・宿舎：無（ただし、住居手当 上限28,500円有）
- 応募先：〒257-0017 秦野市立野台1-1 秦野赤十字病院 総務課

Tel 0463-81-3721 FAX 0463-82-4416 mail soumu2@hadano-jrc.jp

【病院から皆さんへ】

採用は少人数ですが、その分柔軟な対応が可能で希望に沿ったカリキュラムを組むことができます。ご興味のある方、見学は平日、ご都合に合わせてご案内できますので、ご連絡をお待ちしております。

病院名：東海大学医学部付属病院

【病院の概要や特色】

当院の研修の特色は大学病院ならではの専門性を持ちながら、市中病院と同等の common disease の診療ができる点です。地域とのつながりも強く、急性期疾患からプライマリな疾患まで臨床研修医の時に経験しておくべき症例を数多く担当することができます。

4つの研修プログラムは自由度が高く、大学病院（東海大学医学部付属病院、付属東京病院、付属大磯病院、付属八王子病院）の他、市中病院（池上総合病院、伊勢原協同病院、海老名総合病院、東名厚木病院、秦野赤十字病院、平塚市民病院等）での研修が可能です。

また、地域医療に特色のある研修プログラムも人気が高く、地域医療研修プログラム（定員10名）は、諏訪中央病院（長野）、石巻赤十字病院（宮城）、美瑛町立病院（北海道）、長崎県島原病院等で研修可能です。地域医療重点研修プログラム（定員2名）は、諏訪中央病院（長野）、石巻赤十字病院（宮城）、大船中央病院、けいゆう病院等で研修可能です。いずれも大学病院に在職しつつ市中病院を充分経験できる人気の研修プログラムです。

【病院のデータ】

●病院長名：渡辺 雅彦

●病院の郵便番号・所在地：〒259-1193 神奈川県伊勢原市下糟屋 143

●病院の電話番号：0463-93-1121(代表)

●病院のURL：<http://www.fuzoku-hosp.tokai.ac.jp>

●アクセス：バス：小田急線 伊勢原駅から約10分

徒歩：小田急線 伊勢原駅北口から約20分

●病床数：804床

●診療科目：

循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、血液腫瘍内科、リウマチ内科、神経内科、総合内科、腎内分泌代謝内科、心臓血管外科、移植外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺内分泌外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、小児科、産科、婦人科、眼科、皮膚科、泌尿器科、救命救急科、耳鼻咽喉科、精神科、放射線治療科、画像診断科、麻酔科、

リハビリテーション科、歯科口腔外科、歯科、臨床検査科、緩和ケア科、病理診断科

●1日平均入院患者数：766名

高度救命救急センターにてドクヘリ研修あり(希望者)

●1日平均外来患者数：2,482名

●救急車取扱い件数：6,263件

ドクターヘリ出動回数：222回

●保育施設の有無：院内保育所有

(3歳児以上は隣接の認定こども園東海大学本田記念幼稚園に入園可)



【研修データ】

●プログラムの特徴：研修プログラムは大学病院と市中病院各々の長所を盛り込んだバランスの良いプログラムです。自由度が高く、将来の進路にあわせて選択科目の変

更も可能です。臨床力を身につけ、臨床研修修了後の専門研修につなげるためにも、ぜひ当院で研修を！

●医師数：548人（本院のみ）、791人（付属三病院含む）

●指導医数：249人（本院のみ）、473人（付属三病院含む）

●研修医数：医師95人（1年目47人、2年目48人）、専攻医（医師）165人

●臨床研修医の主な出身大学：愛知医科大 岩手医科大 大分大 金沢医科大 川崎医科大 杏林大 久留米大 埼玉医科大 島根大 聖マリアンナ医科大 東京医科大 東邦大 日本大 福島県立医科大 藤田医科大 琉球大 東海大

●臨床研修修了後の研修プログラム：新専門医制度の基本領域19科全ての基幹型病院として研修プログラムあり（内科・外科・脳神経外科・整形外科・形成外科・泌尿器科・麻酔科・救急科・小児科・産婦人科・精神科・皮膚科・耳鼻咽喉科・眼科・リハビリテーション科・放射線科・病理・臨床検査・総合診療）

●臨床研修修了後の進路：専攻医（臨床助手と呼称）として採用又は大学院進学。専攻医は専門分野の研修に専念する臨床助手1種と大学院医学研究科に併せて在籍し専門分野で研修する臨床助手2種（有給）があります。ご自身の将来計画に合わせて選択可能です。

【臨床研修医採用試験要綱並びに処遇】

●応募資格：第115回医師国家試験受験予定者

●病院見学：随時可能

●試験日程：7月下旬から9月初旬（詳細は後日HPからご確認ください）

●採用人数：54人

●採用後の身分：臨床研修医（常勤）

●給与：315,000円（1年目、2年目）※当直手当4回分含む

●当直回数：週1回、月平均4回

●当直料：1回8,000円

●休日・休暇：日曜日、祝日、第2・4土曜日、11月1日、12月29日～1月3日
年次有給休暇1年目11日・2年目12日、結婚休暇、産前産後休暇、忌引休暇、夏期休暇6日等

●社会保険：日本私立学校振興・共済事業団加入、労災保険加入、雇用保険加入

●寮・宿舎：築8年の寮あり。日中は管理人が常駐し、夜間は警備会社と接続しているため女性にも安心です。宅配ロッカーや敷地内にごみ集配倉庫もあり便利です。

※その他設備：オートロックシステム、高速インターネットサービス、オール電化給湯システム、

IHクッキングヒーター、ウォッシュレット付トイレなど

●応募先：〒259-1193伊勢原市下糟屋143 東海大学医学部付属病院 臨床研修部

Tel： 0463-93-1121（内線 4035・4036） Fax： 0463-94-8826 e-mail：
kenshuu@tokai-u.jp

臨床研修部 HP：<https://www.fuzoku-hosp.tokai.ac.jp/rinsho/>

【臨床研修医のメッセージ】

「症例数が豊富で充実した研修が可能」 臨床研修医 1 年(国立大学出身)

出身大学に関わらず、病院全体で臨床研修医を育てようとする環境があります。大学病院でありながら 1～3 次救急と様々な症例を豊富に経験できます。教育熱心な指導医が多いため、病態が複雑な症例や疑問に思ったことは一つ一つの症例を大切にしながら、複雑な病態も理解できるまで丁寧に指導してもらえるので大変勉強になります。また、メンター制度が充実していて、各科の指導医とは違う側面から、キャリアプランなど公私にわたり相談にのってもらっています。日々勉強で大変ですが、その分充実した研修生活を送っています。新しい環境の中に飛び込む時に不安な気持ちもあると思いますが、出身大学に区別なく受け入れてくれる、とても良い雰囲気のある病院です。

病院名：厚木市立病院

【病院の概要・特色】

当院は神奈川県央部の基幹的公立病院であり、疾患領域は多岐にわたり、偏ることがありません。このため、急性疾患から慢性疾患まで幅広い研修が可能です。夜間救急においても内科、外科、小児科、産婦人科が当直しているので、研修当直における急性疾患のプライマリ・ケアの豊富な経験が可能です。

なお、2012 年から始まった厚木市制で最大のプロジェクトとなる「新・厚木市立病院」の建設が 2017 年 12 月に竣工を迎え、研修環境としてもより充実した体制が整えられています。

【病院データ】

●病 院 長：長谷川 節（東京慈恵会医科大学 昭和 60 年卒）、出身：東京都

●病院所在地：〒243-8588 厚木市水引一丁目 16 番 36 号

●電 話 番 号：046-221-1570

●病院URL：<http://www.atsugicity-hp.jp/>

●ア ク セ ス：

（電車利用） 1. 小田急線本厚木駅下車、北口から徒歩約 15 分。

2. 小田急線本厚木駅下車、北口から神奈川中央交通 1 番乗場からバス乗車。
「市立病院前」下車、徒歩 2 分。

（車利用） ・東名高速道路、厚木インターチェンジから約 10 分。
（インターチェンジから約 3 km）

●病 床 数：347 床（一般 341 床、感染症 6 床）

●診 療 科 目：内科、消化器・肝臓内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓・高血圧内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、神経内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、放射線科、病理診断科、救急科、リハビリテーション科（27 診療科）

●平均外来患者数：（2018 年度）735 人／1 日

●平均入院患者数：（2018 年度）264 人／1 日

●保育施設の有無：有（院内保育室）

【研修データ】

●プログラムの特徴：

- ・急性疾患から慢性疾患まで広く研修することが可能です。
- ・ローテーション科に研修医が 1 人配置となることがほとんどであり、科ごとの手技をほぼ全て学ぶことができます。
- ・関連大学病院が 1 つであるため、診療科の垣根を越えた指導体制が築けています。

●医師数：67 人（常勤医師のみ）※ 2020 年 1 月時点

●指導医数：24 人 ※ 2020 年 1 月時点

●研修医数：10 人（1 年目 5 人、2 年目 5 人（うち男性 8 名、女性 2 名））

●研修医の主な出身大学：東京慈恵会医科大学、東海大学、福島県立医科大学、産業医科大学
（過去 3 年間採用実績）

●専攻医の研修プログラム：無（多くの診療科で東京慈恵会医科大学の連携施設になっています。）

●初期研修終了後の進路：

- ・研修医は、原則的に自らの希望により研修終了後の進路を決定します。
- ・希望進路先があれば推薦状を交付する等の助力を行います。

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格：(1) 2021 年 3 月卒業見込で医師国家試験受験予定者
(2) 2021 年 3 月以前の卒業で医師国家試験受験予定者
- 病院見学：希望を受けて日程調整の上、常時実施している。
- 試験日程：例年、7、8 月頃に 3 回程度の選考試験を実施。いずれかを受験。
(2020 年度の採用試験日程はまだ決定しておりません。6 月を目途に決定し、当院ホームページ
他で公表します。)
- 採用人数：5 人 (予定)
- 採用後の身分：厚木市病院事業 会計年度任用職員 (フルタイム)
- 給 与：(1 年目) 月額 355,400 円程度 (2 年目) 月額 372,280 円程度
その他 当直代は別途 15,000 円/回 (月平均 6 回程度)
賞 与 (1 年目) 1.69 ヶ月 (2 年目) 2.60 ヶ月
- 当直回数：(初期 1 年目、2 年目)：月平均 6 回程度
- 休日・休暇：土日祝日。有給休暇 1 年次 10 日、2 年次 11 日
夏季休暇 無、年末年始 有 (6 日)、その他休暇 有 (忌引、療養休暇等)
- 社会保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険に加入。
- 寮・宿舍：医療従事者公舎内に研修医用宿舎を確保。
- 応 募 先：〒243-8588 神奈川県厚木市水引 1 丁目 1 6 番 3 6 号
厚木市立病院 病院総務課 人事・労務担当 三木
電話：046 (221) 1570 [内線3215] FAX：046 (222) 7836
E-mail：miki.kango@city.atsugi.kanagawa.jp

【病院から皆さんへ：研修医の声】

- ↓現在研修 1 年目の先生が、6 月初めに後輩医学生に対して書いてくれた文章です。

厚木市立病院で初期研修医として働き始めて 2 ヶ月が経過しました。4 月は新しい環境に慣れるのでとにかく必死でしたが、だんだん落ち着いて仕事にも慣れて出来るようになりました。現在も日々精進のために勉強してることには変わりありませんが、とても充実した日々を過ごせています。

現在、私は外科を回らせていただいています。外科の先生方に限った話ではありませんが、厚木市立病院には教育熱心な先生方が多数在籍しており、親身に指導してくれています。そのお陰で、たかが 1、2 ヶ月でも「自分でも成長したな」と感じる事が多々あります(「まだまだだな」と思うことの方がほとんどですが、、、)。大学病院となると、やれる手技などにも限りがありますが、研修医が望めば望むほどやらせてくれる環境が厚木市立病院にはあります。

また、先生方の雰囲気も良く、気軽にコンサルテーションをかけたり、質問したり出来るのも厚木市立病院の良さだと思います。これに関しては文章で伝えるよりも実際に、皆さんが病院見学に訪れて感じてほしいと思います。

是非一度厚木市立病院に見学で訪れて、その雰囲気の良いさを感じてみてください。そこで「肌に合いそうだな」と感じたら、是非一緒に働きましょう。お待ちしております。

病院名：海老名総合病院

【病院の概要・特色】

『30 数万人の急性期医療を支える地域支援病院』

『平成 29 年 4 月 1 日救命救急センター開設』

当院は海老名市をはじめ近隣の座間市、綾瀬市などの神奈川県県央エリアで急性期医療を担っており、平成 20 年には県内の民間病院では初めて地域医療支援病院の認可を受けました。医師をはじめ、多くの医療職を育てる教育的機関でもあります。

また、平成 29 年 4 月 1 日には救命救急センターも開設し、「断らない救急」を目指して始動しました。昨年度は 8,368 台の救急車受け入れ実績があり、今後は更に増加することが見込まれます。

【病院データ】

- 病 院 長： 服部 智任
- 病院所在地： 243-0433 神奈川県海老名市河原口 1320
- 電 話 番 号： 046-233-1311
- 病院URL： <http://ebina.jinai.jp>
- ア ク セ ス： 小田急小田原線・相鉄線・JR 相模線 海老名駅より徒歩約 12 分
- 病 床 数： 469 床
- 診 療 科 目： 総合診療科、消化器内科、血液内科、糖尿病内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、外科、産婦人科、眼科、小児科、整形外科、形成外科、泌尿器科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、麻酔科、放射線科、病理診断科、歯科・歯科口腔外科、救急科
- 平均外来患者数： 408.2 人／1 日
- 平均入院患者数： 381.8 人／1 日

【研修データ】

●研修プログラムの特色

2 年間の総合診療方式とし、プライマリケアの能力に優れた医師の養成を図る。研修は基本的には海老名総合病院（基幹型）で行い、内科 24 週、外科 8 週、救急 12 週（麻酔科 4 週含む）、小児科・産婦人科・精神科各 4 週ずつを必修、2 年次には地域医療 6 週を必修とし、残りの期間は自由に選択できる。

- 医師数（病院全体）： 110 人（男性 89 人、女性 21 人）常勤のみ
- 指導医数： 42 人
- 研修医数： 15 人（1 年目 8 人、2 年目 7 人）
- 研修医の主な出身大学： 秋田大学・北里大学・信州大学・東海大学・東邦大学・富山大学・日本医科大学など（平成 31 年度研修医出身大学）
- 初期研修終了後の研修プログラム： 有
- 初期研修終了後の進路： 出身大学病院や市中病院など様々。初期研修修了後も当院で勤務している医師も数名在籍。

【採用試験要綱及び処遇】

- 応募資格： 医師免許取得見込み者または医師免許取得者
- 病院見学： 随時
- 試験日程： 1 回目…7 月下旬／2 回目…8 月下旬／9 月…9 月上旬
- 採用人数： 8 名
- 採用後の身分： 常勤
- 給 与： 375,000 円（1 年目）、 425,000 円（2 年目）
- 諸 手 当： 当直手当、住宅手当
- 当直回数： 月 4 回
- 当 直 料： 1 回 15,000 円（1 年目）、1 回 20,000 円（2 年目）
- 休日・休暇： 土曜日午後、日祝日、年末年始、当直明け半休
- 社会保険： 厚生年金 他
- 寮・宿舎： 有（当法人の規定による）
- 応 募 先： 243-0433 神奈川県海老名市河原口 1320
海老名総合病院 臨床研修管理委員会事務局
Tel 046-233-1311 FAX 046-232-8937

Mail rinsyou_kensyu@jin-ai-.or.jp

【病院から皆さんへ：研修医の声】

当院は、神奈川県県央の海老名市、座間市、綾瀬市の中核医療機関で、内科、外科、産婦人科、小児科をはじめ、プライマリケアに必要な全科を網羅した病床数 469 床の 24 時間救急体制の急性期型総合病院です。また、グループ内には在宅医療、慢性期病床を有した施設、介護施設などもあり医療だけでなく、介護・福祉に関連した業務内容についても勉強することが出来ます。少人数での研修であるため、一人当たり多くの症例を経験することになり、臨床医として研鑽を積むフィールドとしては最適であると自負しています。興味がある方は是非一度見学にお越しください。お待ちしております。

令和２年度県内基幹施設一覧

資料提供：神奈川県医療課

	医療圏	医療機関名	診療科数	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科	総合診療
1	横浜 (北部)	横浜労災病院	4	○	○				○										○			
2		昭和大学藤が丘病院	2	○																○		
3		昭和大学横浜市北部病院	6	○	○		○	○		○						○						
4		済生会横浜市東部病院	7	○	○		○	○								○			○			○
5		昭和大学藤が丘リハビリテーション病院	1																		○	
6		汐田総合病院	1																			○
7	(横浜 (西部)	けいゆう病院	1	○																		
8		横浜医療センター	5	○				○						○					○			○
9		横浜旭中央総合病院	2	○												○						
10		横浜国立市民病院	3	○	○			○														
11		神奈川県立がんセンター	2												○	○						
12		戸塚病院	1																			○
13	横浜 (南部)	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	1	○																		
14		横浜市立みなと赤十字病院	5	○				○	○							○			○			
15		横浜栄共済病院	1	○																		
16		横浜市立大学附属市民総合医療センター	10	○		○	○	○		○	○		○					○	○	○		
17		横浜南共済病院	1	○																		
18		横浜市立大学附属病院	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
19	川崎 北部	神奈川県立精神医療センター	1				○															
20		済生会横浜市南部病院	2	○				○														
21		神奈川県立こども医療センター	1		○																	
22		帝京大学医学部附属溝口病院	6	○	○	○	○						○			○						
23		聖マリアンナ医科大学病院	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
24		新百合ヶ丘総合病院	4	○						○						○			○			
25	川崎 南部	川崎市立多摩病院	2	○																		○
26		多摩ファミリークリニック	1																			○
27		久地診療所	1																			○
28		川崎市立川崎病院	5	○	○				○							○			○			
29		日本鋼管病院	1	○																		
30		関東労災病院	1	○																		
31	相模原	川崎市立井田病院	1	○																		
32		総合新川橋病院	1								○											
33		日本医科大学武蔵小杉病院	2													○			○			
34		川崎協同病院	1																			○
35		北里大学病院	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
36		相模原病院	1	○																		
37	横須賀・三浦	相模原協同病院	2	○				○														
38		北里大学東病院	1				○															
39		東芝林間病院	1	○																		
40		横須賀共済病院	2	○				○														
41		横須賀市立市民病院	1	○																		
42		横須賀市立うわまち病院	3	○	○														○			
43	湘南 東部	湘南鎌倉総合病院	1	○				○		○					○	○	○		○	○		○
44		久里浜医療センター	1				○															
45		福井記念病院	1				○															
46		葉山ハートセンター	1																			○
47		藤沢市民病院	4	○	○			○											○			
48		湘南藤沢徳洲会病院	2	○																		○
49	湘南 西部	茅ヶ崎市立病院	1	○																		○
50		茅ヶ崎徳洲会病院	1																			
51		湘南東部総合病院	1	○																		
52		藤沢湘南台病院	1																			○
53		平塚共済病院	1	○																		
54		東海大学医学部付属病院	19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	県央	平塚市民病院	3	○				○											○			
56		東名厚木病院	2	○																		○
57		大和市立病院	1	○																		
58		海老名総合病院	4	○				○								○						○
59		森の里病院	1																			○
60	県西	神奈川県立足柄上病院	2	○																		○
	合計			42	13	6	12	17	7	8	6	4	6	5	6	15	5	4	15	7	3	21

1. 内科

○国から提供された専門研修におけるプログラムデータを基に作成（提供データの不備により実際の採用数とは異なる場合があります）

基幹施設の定員（H31）が不明なものについては採用（H31）と同数扱いとしています。

横浜（北部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
横浜労災	13	不明			8
昭和大藤が丘	25	10			10
昭和大北部	20	10			9
横浜市東部	8	3			3
4施設	66人	31人			30人

横浜（西部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
けいゆう	6	5			4
横浜医療	5	5			4
横浜旭中央	3	不明			1
横浜市民	6	6			3
聖マリアンナ西部	4	不明			3
5施設	24人	23人			15人

横浜（南部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
みなと赤十字	4	7			2
横浜栄共済	4	3			3
市大センター	30	不明			12
横浜南共済	6	6			5
市大附属	30	不明			16
横浜市南部	6	6			5
6施設	80人	50人			43人

川崎北部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
帝京溝口	5	3			3
聖マリアンナ	45	13			13
新百合ヶ丘	3	不明			1
市立多摩	3	不明			3
4施設	56人	20人			20人

川崎南部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
市立川崎	12	不明			4
日本鋼管	9	6			4
関東労災	5	4			4
市立井田	6	3			3
4施設	32人	17人			15人

相模原					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
北里	57	28			19
相模原	5	4			1
相模原協同	3	3			2
東芝林間	3	新設			新設
4施設	68人	35人			22人

横須賀・三浦					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
横須賀共済	8	5			4
横須賀市民	3	不明			3
うわまち	3	5			0
湘南鎌倉	10	8			4
4施設	24人	21人			11人

湘南東部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
藤沢市民	5	不明			5
湘南藤沢徳洲会	5	5			0
茅ヶ崎市立	5	5			5
湘南東部	3	不明			0
4施設	18人	15人			10人

湘南西部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
平塚共済	3	3			2
東海	25	17			14
平塚市民	5	3			3
3施設	33人	23人			19人

県央					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
東名厚木	3	3			1
大和市立	4	3			3
海老名総合	3	3			3
3施設	10人	9人			7人

県西					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
足柄上	3	3			2
1施設	3人	3人			2人

神奈川県全体					
基幹施設 (R02)	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
42施設	414人	247人	-		194人

(参考)

「日本専門医機構」提供データ※1

都市部(5県)と全国					
都道府県	定員	応募	H31採用	H30採用	
東京都	541	513	515	535	
神奈川県	188	185	186	176	
愛知県	173	161	162	135	
大阪府	262	211	211	217	
福岡県	182	143	143	157	
都市部(5県)合計	1,346	1,213	1,217	1,220	
全国合計	-	2,773	2,794	2,670	

※1 日本専門医機構公表資料より引用。応募人数は二次募集（平成31年2月18日）時点（一次採用を含む）
※2 R02定員数は一次登録での希望数（令和元年8月時点）

2. 小児科

○国から提供された専門研修におけるプログラムデータを基に作成（提供データの不備により実際の採用数とは異なる場合があります）

基幹施設の定員（H31）が不明なものについては採用（H31）と同数扱いとしています。

横浜（北部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
横浜労災	2	2			1
横浜市東部	1	1			0
昭和大北部	2	新設			新設
3施設	5人	3人	人		1人

横浜（西部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
横浜市民	2	2			1
1施設	2人	2人	人		1人

横浜（南部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
市大附属	15	15			13
こども医療	5	5			5
2施設	20人	20人	人		18人

川崎北部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
帝京溝口	2	新設			新設
聖マリアナ	7	不明			2
2施設	9人	2人	人		2人
川崎南部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
市立川崎	3	不明			2
1施設	3人	2人	人		2人
相模原					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
北里	7	4			1
1施設	7人	4人	人		1人
横須賀・三浦					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
うわまち	6	6			1
1施設	6人	6人	人		1人
湘南東部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
藤沢市民	4	不明			0
1施設	4人	人	人		人
湘南西部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
東海	5	5			2
1施設	5人	5人	人		2人
県央					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					
県西					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					
神奈川県全体					
基幹施設 (R02)	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
13施設	61人	44人	-		28人

(参考)

「日本専門医機構」提供データ※1

都市部（5県）と全国					
都道府県	定員	応募	H31採用	H30採用	
東京都	124	124	123	141	
神奈川県	56	26	26	24	
愛知県	52	23	23	30	
大阪府	79	42	42	46	
福岡県	30	28	28	29	
都市部（5県）合計	341	243	242	270	
全国合計	-	547	548	573	

※1 日本専門医機構公表資料より引用。応募人数は二次募集（平成31年2月18日）時点（一次採用を含む）

※2 R02定員数は一次登録での希望数（令和元年8月時点）

3. 皮膚科

○国から提供された専門研修におけるプログラムデータを基に作成（提供データの不備により実際の採用数とは異なる場合があります）
基幹施設の定員（H31）が不明なものについては採用（H31）と同数扱いとしています。

横浜（北部）				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

横浜（西部）				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

横浜（南部）				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
市大センター	3	5		0
市大附属	7	6		5
2施設	10人	11人	人	5人

川崎北部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
帝京溝口	3	新設		
聖マリアナ	4	不明		3
2施設	7人	3人	人	3人

川崎南部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

相模原				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
北里	6	5		2
1施設	6人	5人	人	2人

横須賀・三浦				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

湘南東部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

湘南西部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
東海	5	4		4
1施設	5人	4人	人	4人

県央				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

県西				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

神奈川県全体				
基幹施設 (R02)	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
6施設	28人	23人	-	14人

(参考)
「日本専門医機構」提供データ※1

都市部(5県)と全国				
都道府県	定員	応募	H31採用	H30採用
東京都	88	86	86	88
神奈川県	22	15	15	16
愛知県	22	22	22	20
大阪府	27	21	20	25
福岡県	16	16	16	11
都市部(5県)合計	175	160	159	160
全国合計	-	321	321	271

※1 日本専門医機構公表資料より引用。応募人数は二次募集（平成31年2月18日）時点（一次採用を含む）
※2 R02定員数は一次登録での希望数（令和元年8月時点）

4. 精神科

○国から提供された専門研修におけるプログラムデータを基に作成（提供データの不備により実際の採用数とは異なる場合があります）
基幹施設の定員（H31）が不明なものについては採用（H31）と同数扱いとしています。

横浜（北部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
昭和大北部	8	新設			
横浜市東部	6	新設			
2施設					

横浜（西部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

横浜（南部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
市大センター	5	新設			0
市大附属	10	不明			5
精神医療	3	3			3
3施設	18人	8人	人		8人

川崎北部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
帝京溝口	3	3			2
聖マリアナ	5	不明			0
2施設	8人	3人	人		2人

川崎南部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

相模原					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
北里	10	新設			
北里東	10	20			4
2施設	20人	20人	人		4人

横須賀・三浦					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
久里浜医療	2	不明			0
福井記念	4	不明			2
2施設	6人	人	人		2人

湘南東部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

湘南西部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
東海	8	8			8
1施設	8人	8人	人		8人

県央					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
海老名総合	中止	不明			
1施設	人	人	人		人

県西					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

神奈川県全体					
基幹施設 (R02)	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
12施設	60人	39人	-		24人

(参考)

「日本専門医機構」提供データ※1

都市部(5県)と全国					
都道府県	定員	応募	H31採用	H30採用	
東京都	96	95	95	108	
神奈川県	35	27	27	25	
愛知県	30	28	28	19	
大阪府	38	38	38	29	
福岡県	28	28	28	25	
都市部(5県)合計	227	216	216	206	
全国合計	-	451	465	441	

※1 日本専門医機構公表資料より引用。応募人数は二次募集（平成31年2月18日）時点（一次採用を含む）
※2 R02定員数は一次登録での希望数（令和元年8月時点）

5. 外科

○国から提供された専門研修におけるプログラムデータを基に作成（提供データの不備により実際の採用数とは異なる場合があります）
基幹施設の定員（H31）が不明なものについては採用（H31）と同数扱いとしています。

横浜（北部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
昭和大北部	8	8		確認中	
横浜市東部	6	6			3
2施設	14人	14人	人		3人

横浜（西部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
横浜医療	2	2			1
横浜市民	3	3			3
2施設	5人	5人	人		4人

横浜（南部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
みなと赤十字	2	2			1
市大センター	10	10			10
市大附属	10	10			10
横浜市南部	1	1			0
4施設	23人	23人	人		21人

川崎北部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
聖マリアナ	12	不明			4
1施設	12人	4人	人		4人

川崎南部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

相模原					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
北里	16	16			9
相模原協同	4	新設			新設
2施設	20人	16人	人		9人

横須賀・三浦					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
横須賀共済	3	3			1
湘南鎌倉	10	10			5
2施設	13人	13人	人		6人

湘南東部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
藤沢市民	1	不明			2
1施設	1人	2人	人		2人

湘南西部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
東海	10	10			2
平塚市民	3	3			0
2施設	13人	13人	人		2人

県央					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
海老名総合	1	1			1
1施設	1人	1人	人		1人

県西					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

神奈川県全体					
基幹施設 (R02)	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
17施設	102人	91人	-		52人

(参考)

「日本専門医機構」提供データ※1

都市部（5 県）と全国					
都道府県	定員	応募	H31採用	H30採用	
東京都	-	148	148	176	
神奈川県	-	53	53	42	
愛知県	-	55	55	51	
大阪府	-	72	72	71	
福岡県	-	45	46	39	
都市部（5県）合計	-	373	374	379	
全国合計	-	820	826	805	

※1 日本専門医機構公表資料より引用。応募人数は二次募集（平成31年2月18日）時点（一次採用を含む）
※2 R02定員数は一次登録での希望数（令和元年8月時点）

6. 整形外科

○国から提供された専門研修におけるプログラムデータを基に作成（提供データの不備により実際の採用数とは異なる場合があります）
基幹施設の定員（H31）が不明なものについては採用（H31）と同数扱いとしています。

横浜（北部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
横浜労災	5	新設			
1施設					

横浜（西部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

横浜（南部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
みなと赤十字	2	2			0
市大附属	20	18			12
2施設	22人	20人	人		12人

川崎北部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
聖マリアナ	6	不明			3
1施設	6人	3人	人		3人
川崎南部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
市立川崎	2	不明			1
1施設	2人	1人	人		1人
相模原					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
北里	8	8			8
1施設	8人	8人	人		8人
横須賀・三浦					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					
湘南東部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					
湘南西部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
東海	6	6			1
1施設	6人	6人	人		1人
県央					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					
県西					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					
神奈川県全体					
基幹施設 (R02)	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
7施設	44人	38人	-		25人

(参考)					
「日本専門医機構」提供データ※1					
都市部（5県）と全国					
都道府県	定員	応募	H31採用	H30採用	
東京都	117	110	110	116	
神奈川県	69	25	25	32	
愛知県	43	25	25	34	
大阪府	63	41	41	36	
福岡県	46	45	45	41	
都市部（5県）合計	338	246	246	259	
全国合計	-	512	514	552	

※1 日本専門医機構公表資料より引用。応募人数は二次募集（平成31年2月18日）時点（一次採用を含む）
※2 R02定員数は一次登録での希望数（令和元年8月時点）

7. 産婦人科

○国から提供された専門研修におけるプログラムデータを基に作成（提供データの不備により実際の採用数とは異なる場合があります）
基幹施設の定員（H31）が不明なものについては採用（H31）と同数扱いとしています。

横浜（北部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
昭和大北部	5	3			1
1施設	5人	3人	人		1人

横浜（西部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

横浜（南部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
市大センター	10	8			4
市大附属	12	10			5
2施設	22人	18人	人		9人

川崎北部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
聖マリアナ	8	不明			2
新百合ヶ丘	2	新設			新設
2施設	10人	2人	人		2人

川崎南部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

相模原					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
北里	10	10			1
1施設	10人	10人	人		1人

横須賀・三浦					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
湘南鎌倉	7	7			3
1施設	7人	7人	人		3人

湘南東部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

湘南西部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
東海	7	7			3
1施設	7人	7人	人		3人

県央					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

県西					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

神奈川県全体					
基幹施設 (R02)	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
8施設	61人	47人	-		19人

(参考)

「日本専門医機構」提供データ※1

都市部(5県)と全国				
都道府県	定員	応募	H31採用	H30採用
東京都	-	126	127	102
神奈川県	-	19	19	28
愛知県	-	28	28	28
大阪府	-	31	31	34
福岡県	-	23	23	26
都市部(5県)合計	-	227	228	218
全国合計	-	429	437	441

※1 日本専門医機構公表資料より引用。応募人数は二次募集（平成31年2月18日）時点（一次採用を含む）
※2 R02定員数は一次登録での希望数（令和元年8月時点）

8. 眼科

○国から提供された専門研修におけるプログラムデータを基に作成（提供データの不備により実際の採用数とは異なる場合があります）
基幹施設の定員（H31）が不明なものについては採用（H31）と同数扱いとしています。

横浜（北部）				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

横浜（西部）				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

横浜（南部）				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
市大センター	4	5		5
市大附属	6	6		6
2施設	10人	11人	人	11人

川崎北部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
聖マリアンナ	4	不明		3
1施設	4人	3人	人	3人

川崎南部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
総合新川橋	1	1		0
1施設	1人	1人	人	人

相模原				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
北里	4	4		3
1施設	4人	4人	人	3人

横須賀・三浦				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

湘南東部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

湘南西部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
東海	3	2		2
1施設	3人	2人	人	2人

県央				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

県西				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

神奈川県全体				
基幹施設 (R02)	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
6施設	22人	21人	-	19人

(参考)
「日本専門医機構」提供データ※1

都市部（5県）と全国				
都道府県	定員	応募	H31採用	H30採用
東京都	75	74	75	76
神奈川県	20	19	20	19
愛知県	18	18	18	18
大阪府	31	28	28	30
福岡県	11	11	11	10
都市部（5県）合計	155	150	152	153
全国合計	-	332	334	328

※1 日本専門医機構公表資料より引用。応募人数は二次募集（平成31年2月18日）時点（一次採用を含む）
※2 R02定員数は一次登録での希望数（令和元年8月時点）

9. 耳鼻咽喉科

○国から提供された専門研修におけるプログラムデータを基に作成（提供データの不備により実際の採用数とは異なる場合があります）
基幹施設の定員（H31）が不明なものについては採用（H31）と同数扱いとしています。

横浜（北部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

横浜（西部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

横浜（南部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
市大附属	14	12			12
1施設	14人	12人			人 12人

川崎北部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
聖マリアナ	5	不明			2
1施設	5人	2人			人 2人

川崎南部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

相模原					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
北里	5	4			3
1施設	5人	4人			人 3人

横須賀・三浦					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

湘南東部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

湘南西部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
東海	6	5			2
1施設	6人	5人			人 2人

県央					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

県西					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

神奈川県全体					
基幹施設 (R02)	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
4施設	30人	23人	-		19人

(参考)
「日本専門医機構」提供データ※1

都市部(5県)と全国					
都道府県	定員	応募	H31採用	H30採用	
東京都	58	57	57	63	
神奈川県	21	19	19	15	
愛知県	14	14	14	14	
大阪府	20	20	20	21	
福岡県	11	11	11	10	
都市部(5県)合計	124	121	121	123	
全国合計	-	280	282	267	

※1 日本専門医機構公表資料より引用。応募人数は二次募集（平成31年2月18日）時点（一次採用を含む）
※2 R02定員数は一次登録での希望数（令和元年8月時点）

10. 泌尿器科

○国から提供された専門研修におけるプログラムデータを基に作成（提供データの不備により実際の採用数とは異なる場合があります）
基幹施設の定員（H31）が不明なものについては採用（H31）と同数扱いとしています。

横浜（北部）					横浜（西部）					横浜（南部）				
基幹施設	定員		採用		基幹施設	定員		採用		基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31		R02	H31	R02	H31		R02	H31	R02	H31
										市大センター	5	5		4
										市大附属	5	5		5
施設					施設					2施設	10人	10人	人	9人

川崎北部					川崎南部					相模原				
基幹施設	定員		採用		基幹施設	定員		採用		基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31		R02	H31	R02	H31		R02	H31	R02	H31
帝京溝口	4	4		1						北里	5	5		3
聖マリアナ	4	4		0										
2施設	8人	8人	人	1人	施設					1施設	5人	5人	人	3人

横須賀・三浦					湘南東部					湘南西部				
基幹施設	定員		採用		基幹施設	定員		採用		基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31		R02	H31	R02	H31		R02	H31	R02	H31
										東海	5	5		2
施設					施設					1施設	5人	5人	人	2人

県央					県西					神奈川県全体				
基幹施設	定員		採用		基幹施設	定員		採用		基幹施設 (R02)	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31		R02	H31	R02	H31		R02	H31	R02	H31
施設					施設					6施設	28人	28人	-	15人

(参考)

「日本専門医機構」提供データ※1

都市部（5県）と全国				
都道府県	定員	応募	H31採用	H30採用
東京都	50	50	50	51
神奈川県	16	15	15	15
愛知県	11	11	11	10
大阪府	19	19	19	20
福岡県	12	9	9	15
都市部（5県）合計	108	104	104	111
全国合計	-	253	255	274

※1 日本専門医機構公表資料より引用。応募人数は二次募集（平成31年2月18日）時点（一次採用を含む）
※2 R02定員数は一次登録での希望数（令和元年8月時点）

11. 脳神経外科

○国から提供された専門研修におけるプログラムデータを基に作成（提供データの不備により実際の採用数とは異なる場合があります）
基幹施設の定員（H31）が不明なものについては採用（H31）と同数扱いとしています。

横浜（北部）				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

横浜（西部）				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
横浜医療	2	2		1
1施設	2人	2人	人	1人

横浜（南部）				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
市大附属	7	4		4
1施設	7人	4人	人	4人

川崎北部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
聖マリアナ	3	1		1
1施設	3人	1人	人	1人

川崎南部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

相模原				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
北里	2	2		2
1施設	2人	2人	人	2人

横須賀・三浦				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

湘南東部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

湘南西部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
東海	3	3		2
1施設	3人	3人	人	2人

県央				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

県西				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

神奈川県全体				
基幹施設 (R02)	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
5施設	17人	12人	-	10人

(参考)
「日本専門医機構」提供データ※1

都市部(5県)と全国				
都道府県	定員	応募	H31採用	H30採用
東京都	56	55	55	43
神奈川県	11	11	11	11
愛知県	18	18	18	12
大阪府	19	19	19	15
福岡県	17	15	15	16
都市部(5県)合計	121	118	118	97
全国合計	-	253	252	224

※1 日本専門医機構公表資料より引用。応募人数は二次募集（平成31年2月18日）時点（一次採用を含む）
※2 R02定員数は一次登録での希望数（令和元年8月時点）

12. 放射線科

○国から提供された専門研修におけるプログラムデータを基に作成（提供データの不備により実際の採用数とは異なる場合があります）
基幹施設の定員（H31）が不明なものについては採用（H31）と同数扱いとしています。

横浜（北部）				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

横浜（西部）				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
がんセンター	2	2		1
1施設	2人	2人	人	1人

横浜（南部）				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
市大附属	8	6		3
1施設	8人	6人	人	3人

| | | | | |

川崎北部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
聖マリアナ	10	不明		3
1施設	10人	3人	人	3人

川崎南部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

相模原				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
北里	5	4		0
1施設	5人	4人	人	人

| | | | | |

横須賀・三浦				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
湘南鎌倉	2	2		1
1施設	2人	2人	人	1人

湘南東部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

湘南西部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
東海	4	4		2
1施設	4人	4人	人	2人

| | | | | |

県央				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

県西				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

神奈川県全体				
基幹施設 (R02)	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
6施設	31人	21人	-	10人

(参考)
「日本専門医機構」提供データ※1

都市部（5県）と全国				
都道府県	定員	応募	H31採用	H30採用
東京都	56	55	46	50
神奈川県	17	10	10	15
愛知県	18	6	5	14
大阪府	24	15	16	22
福岡県	15	7	8	15
都市部（5県）合計	130	93	85	116
全国合計	-	232	234	260

※1 日本専門医機構公表資料より引用。応募人数は二次募集（平成31年2月18日）時点（一次採用を含む）
※2 R02定員数は一次登録での希望数（令和元年8月時点）

13. 麻酔科

○国から提供された専門研修におけるプログラムデータを基に作成（提供データの不備により実際の採用数とは異なる場合があります）
基幹施設の定員（H31）が不明なものについては採用（H31）と同数扱いとしています。

横浜（北部）				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
昭和大北部	4	新設		新設
横浜市東部	4	1		1
2施設	8人	1人	人	1人

横浜（西部）				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
がんセンター	1	1	0	0
横浜旭中央	3	新設		新設
2施設	4人	1人	人	人

横浜（南部）				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
みなと赤十字	2	3		0
市大附属	24	17		17
2施設	26人	20人	人	17人

川崎北部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
帝京溝口	2	1		0
聖マリアナ	7	不明		5
新百合ヶ丘	3	不明		0
3施設	12人	6人	人	5人

川崎南部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
市立川崎	3	不明		0
武蔵小杉	6	不明		2
2施設	9人	2人	人	2人

相模原				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
北里	10	8		2
1施設	10人	8人	人	2人

横須賀・三浦				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
湘南鎌倉	2	8		2
1施設	2人	8人	人	2人

湘南東部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

湘南西部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
東海	10	1		1
1施設	10人	1人	人	1人

県央				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
海老名総合	2	新設		新設
1施設	2人	人	人	人

県西				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

神奈川県全体				
基幹施設 (R02)	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
15施設	83人	47人	-	30人

(参考)

「日本専門医機構」提供データ※1

都市部（5県）と全国				
都道府県	定員	応募	H31採用	H30採用
東京都	111	104	103	105
神奈川県	44	28	29	28
愛知県	33	24	26	30
大阪府	55	37	38	34
福岡県	34	31	31	24
都市部（5県）合計	277	224	227	221
全国合計	-	484	489	495

※1 日本専門医機構公表資料より引用。応募人数は二次募集（平成31年2月18日）時点（一次採用を含む）
※2 R02定員数は一次登録での希望数（令和元年8月時点）

14. 病理

○国から提供された専門研修におけるプログラムデータを基に作成（提供データの不備により実際の採用数とは異なる場合があります）
基幹施設の定員（H31）が不明なものについては採用（H31）と同数扱いとしています。

横浜（北部）				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

横浜（西部）				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

横浜（南部）				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
市大附属	6	2		2
1施設	6人	2人	人	2人

川崎北部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
聖マリアナ	3	2		0
1施設	3人	2人	人	人

川崎南部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

相模原				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
北里	4	4		2
1施設	4人	4人	人	2人

横須賀・三浦				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
湘南鎌倉	2	2		1
1施設	2人	2人	人	1人

湘南東部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

湘南西部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
東海	3	3		0
1施設	3人	3人	人	人

県央				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

県西				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

神奈川県全体				
基幹施設 (R02)	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
5施設	18人	13人	-	5人

(参考)

「日本専門医機構」提供データ※1

都市部（5県）と全国				
都道府県	定員	応募	H31採用	H30採用
東京都	-	25	25	25
神奈川県	-	4	5	4
愛知県	-	5	5	8
大阪府	-	9	10	7
福岡県	-	6	7	7
都市部（5県）合計	-	49	52	51
全国合計	-	113	118	114

※1 日本専門医機構公表資料より引用。応募人数は二次募集（平成31年2月18日）時点（一次採用を含む）
※2 R02定員数は一次登録での希望数（令和元年8月時点）

15. 臨床検査

○国から提供された専門研修におけるプログラムデータを基に作成（提供データの不備により実際の採用数とは異なる場合があります）
基幹施設の定員（H31）が不明なものについては採用（H31）と同数扱いとしています。

横浜（北部）				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

横浜（西部）				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

横浜（南部）				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
市大センター	1	2		0
市大附属	中止	1		0
2施設	1人	3人	人	人

川崎北部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
聖マリアナ	1	1		0
1施設	1人	1人	人	人

川崎南部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

相模原				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
北里	1	1		0
1施設	1人	1人	人	人

横須賀・三浦				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

湘南東部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

湘南西部				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
東海	2	1		1
1施設	2人	1人	人	1人

県央				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

県西				
基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
施設				

神奈川県全体				
基幹施設 (R02)	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31
4施設	5人	6人	-	1人

(参考)

「日本専門医機構」提供データ※1

都市部(5県)と全国				
都道府県	定員	応募	H31採用	H30採用
東京都	-	4	5	3
神奈川県	-	1	1	1
愛知県	-	0	0	0
大阪府	-	0	0	0
福岡県	-	0	0	0
都市部(5県)合計	-	5	6	4
全国合計	-	17	19	6

※1 日本専門医機構公表資料より引用。応募人数は二次募集（平成31年2月18日）時点（一次採用を含む）
※2 R02定員数は一次登録での希望数（令和元年8月時点）

16. 救急科

○国から提供された専門研修におけるプログラムデータを基に作成（提供データの不備により実際の採用数とは異なる場合があります）
基幹施設の定員（H31）が不明なものについては採用（H31）と同数扱いとしています。

横浜（北部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
横浜労災	3	3			0
横浜市東部	5	5			3
2施設	8人	8人	人		3人

横浜（西部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
横浜医療	2	新設			
1施設	2人	人	人		人

横浜（南部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
みなと赤十字	6	6			1
市大センター	8	不明			8
2施設	14人	14人	人		9人

川崎北部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
聖マリアナ	5	不明			11
新百合ヶ丘	2	2			0
2施設	7人	13人	人		11人
川崎南部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
市立川崎	4	6			0
武蔵小杉	6	不明			0
2施設	10人	6人	人		人
相模原					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
北里	4	4			1
1施設	4人	4人	人		1人
横須賀・三浦					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
うわまち	2	2			0
湘南鎌倉	4	4			4
2施設	6人	6人	人		4人
湘南東部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
藤沢市民	2	不明			0
1施設	2人	人	人		人
湘南西部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
東海	7	7			2
平塚市民	1	1			0
2施設	8人	8人	人		2人
県央					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					
県西					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					
神奈川県全体					
基幹施設 (R02)	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
15施設	61人	59人	-		30人

(参考)

「日本専門医機構」提供データ※1

都市部（5県）と全国				
都道府県	定員	応募	H31採用	H30採用
東京都	67	57	59	58
神奈川県	38	26	26	24
愛知県	16	9	9	6
大阪府	34	21	21	13
福岡県	25	9	9	10
都市部（5県）合計	180	122	124	111
全国合計	-	278	286	267

※1 日本専門医機構公表資料より引用。応募人数は二次募集（平成31年2月18日）時点（一次採用を含む）
※2 R02定員数は一次登録での希望数（令和元年8月時点）

17. 形成外科

○国から提供された専門研修におけるプログラムデータを基に作成（提供データの不備により実際の採用数とは異なる場合があります）
基幹施設の定員（H31）が不明なものについては採用（H31）と同数扱いとしています。

横浜（北部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
昭和大藤が丘	9	16			5
1施設	9人	16人	人		5人

横浜（西部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

横浜（南部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
市大センター	3	3			2
市大附属	3	不明			3
2施設	6人	6人	人		5人

川崎北部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
聖マリアナ	3	不明			3
1施設	3人	3人	人		3人
川崎南部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					
相模原					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
北里	4	4			4
1施設	4人	4人	人		4人
横須賀・三浦					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
湘南鎌倉	1	新設			新設
1施設	1人	人	人		人
湘南東部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					
湘南西部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
東海	2	3			0
1施設	2人	3人	人		人
県央					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					
県西					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					
神奈川県全体					
基幹施設 (R02)	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
7施設	25人	32人	-		17人

(参考)

「日本専門医機構」提供データ※1

都市部（5県）と全国				
都道府県	定員	応募	H31採用	H30採用
東京都	53	48	48	50
神奈川県	12	17	17	12
愛知県	6	6	6	5
大阪府	20	20	19	18
福岡県	10	7	7	3
都市部（5県）合計	101	98	97	88
全国合計	-	191	193	163

※1 日本専門医機構公表資料より引用。応募人数は二次募集（平成31年2月18日）時点（一次採用を含む）
※2 R02定員数は一次登録での希望数（令和元年8月時点）

18. リハビリテーション科

○国から提供された専門研修におけるプログラムデータを基に作成（提供データの不備により実際の採用数とは異なる場合があります）
基幹施設の定員（H31）が不明なものについては採用（H31）と同数扱いとしています。

横浜（北部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
昭和藤が丘ハ	4	4			1
1施設	4人	4人	人		1人

横浜（西部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

横浜（南部）					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
市大附属	5	5			1
1施設	5人	5人	人		1人

川崎北部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

川崎南部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

相模原					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

横須賀・三浦					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

湘南東部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

湘南西部					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
東海	5	1			1
1施設	5人	1人	人		1人

県央					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

県西					
基幹施設	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
施設					

神奈川県全体					
基幹施設 (R02)	定員		採用		
	R02	H31	R02	H31	
3施設	14人	10人	-		3人

(参考)

「日本専門医機構」提供データ※1

都市部（5県）と全国				
都道府県	定員	応募	H31採用	H30採用
東京都	21	21	21	21
神奈川県	6	5	4	4
愛知県	7	7	7	4
大阪府	10	1	1	4
福岡県	10	1	1	4
都市部（5県）合計	54	35	34	37
全国合計	-	69	69	75

※1 日本専門医機構公表資料より引用。応募人数は二次募集（平成31年2月18日）時点（一次採用を含む）
※2 R02定員数は一次登録での希望数（令和元年8月時点）

19. 総合診療

○国から提供された専門研修におけるプログラムデータを基に作成（提供データの不備により実際の採用数とは異なる場合があります）
基幹施設の定員（H31）が不明なものについては採用（H31）と同数扱いとしています。

横浜（北部）					横浜（西部）					横浜（南部）				
基幹施設	定員		採用		基幹施設	定員		採用		基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31		R02	H31	R02	H31		R02	H31	R02	H31
横浜市東部 汐田総合	2	2		1	横浜医療 戸塚	1	1		0	市大附属	4	2		1
	2	2		0		2	2		0					
2施設	4人	4人	人	1人	2施設	3人	3人	人	人	1施設	4人	2人	人	1人

川崎北部					川崎南部					相模原				
基幹施設	定員		採用		基幹施設	定員		採用		基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31		R02	H31	R02	H31		R02	H31	R02	H31
聖マリアナ 市立多摩 多摩ファミリークリニック 久地診療所	6	不明		0	川崎協同	2	2		0	北里	4	4		1
	6	不明		3										
	2	不明		0										
	3	不明		2										
4施設	17人	5人	人	5人	1施設	2人	2人	人	人	1施設	4人	4人	人	1人

横須賀・三浦					湘南東部					湘南西部				
基幹施設	定員		採用		基幹施設	定員		採用		基幹施設	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31		R02	H31	R02	H31		R02	H31	R02	H31
湘南鎌倉 葉山ハートセンター	4	2		1	湘南藤沢徳洲会 茅ヶ崎徳洲会 湘南台	2	0		0	東海	3	3		1
	2	2		0		2	2		0					
						2	新設							
2施設	6人	4人	人	1人	3施設	6人	2人	人	人	1施設	3人	3人	人	1人

県央					県西					神奈川県全体				
基幹施設	定員		採用		基幹施設	定員		採用		基幹施設 (R02)	定員		採用	
	R02	H31	R02	H31		R02	H31	R02	H31		R02	H31	R02	H31
東名厚木 海老名総合 森の里	1	1		0	足柄上	2	2		0					
	2	1		0										
	2	不明		0						21施設	56人	33人	-	10人
3施設	5人	2人	人	人	1施設	2人	2人	人	人					

(参考)

「日本専門医機構」提供データ※1

都市部（5県）と全国				
都道府県	定員	応募	H31採用	H30採用
東京都	-	23	23	13
神奈川県	-	8	8	6
愛知県	-	12	14	12
大阪府	-	6	6	7
福岡県	-	5	6	8
都市部（5県）合計	-	54	57	46
全国合計	-	173	179	184

※1 日本専門医機構公表資料より引用。応募人数は二次募集（平成31年2月18日）時点（一次採用を含む）
※2 R02定員数は一次登録での希望数（令和元年8月時点）